



Network Video Recorder

オペレーションマニュアル

DR-2504P

DR-2508P

DR-2516P

はじめに

本取扱説明書では、(株)IDISの製品であるDirectIP™ Network Video Recorder (ネットワークビデオレコーダー) の設置および運用のための基本的な説明を記述しています。

本機をはじめてご使用になるユーザーの方はもちろん以前から類似装置を使用してきたユーザーの方でも、ご使用前には必ず本取扱説明書をよく読み注意事項をご確認の上、本機を使用してください。なお、安全上の警告および注意事項は製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるため、必ずお守りください。

お読みになった後は、いつでも確認できる場所に保管して下さい。



- 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または取扱説明書の使用方法に従わずに発生した製品の損傷は、当社で責任を負いかねますので、ご了承下さい。
- DirectIP Network Video Recorder(ネットワークビデオレコーダー)を初めてご使用になるか、使い方がご不明な場合は、設置前や、使用中にかかわらず必ず販売店までお問い合わせ頂き専門のエンジニアのサポートを受けて下さい。
- 機能拡張および故障修理のために装置を分解する場合は、必ず販売店までお問い合わせいただき専門家のサポートを受けて下さい。
- 本機は業務用として電磁波適合登録を済ませた装置ですので、販売者または使用者はこの点にご注意ください。もし、誤って販売または購入した場合には、家庭用のものに交換してください。
- 予期せぬ停電による製品の損傷を防ぐため、UPS (Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置) の設置をお勧めします。詳細はUPS代理店のお問い合わせください。

安全上の注意事項の表示



注意

感電の危険があるので開けないで下さい。



注意：感電の危険があるのでカバー（トップカバー）を取り外さないで下さい。
修理は資格のあるサービス担当者へ依頼して下さい。





この事項を守らない場合、死亡したり重症を負う恐れがある内容です。



この事項を守らない場合、軽症を負ったり財産の損害が発生する恐れがある内容です。

記号	規格	タイプ
	IEC60417, No.5032	交流

本文での表記

アイコン	表記	意味
	注意	本機の機能や動作に関する内容で、必ず熟知しておかなければならない内容です。
	参考	本機を使用する上で役立つ内容です。

著作権

©2022 (株) IDIS

本取扱説明書の著作権は (株) IDISにあります。

(株) IDISの許可を事前に得ず、取扱説明書の内容の一部または全部を無断で使用したり、複製したりすることは禁じられています。

本取扱説明書の内容は製品の機能改善などの理由により予告なく変更される場合があります。

登録商標

アイデイスとIDISはアイデイスの登録商標です。

その他の社名や製品名は当該会社が所有する登録商標です。

本文書の内容は予告なく変更する場合があります。

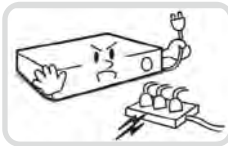
本機には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。ライセンス政策のソース公開支援可否によって、該当ソフトウェアのソースコードを希望する場合は提供受けることができます。詳細内容はシステム設定 - 製品情報のタブのご確認をお願いします。本製品はUniversity of California, Berkeleyが開発したソフトウェア及びOpenSSL Projectが開発したOpenSSLツールキット用のソフトウェアを含んでおります。また、この製品はEric Young (eay@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアとTim Hudson (tjh@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアを含んでおります。

本製品は下記URLに掲載されている特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com

安全上の注意事項

警告 この事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがある内容です。

設置について



設置する前に必ず本機の電源をOFFにしてください。本機が使用するコンセントは、タコ足配線は止めてください。

異常発熱や火災、感電の原因となります。



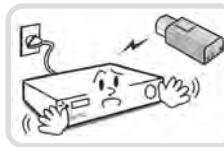
本機の内部に高電圧部分があるため、蓋を開けたり分解・修理・改造したりしないでください。

異常作動により火災や感電、けがの原因となります。



停電や落雷による被害を防ぐため、保護設備を併用してご使用ください。

火災、感電、けがの原因となります。



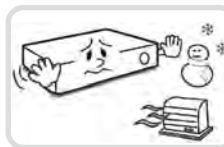
カメラの新規設置および追加工事の前には必ず本機の電源をOFFにし、製品の駆動中には絶対に信号ラインを接続しないでください。

火災、感電、けがの原因となります。



本機の後面には接続のための端子があり、壁に近すぎるところに設置するとケーブルが無理に曲がったり押さえつけられたりして破損する恐れがあります。壁から15cm以上の間隔を開けて設置してください。

火災、感電、けがの原因となります。



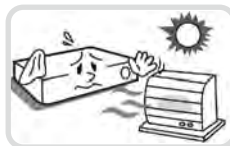
温度が高すぎる場所や低い場所、湿度の高い場所には設置しないでください。

火災の原因となります。



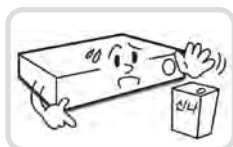
湿気、ホコリ、煤などの多いところには設置しないでください。

感電、火災の原因となります。



直射日光の当たらない涼しい場所に設置し、適正な温度を維持してください。暖房器具など、熱を発生する機器の近くには設置しないでください。

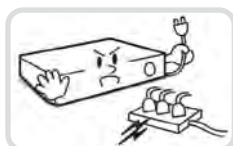
火災が発生する恐れがあります。



設置する場所は、ホコリが溜まらないよう常に清潔を保ってください。製品を掃除するときには、必ず乾いた雑巾で拭き取ってください。水やシンナー、有機溶剤は使用しないでください。

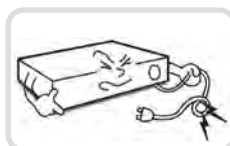
製品の表面を傷つけ、なお、故障や感電の恐れがあります。

電源について



本機が作動するための電源電圧は、電圧の変動範囲が規程電圧の±10%以内である必要があります。電源コンセントは必ず接地するようにしてください。電源ケーブルを接続するコンセントには、ヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫などの消費電力の大きな器具と一緒に使用しないでください。

異常発熱や火災、感電の原因となります。



電源コードを無理に曲げたり、重い物を乗せたりしないでください。

火災の原因となります。



電源ケーブル部分を無理に引き抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。コンセントがゆるい場合は電源プラグを差し込まないでください。

火災、感電の恐れがあります。

アース(接地)は確実に行ってください。電源コードには感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアースに接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

・安全を確保するため、必ず製品同梱の電源コードをご使用下さい。

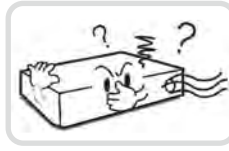
また、この電源コードを他の製品で使用しないで下さい。

使用について



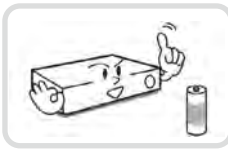
製品に水、または異物が入った場合、すぐに電源プラグを抜いてサービスセンターまでご連絡ください。

故障、火災の原因となります。



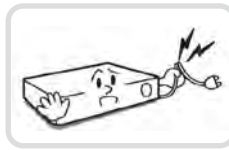
異常な音がしたり臭いがしたりする場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店やサービスセンターまでお問い合わせください。

火災、感電の恐れがあります。



電池は製造者が指定した同一型番また同等品だけを使用してください。使用済み電池は自治体の指示に従って廃棄してください。

爆発の恐れがあります。



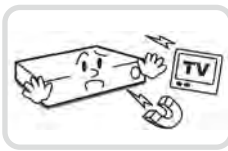
湿気のある床や接地されていない電源延長コード、被覆の剥がれた電源コード、アースをとっていないなど、危険な状況を作らないように注意してください。問題が発生した場合は、販売店や施工業者にお問い合わせください。

火災、感電の恐れがあります。



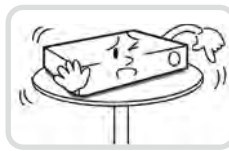
注意 指示事項を守らない場合は、軽傷を負ったり、製品が損傷したりする可能性があります。

設置について



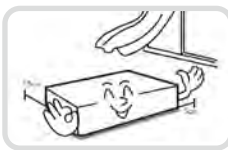
強い磁界や電波のある場所、ラジオやテレビなどの機器に近い場所には設置しないでください。

磁石類や電波のないところに設置してください。



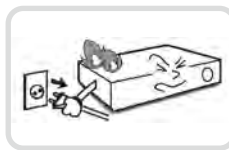
水平で安定した場所に設置し、垂直に立てたり斜めに置いて使用しないでください。

機器が倒れたり落ちたりする場合、故障したり人にけがをさせたりする恐れがあります。



密閉されていない風通しの良い場所に設置し、室内の空気は適切に循環させてください。

環境が適さない場合、故障の原因となります。後面は15cm以上、側面は5cm以上の間隔を置いて設置してください。



ユーザーが電源プラグを簡単に取り外せる場所に設置してください。

製品に深刻な異常や火災が発生した場合、電源プラグを抜いて危険要素を簡単に取り除けるようにしてください。



強い衝撃や振動のない場所に設置してください。

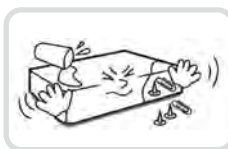
故障の原因となります。

使用について



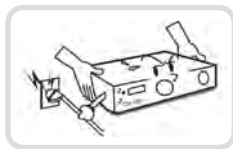
製品の上に重い物を置かないでください。

故障の原因となります。



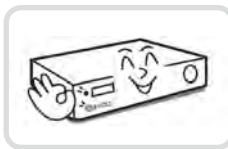
通風のために開いている溝に導電性物体が入らないように注意してください。

故障の原因となります。



製品の稼働中には電源プラグを抜いたり、製品を動かしたりしないでください。

故障の原因となります。

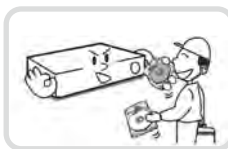


製品前面の録画LEDが点滅し続けていれば、システムとHDDは正常に働いています。

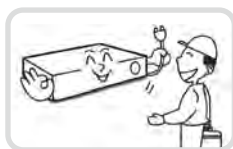
録画LEDが点滅し続けているかどうか随時確認してください。



HDDの空き容量がなくなったときに録画を続けるために設定を変更して録画を続ける場合、既存のデータが削除されるためご注意ください。



データを保存するHDDの寿命が尽きると、保存されている映像データが損傷して復旧できないことがあります。HDDに保存されているデータを再生する場合、画面に乱れが生じたらHDDの寿命が尽きたことを意味するため、早急に販売店やサービスセンターに連絡しHDDの交換を依頼してください。



製品の動作状態を随時確認し、異常が見つかったときはすぐに販売店やサービスセンターにお問い合わせください。

目次

1

第1章ー設置	10
パスワード設定	10
ウィザード実行	10
カメラ登録	14
カメラ検索ボタン	14
カメラ表示メニュー	17
カメラリストエリア	18
映像出力エリア	18
適用/キャンセルボタン	20
自己診断の実行	20
カメラ登録モードの実行	21
ログイン	21
リアルタイム監視メニュー	23
拡大機能	26
PTZ制御	26
歪補正制御 (カメラ)	28
イベントモニタリング機能	28
隠しカメラ機能	28
コンテキストメニューの実行	29
画面グループの編集機能	29
ビデオ録画	30
緊急録画	30
オーディオ録音	30
保存された映像の再生	30
全チャンネル再生	30
再生中のリモコンボタンの機能	31
コンテキストメニュー	31

2

第2章ー設定	32
メニューの使い方	32
スクリーンキーボードによる文字列入力	33
テーブルで全列の値を同時に設定する	33
マウスの使用	33
システム設定	34

一般	34
日付/時刻	36
使用者	37
セキュリティ	40
HDD	41
自己診断	42
ユーザー定義の値	43
製品情報	43
カメラ設定	44
登録	44
一般	46
高機能設定	47
ストリーム I	55
ストリームII	56
オーディオ	57
SD カード	58
メンテナンス	58
録画設定	59
一般	59
高機能設定	59
スケジュール	60
プリイベント	62
Smart Failover	62
統計	63
イベント設定	64
システムイベント	64
カメラシステム	65
カメラシステム_オーディオ検出	65
カメラシステム_カメラファンエラー	66
カメラシステム_映像信号なし	67
カメラシステム_録画失敗	68
カメラシステム_PIR	68
ビデオ分析	69
ビデオ分析_モーション	69
ビデオ分析_トリップゾーン	71
ビデオ分析_タンパーリング	73
ビデオ分析_自動追跡	74

追加イベント	75
追加イベント_アラーム入力	75
追加イベント_テキストイン	76
装置の設定	78
アラーム出力	78
アラーム出力_設定	78
アラーム出力_スケジュール	79
コネクタ	79
遠隔制御	80
その他	80
ネットワーク設定	81
一般	81
ウェブガード	83
WAN (IPアドレス)	83
VIN	86
FEN	87
NetFS	88
RTSP	89
ファイアウォール	90
NAT	90
通知設定	91
スケジュール	91
コールバック	92
メール	93
FTP通知	95
HTTP	96
ディスプレイ設定	97
OSD	97
メインモニター	98
状態	99
カメラ	99
装置	99
システム	99
HDD	100

3

第3章-検索	102
タイムラプス検索	102
検索メニュー	103
コンテキストメニュー	106
テキストイン検索	107
バックアップ	108
イベントログ検索	110
重複した時間の映像検索	111

4

第4章 - IDIS Web	112
ウェブ監視モード	114
ウェブ検索モード	117

5

第5章 - 付録	120
NAT機能の使用例	120
Web Setup 接続の方法	121
アイディスカメラのIDIS Web接続	121
アイディスカメラのIDIS Center接続	122
アイディスカメラのRTSP接続	123

第1章—設置

- ✓ 本マニュアルは4-、8-、16-チャンネルネットワークビデオレコーダーです。マニュアル上の図や説明は16チャンネルモデルを基準として作成されています。

パスワード設定

- 1 システムを初めて稼動する場合、adminユーザーアカウントのパスワード設定が求められます。



- ✓
 - パスワードなしではシステムを使用することができません。
 - 左下の「？」ボタンを押すと表示されるパスワード設定に関するガイドラインをお読みください。
 - 電子メールアドレスとUPRファイルはパスワード紛失の際に確認用の情報として使用することがあります。当該情報を正確に入力しなかったり任意の情報が入力された場合、パスワードを探索しない場合もあります。
 - 認証のためにはFEN設定が必要です。

ウィザード実行

設定ウィザードを利用し、システム運用に必要な初期設定を行うことができます。

- ✓ 設定ウィザードは管理者アカウントでログインすると、リアルタイム監視メニューのウィザードメニューから実行されます。

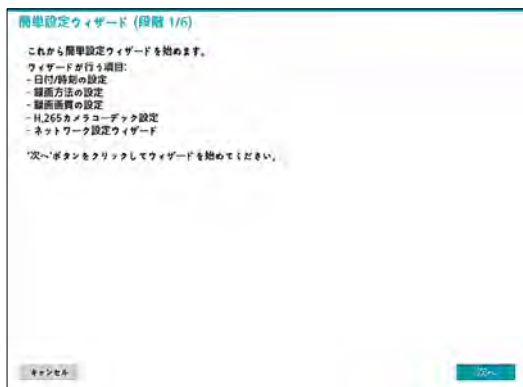
- 1 設定ウィザードのオプションを選択した後、**次へ**ボタンをクリックして設定ウィザードを起動させます。



- ✓ ウィザード画面全体で**キャンセル**を選択すると、変更された設定を取り消してメイン設定メニュー画面に戻ります。

クイック設定ウィザード

1 クイック設定ウィザードを始めます。

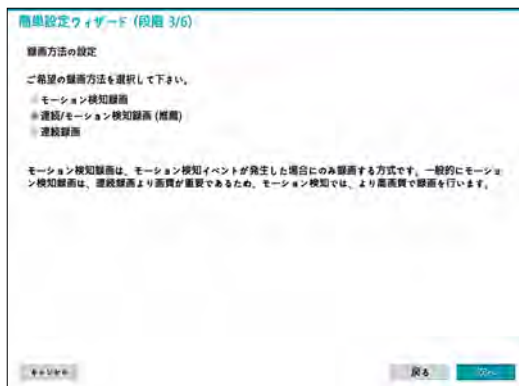


2 日付や時刻を設定した後、次へをクリックしてください。

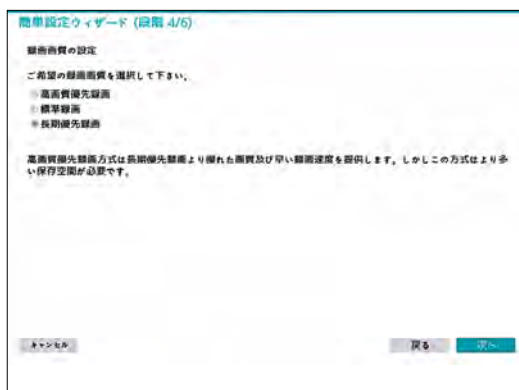


- 変更された日付/時刻の設定値は、次へをクリックすると適用されます。
- 日付/時刻の設定に関する詳細は **システム設定 (34ページ) > 日付/時刻** を参照ください。

3 設定したい録画方式を選択した後、次へをクリックしてください。



4 設定したい録画画質を選択した後、次へをクリックしてください。

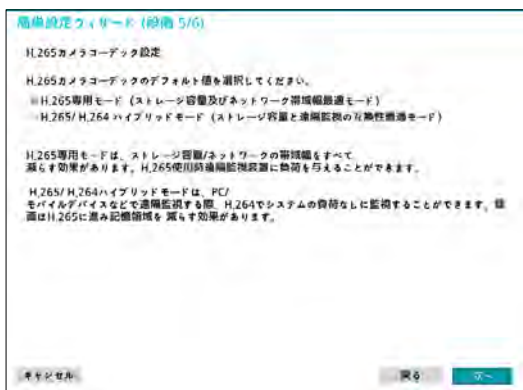


- 高画質を選択するほど、ハードディスクで使用される容量は大きくなります。
- 選択した録画画質によって録画解像度が決まります。
 - 高画質優先録画：最高画質
 - 標準録画：高画質
 - 長時間優先録画：標準

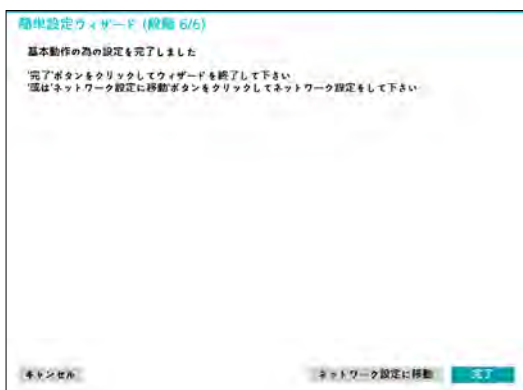
- 選択した録画方式および画質による録画画質は次のとおりです。

	高画質優先録画	標準録画	長時間優先録画
モーション検知録画	プロファイル1	プロファイル2	プロファイル3
連続/モーション検知録画	プロファイル2 (連続)/プロファイル1(モーション)	プロファイル3(連続)/プロファイル2(モーション)	プロファイル4(連続)/プロファイル3(モーション)
連続録画	プロファイル1	プロファイル2	プロファイル4

- 希望するコーデック方式を選択した後に**次へ**をクリックしてください。



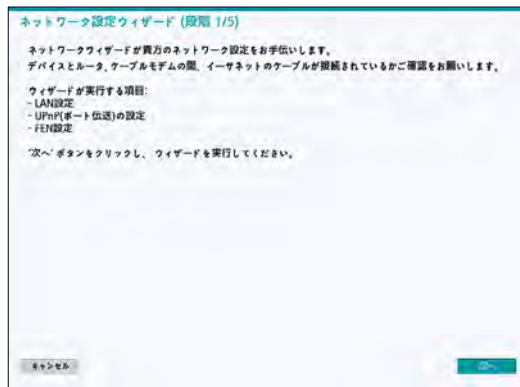
- 完了**をクリックすると、クイック設定ウィザードが終了します。



ネットワークウィザード

- クイック設定ウィザードが完了した後に**ネットワーク設定へ**をクリックすると、続けてネットワーク設定ウィザードを始めることができます。

- ネットワーク設定ウィザードを始めます。



- システムが外部のインターネットに接続されているかを選択し、**次へ**をクリックしてください。



- インターネット接続選択で**いいえ**を選択した場合、テストが完了してから**完了**を押すと、ネットワーク設定ウィザードが終了できます。

- 3 ネットワーク構成を選択し、**次へ**をクリックしてください。自動構成または手動構成から設定したいネットワーク構成を選択した後、**テスト**をクリックすると、現在のシステムのネットワーク構成が使えるかどうかを確認できます。



- ☑ テストを完了しないと、次の段階には進めません。
- DHCPサーバーのあるネットワークにNVRが接続されている場合、**自動構成**を選択するとIPアドレスやDNSアドレス等のLAN設定値が自動で割り当てられます。**手動構成**を選択すると、IPに関する設定をユーザーが任意でできます。
- **UPnPを支援するデバイスがありません。**というエラーメッセージが表示されたら、使用するIPルータ（あるいはNAT）がUPnP機能に対応しているか、もし対応しているなら使用可能になっているか確認してください。IPルータがUPnP機能に対応しているかは、ご使用中のIPルータのマニュアルをご覧ください。

- 4 FENサーバーに登録するNVRの名前を**FEN名前**に入力した後、**確認**をクリックし、入力した名前が使用可能であるか確認できます。



- ☑ • FENサーバーに登録されるデバイスの名前は、NVRの固有の名前です。IDIS Center(オプション)などのClientからNVRのデバイス名でシステムに簡単に接続することができます。確認が終了すると、次へボタンが活性化されます。
- NVRの名前を入力しなかったりFENサーバーにすでに登録されている名前を入力したりすると、エラーメッセージが表示されます。
- ユーザーのネットワーク環境によってはFENサービスが作動せず、ネットワークに接続できない場合があります。この場合、ポートを手動で設定する必要があります。ポート設定に対する詳細は、**ネットワーク設定 (81ページ)**を参照ください。
- ユーザーの同意画面と説明が抜けていますので、追加をお願いします

- 5 **完了**をクリックして、ネットワーク設定ウィザードを終了してください。



カメラ登録

システムを初めて実行し設定ウィザードを終了するとリアルタイム監視画面が表示されます。監視モードでマウスを右クリックしてカメラ登録ボタンを押すと、登録モードが実行されNVRに接続されているカメラを検索することができます。



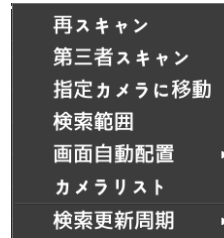
①	カメラ検索ボタン
②	カメラ表示メニュー
③	カメラリストエリア
④	映像出力エリア
⑤	適用/キャンセルボタン

遠隔プログラムからもNVRにカメラを登録することができます。詳しい内容は[登録 \(44ページ\)](#)をお読みください。

カメラ検索ボタン

自動で感知できなかったカメラや、他社のカメラを検索して登録することができます。

スキャンボタンを押すと、次のようなメニューが表示されます。



再スキャン

自動的に感知されなかったDirectIP™カメラを検出することができます。

第三者スキャン

自動スキャンに対応しない他社のカメラを手動で検出します。

- 他社のカメラはプロトコルおよびカメラのモデルによって、一部の動作に対応しない場合があります。
- 登録するデバイスは、IPアドレスが異なる必要があります。そうでない場合は、接続が失敗することがあります。

- このシステムは、IDISカメラとの組合せに最適化されています。他社のカメラを登録する際に、関連するカメラのビデオ設定が本システムの能力を超えていたりすると、特定機能に制約を受けたり、録画性能の保障ができなくなることがあります。その場合、設定調整などにより性能が最適化されるよう調整してください。



- **プロトコル**：検索したいカメラ（またはビデオエンコーダー）のプロトコルを選択してください。

- ✓ NVRに対応するプロトコルでも、カメラのモデルによってはデバイス登録ができなかったり、機能が使えなかったりする場合があります。対応するカメラのモデルに関する詳しい内容は、NVRの代理店までお問い合わせください。
- 本システムはIDISカメラとの組合せに最適化されています。他社のカメラを登録すると、Video設定がシステムの性能を超える場合、録画性能が保障できず、特定の機能が制約される場合があります。この場合、設定変更により、最適化した性能を発揮できるように変更してください。

● モード：検索モードを選択してください。

- **自動スキャン(LAN)**：ローカルネットにあるカメラを検索します。**自動スキャン(LAN)**モードで検索出来ないカメラは**IPアドレススキャン**してみてください。
- **IPアドレススキャン**：カメラのIPアドレスを入力して検索します。2つ以上のカメラを登録する場合、IPアドレスの範囲を入力して一度に検索することもできます。IPアドレス設定時のポート設定を選択すると、遠隔監視に使用するポート番号を設定することができます。カメラのネットワーク接続を設定する時、DHCPを使用しないことをお勧めします。DHCPを使用する場合、外部ネットワーク環境の変化によって、デバイスが正しく接続されないことがあります。

1 スキャンボタンを押して検索してください。

- ✓ VIDEO IN端子に接続されているカメラのみ検索・登録できます。

2 検索されたカメラをリストから選択した後、右クリックして**カメラを追加**を選択すると、デバイスログインウィンドウが表示されます。

3 登録したいカメラの**ユーザーID**と**パスワード**を入力します。

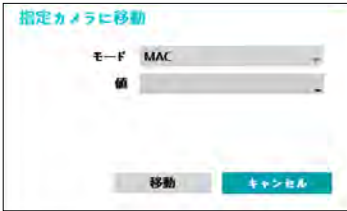
カメラのパスワード再設定

カメラのパスワード変更及び検索機能に対応するIDISプロトコルカメラの場合、最初にカメラを登録するときにカメラのパスワードを設定する必要があります。電子メールの情報は、今後カメラパスワード変更や検索のために使用されます。

- ✓ 電子メールのアドレスを認証していないと、当該情報を正しく入力しなかったり、または任意の情報が入力されている場合は、パスワードを探せない場合があります。
- 認証のためにはFEN設定が必要です。
- 他社のカメラでは本機能に対応していません。

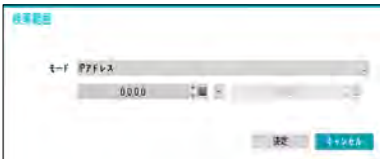
指定カメラに移動

カメラリストエリアに存在するカメラのリストからカメラのMACアドレスを使用し、そのカメラに自動的に移動します。



検索範囲

検索範囲の設定によってカメラリストエリアに存在するカメラをフィルタリングすることができます。



画面自動配置

検出されたカメラを映像出力エリアに自動的に配置するとき 사용됩니다。

カメラリスト

カメラの情報ファイル (.csv) を利用し、ユーザーがより簡単にカメラを登録することができます。





- **保存** : カメラリストにあるカメラ情報を.csvファイルの形式でUSBに保存します。
- **読み込み** : カメラ情報が保存されている.csvファイルを読み込みます。.csvファイルがユーザーが直接修正することができます。
- ☑ ● csvファイルで、A列はカメラの番号、B列はカメラのMACアドレス、C列はエンコーダーのビデオ入力ポートを表しています。ただし、C列はエンコーダーに限ってのみ表示されます。例えば、.csvファイルに5,00:11:22:18:30:20,3と表示されている場合、5= CAM 5, 00:11:22:18:30:20 =カメラMACアドレス、3=エンコーダーです。
- 当該機能を使用する前には、必ずスキャンを行わなければなりません。登録したいカメラがスキャンリストに存在しない場合、カメラを登録することはできません。
- 他社のカメラでは本機能に対応していません。


検索更新周期

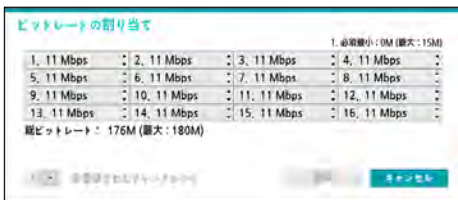
カメラ検索の更新周期を設定します。更新周期を短く設定すると、カメラ検索結果のアップデートがより頻繁に更新されます。更新周期を長く設定すると、広いネットワークでのカメラ検索が可能です。

カメラ表示メニュー

- **整理**  ボタン：映像出力エリアに表示されるカメラの画面をビデオイン端子に接続されたカメラの位置の順に再整理します。
- **リセット**  ボタン：カメラ映像出力画面およびカメラリストエリアに表記されているすべてのカメラを初期化して再スキャンします。


リセットを選択する場合、リストから検索されたすべてのデバイス情報が削除されます。

- **ビットレート**  ボタン：各チャンネルの性能割当てを変更することができる窓は下記のように現れます。



NVR全体の性能を各チャンネルに割り当てすることができます。カメラ登録時にチャンネルに割り当てられた性能までストリームの設定が可能です。

従って、カメラに性能を十分に割り当てしないと画質、IPS、解像度が低く設定される可能性があります。カメラが登録されたチャンネルの場合、現在のストリーム設定より小さいビットレートは割り当てできません。左下にある+ -を選択すると、ビットレートを一括変更できます。登録されているチャンネル(*)を選択すると、登録されているカメラのビットレートのみ変更できます。

- **ツール**  ボタン：カメラ関連の動作を実行することができるネットワークカメラのツールウィンドウが表示され、カメラの認証、画面配置およびプロトコルを変更することができます。

- 1 実行する**動作**を選択してください。
- 2 カメラをリストから選択した後、**適用**ボタンを押してください。



- DirectIP カメラの場合、カメラ登録モードで自動的に認識されます。IDIS プロトコルの場合は自動で認識されません。自動認識可能な DirectIP プロトコルを使用することを推奨します。

プロトコルを変更するとカメラが再起動され、そのカメラをNVRに登録して使用することができます。詳しい設定方法は当該ネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。

カメラリストエリア

カメラ登録

	② 型番	③ MAC	④ スキャン タイトル
① 1	DC-D1223WHR	0F:D4:B6	CAM1
2	DC-B1203	12:52:44	CAM2
3	DC-D1223XW	13:B6:E9	CAM3
4	DC-S1263WH	12:6D:90	CAM4

新規登録	5	NC-D420-XW00:03:22:1A:5A:95	CAM5
新規登録	6	DC-S3283WH00:03:22:36:2B:D5	CAM6
登録済み	7	NC-EP620-XIP00:03:22:35:7D:9D	CAM7
登録済み	8	NC-C620-IP 00:03:22:35:FF:B9	CAM8
他NVR(登録)		DC-B1203 00:03:22:11:2A:26	なし

- ① **画面位置/登録可否** : 映像出力エリアにあるカメラの画面位置が表示されます。登録可能なカメラは青い背景で表示され、すでに登録済みのカメラは灰色の背景で表示されます。他のNVRに登録されているカメラは黒い背景で表示されます。
- ② **型番** : カメラのモデル名が表示されます。
- ③ **MAC** : カメラのMAC情報のうち、後ろ12桁の数字が表示されます。
- ④ **タイトル** : カメラの名前が表示されます。映像出力エリアに変更した名前が適用されます。

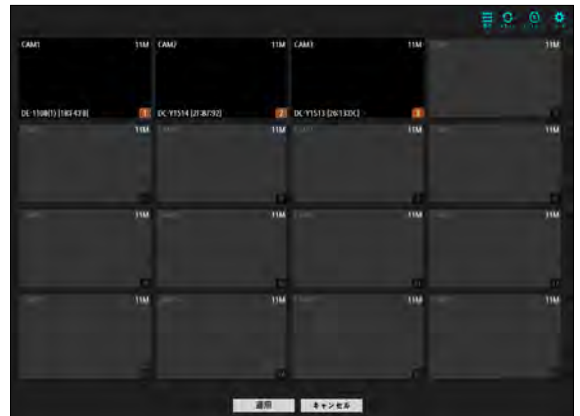
カメラリストの各項目にマウスの右ボタンをクリックすると、下記の機能が実行できます。

- **カメラ追加/削除** : リストにあるカメラを追加したり、追加されたカメラを削除したりすることができます。カメラの追加オプションが登録されている場合には無効です。
- **認証** : カメラにログインするための情報を入力します。DirectIP™カメラとIDISカメラはログインが必要ないため、省略されます。IDIS プロトコルの場合、パスワードが設定されていないと無効となります。
- **情報** : カメラの情報（製品名、バージョン、MACアドレス、IPアドレスなど）と接続ポートを表示します。

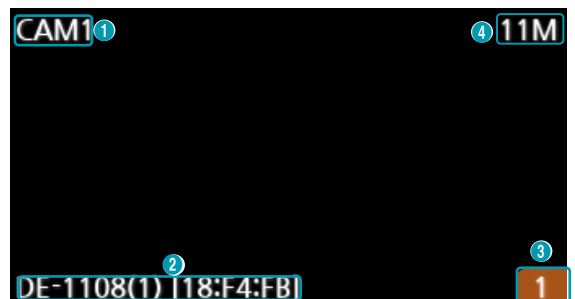
映像出力エリア

映像出力エリアでマウスの左ボタンをクリックすると、分割画面表示と単一画面表示を切り替えることができます。

映像出力エリアに表示されるカメラ画面はマウスをドラッグして表示位置を調整することができます。



カメラ画面の構成



① カメラタイトル

カメラのタイトルを表示します。カメラのタイトルのところでマウスの左ボタンをクリックすると、カメラのタイトルを編集することができます。



② MACアドレス

NVRに登録されていないカメラの場合、カメラのモデル名とMACアドレスが表示されます。

③ 画面の位置/登録情報

NVRに登録されていないカメラの場合、オレンジ色が点滅します。



- NVRにすでに登録されているカメラは、画面の下段に情報が表示されず、**画面の位置/登録情報**の背景が黒色で表示されます。

- 他のNVRに登録されているカメラは**画面位置/登録情報**の背景色がオレンジ色に固定され、画面は灰色に表示されます。

④ ビットレートの割り当て

チャンネルに割り当てられた性能(ビットレート)を表示します。表示されたところでマウスの左ボタンをクリックしてビットレートを変更することができます。



実行メニュー

映像出力エリアでマウスの右クリックボタンをクリックすると、実行できるメニューが表示されます。



- **カメラを削除**：登録されているカメラを削除します。
- **デバイスを削除**：登録されているエンコーダーを削除します。
- **色調整**：カメラの色合いを調節します。
- **情報**：カメラの基本情報を表示します。
- **タイトル**：カメラのタイトルを編集することができます。
- **ビットレート**：チャンネルごとの割り当てビットレートを変更することができます。
- **全てのカメラ解除**：登録されているカメラをすべて削除します。

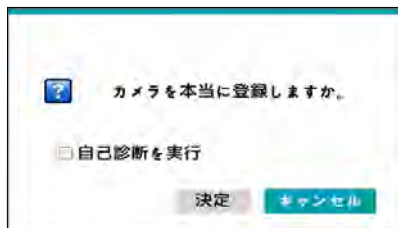


カメラの追加や削除は、マウスのドラッグ&ドロップ機能で行うことができます。

適用/キャンセルボタン

カメラ登録モードでのすべての変更事項をNVRに登録するためには、**適用**ボタンを押してください。

適用ボタンを押すと、次のようなメッセージウィンドウが表示され、自己診断を実行するか、しないかを選択できます。



キャンセルボタンを押すと変更内容を取り消し、カメラ登録モードを終了します。

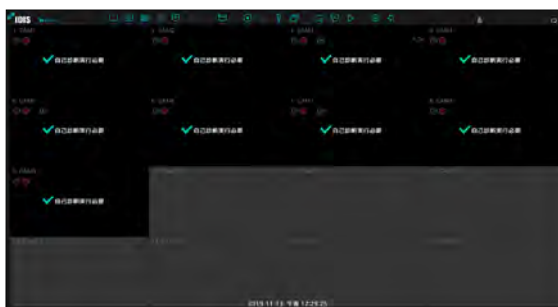
- 他のNVRに登録されているカメラは登録できません。

自己診断の実行

自己診断を選択してNVRのカメラ登録を完了すると、自動的に自己診断を実行します。自己診断を実行中の場合、**自己診断の実行中**というメッセージが表示されます。



自己診断に失敗した場合、**自己診断実行必要**というメッセージが表示されます。自己診断に失敗した場合、手動で自己診断を実行します。自己診断に関する詳しい内容は、**自己診断 (42ページ)**をお読みください。



カメラ登録モードの実行

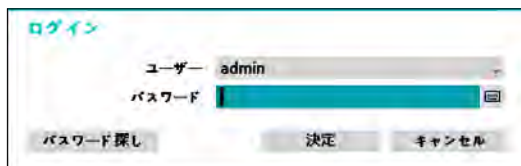
監視モードでマウスの右ボタンをクリックし、**カメラ登録**をクリックしてください。



ログイン

環境設定や検索など、NVRの様々な機能を使用するためには、その権限を有するユーザーでログインしなければなりません。

- リアルタイム監視メニューでリモコンの**設定**ボタンを押すか、マウスを利用して **🔒**アイコンを押すと、ログインすることができます。



- ユーザーを選択してパスワードを入力したら、**決定**ボタンを押してください。

- マウスでパスワード入力項目の右側にある **🗨** ボタンを押すと、スクリーンキーボードでパスワードを入力することができます。スクリーンキーボード使用に関する内容は、[スクリーンキーボードによる文字列入力 \(33ページ\)](#)を参照ください。

- リアルタイム監視メニューにおいてマウスで **🔒**アイコンを押すと、ログアウトすることができます。また、リモコンの Enter ボタンを押してリモコンのメニューボタンを押すと、コンテキストメニューが表示されます。方向キーを利用してコンテキストメニューのログアウトを押すとログアウトすることができます。



パスワード探し

パスワードを忘れた場合**パスワード探し**ボタンを押すと、新しいパスワードが設定できます。

- 1 ユーザー登録の段階で設定したユーザーおよび登録した電子メールアドレスを入力した後、**認証番号取得**ボタンを押してください。UPR(User Password Reset)認証方法を使う場合、UPR認証方法を選択してください。

- 2 取得した認証番号を入力し、**決定**ボタンを押してください。

- 左下の「？」ボタンを押すと表示されるパスワード設定に関するガイドラインをお読みください。
- パスワード設定は必ずスクリーンキーボードで入力してください。
- パスワード探し機能を電子メールを利用して使用するためには、SSL/TLSに対応するメールサーバーを使用できるように設定する必要があります。[メール \(93ページ\)](#)を参照ください。

- 3 UPR(User Password Reset)認証を入力し、UPR認証ボタンを押してください。

- 4 事前に保存したUPR(User Password Reset)ファイルを選択して読み込みボタンを押してください。

- UPR機能を使用するためには、事前にUPRファイルを保存しなければなりません。
- オフラインパスワード検索機能とは、事前に保存した一種の暗号化されたUPR(User Password Reset; 拡張子*.upr)ファイルを利用してパスワードを再設定できる機能です。
- UPRファイルは、ローカルでUSBフラッシュメモリから読み込みできますが、遠隔からは読み込みできません。
- 同じ機器からエクスポートしたファイルのみ使用することができます。
- UPRファイルを無くした場合、NVRの当該アカウントのパスワードを変更すると無くしたUPRファイルは使えなくなります。

- 5 左下の？ボタンを押すと表示されるパスワード設定に関する指針に従って新しいパスワードを設定してください。

リアルタイム監視

リアルタイム監視メニュー

リアルタイム監視モードでメニューボタンを押すと、画面上段にリアルタイム監視メニューが表示されます。メニューボタンをもう一度押すと、メニューが消えます。前面パネルやリモコンの方向ボタンを利用して各メニューや項目間を移動できます。



①	ログイン/ログアウト	②	レイアウト	③	前画面グループ、次画面グループ	④	ディスプレイ
⑤	フリーズ	⑥	アラーム	⑦	緊急録画	⑧	自動切替
⑨	状態	⑩	カメラ	⑪	検索	⑫	設定
⑬	ウィザード	⑭	ステータス情報	⑮	ライブメッセージ		

マウスポインタを画面上端に移動してもリアルタイム監視メニューが表示されます。

① ログイン/ログアウト

ログインまたはログアウトができます。ログインしている場合、そのIDが表示されます。ログアウトしている場合は、Loginが表示されます。

② レイアウト

画面のレイアウトを単一画面、2画面(Corridor Format)、3画面 (Corridor Format)、4画面、6画面、8画面、9画面、13画面、16画面に切り替えます。

③ 前画面グループ/次画面グループ

現在の画面グループから前画面グループ、または次画面グループに移動します。

④ ディスプレー

- **フルスクリーン オン/オフ**：全画面モードを設定します。
- **カメラ OSD オン/オフ**：カメラOSD機能を活性化若しくは日活性化させます。
- **状態 OSD オン/オフ**：状態OSD機能を活性化若しくは日活性化させます。
- **比率維持 オン/オフ**：比率維持オン設定するとオリジナル映像比率でカメラの領域に合わせて映像を出力させます。

⑤ フリーズ

画面が停止されます。再び**フリーズ**を選択するとフリーズ状態が解除されます。


⑥ アラーム

アラームが作動している間、内部ブザーを含むNVRの出力をリセットします。 イベントが発生すると、ボタンが有効になります。このボタンを押すと、アラームがオフになって無効になります。

⑦ 緊急録画

緊急録画機能を使用/解除します。

⑧ 自動切替

リアルタイム監視モードでリモコンの**SEQUENCE**ボタンを押すときと同様に自動切替が始まります。自動切替を止めたい時はもう一度**自動切替**を選択するか、リモコンの**SEQUENCE**ボタンを押してください。自動切替中には、画面の右上のシステムステータス情報のところに  が表示されます。

フル切替

監視モードの単一画面および画面分割ですべてのチャンネルが順次に切り替わって表示されます。フル切替機能を使用するためには、ディスプレイ設定-メインモニターの自動切替設定で**フル切替**を選択する必要があります。

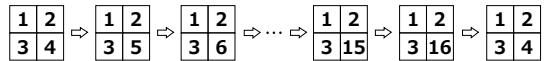
例> 4分割画面でフル切替



切替

切替モードでは監視モードの画面分割で右下の一つの画面だけが自動的に切り替わります。切替機能を使用するためには、ディスプレイ設定-メインモニターの自動切替設定で**切替**を選択する必要があります。

例> 4分割画面で切替



- **フル切替**での動作中には、画面右上のシステムステータス表示部分には自動切替の表示の隣にページ番号が表示されます。
- 次の場合はそのページをスキップします。
 - ページを構成しているすべてのカメラが無効状態の場合
 - 映像信号がない場合
 - 隠し設定されたカメラの場合
 - カメラにアクセスできる権限のないIDでログインした場合

⑨ 状態

NVRのシステムおよびデバイスの状態ウィンドウを画面に表示します。

⑩ カメラ

選択したカメラを単一画面でみることができます。

⑪ 検索

- **タイムラプス検索**：検索モード>タイムラプス検索を選択すると、保存されたデータを録画テーブルから検索または再生することができます。
- **イベントログ検索**：検索モード>イベントログ検索を選択すると、イベントログを検索し保存されたイベントを検索または再生することができます。
- **サムネイル検索**：検索モード>サムネイル検索を

選択すると、保存されたイベントを精密な単位で検索することができます

⑫ 設定

設定メニューに入ることができます。


⑬ ウィザード

ウィザードを起動し、システム運用に必要な初期設定を簡単に行うことができます。

⑭ ステータス情報

システムのステータスをアイコンで表示します。

ステータス情報


	リモコンが使える場合、このアイコンが表示されません。
	遠隔プログラムでNVRに接続した場合、このアイコンが表示されます。
	NVRとcamera間がオーディオ接続されている場合、このアイコンが表示されます。
	NVRとPC間がオーディオ接続されている場合、このアイコンが表示されます。
	NVRとcamera間及び、NVRとPC間がオーディオ接続されている場合、このアイコンが表示されます。
	映像拡大機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
	DirectNDCサービスでNVRに接続した場合、このアイコンが表示されます。
	フリーズ機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
	自動切替機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
1/4	単一画面モードではない場合、現在の画面が属しているグループを表示します。
	イベントモニタリング中の場合、このアイコンが表示されます。
	HDD録画状態を表示します。上書の場合、このアイコンが表示されます。上書を使用しない場合、残っているHDDの容量が%で表示されます。

⑮ ライブメッセージ

リアルタイムで発生するイベントおよびシステム情報をユーザーが認識しやすいようにメッセージ表示します。



拡大機能

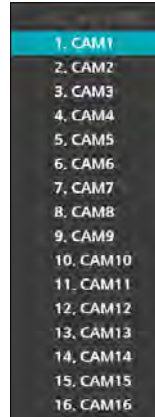
リアルタイム監視メニューまたはタイムラプスから、ズームインしたいカメラを選択した後、マウス右クリックまたはリモコンの**拡大** ボタンを押してください。ズームインしたい位置を設定する画面が表示されたら、マウス右クリックまたはリモコンの入力ボタンを押して拡大することができます。マウスドラッグまたはリモコンの方向キーを使って位置を変更することができます。映像拡大機能を使用する場合、システムの右上のステータス表示ウィンドウに拡大  アイコンが表示されます。




- 単一画面モードでは、拡大するカメラを選択するとき現在の画面が自動的に選択されます。
- 拡大画面を終了するときは、拡大ボタンをもう一度押します。

PTZ制御

監視モードでカメラを右クリックすると表示されるコンテキストメニューからPTZを選択するか、前面パネルまたはリモコンの**PTZ**ボタンを押すと、PTZカメラを選択するウィンドウが表示されます。



確認したいPTZカメラを選択すると、選択されたカメラのウィンドウで  アイコンが点滅します。

方向ボタンでPTZカメラの上下左右に移動 (Pan、Tilt) することができます。

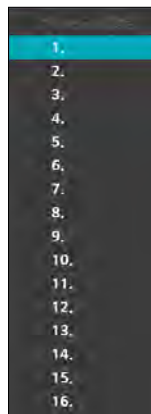
マウスをドラッグして方向を移動することができます。マウスのホイールで拡大/縮小ができます。



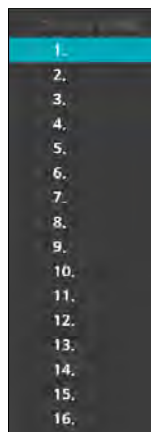
- PTZカメラを調整するためには、**PTZ制御権限**を有するユーザーでログインしなければなりません。
- 監視画面上でPTZカメラがない場合にはメッセージウィンドウが表示されます。
- 拡大、縮小、フォーカス調整は、リモコンの**PTZ**制御 (**ZOOM**、**FOCUS**)ボタンでもできます。
- PTZモードを終了するためには、**PTZ**ボタンをもう一度押します。

PTZプリセットを設定する

PTZモードでリモコンの**プリセット保存**ボタンを押すと、**プリセット設定**ウィンドウが表示され、現在の位置をプリセット番号を指定して保存することができます。



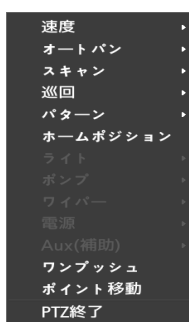
PTZモードでリモコンの**プリセットビュー**ボタンを押して**プリセット移動**ウィンドウが表示されたら、プリセット番号を選択して、その番号に保存された位置にPTZカメラをすぐに移動させることができます。



詳細設定

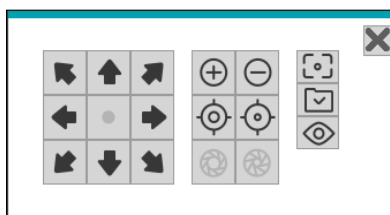
PTZモードで設定したいカメラを選択してリモコンの**メニュー**ボタンを押すと、下記のようなPTZの詳細メニューが表示されます。全面パネルの**再生/一時停止**ボタンを押してから、**設定**ボタンを押して、PTZの詳細ウィンドウを表示することもできます。**速度**、**オートパン**など、そのPTZカメラが対応する拡張機能が使用できます。

また、**ポイント移動**を利用し、ユーザーがマウスでクリックした地点にPTZカメラを移動させる機能を使用することができます。そのPTZカメラが対応しない機能は非無効となります。



- マウスを使うと簡単にPTZカメラを調整することができます。マウスの左ボタンでドラッグしてカメラを動かすことができ、マウスのホイールで映像を縮小/拡大することもできます。

PTZモードでマウスポインタを画面の下段に移動すると、PTZのコントロールボックスが現れます。



	PTZカメラの移動
	ズームイン/アウト
	近距離/遠距離フォーカス
	しぼりを開く/閉じる
	自動フォーカス実行
	プリセット設定/移動

	カメラのデバイスメニュー
--	--------------


- PTZカメラをNVRで使うためには、カメラが対応するPTZプロトコルを正しく設定する必要があります。
- コントロールボックスウィンドウをドラッグして位置を変えることができます。
- アイコンをクリックするとコントロールボックスが消えます。

歪補正制御 (カメラ)

監視モードでカメラを右クリックした後、コンテキストメニューから歪み補正を(カメラ)選択すると、当該カメラのウィンドウの⑩アイコンが点滅します。マウスをドラッグして方向を移動することができます。**カメラ > 詳細設定**からビデオ項目を選択してビューモード種類およびモードを選択することができます。

- 当該機能はカメラのDewarping機能を行います。
- 当該機能は魚眼映像カメラの場合にのみ対応しています。
 - オリジナルモードの場合、歪み補正機能に対応していません。
 - 当該機能を使用するためには、歪み補正制御権限を持つユーザーがログインしなければなりません。

イベントモニタリング機能

イベントが発生すると、イベント連動録画が始まるカメラ画面へ自動的に切り替わり、右上のステータス情報に  アイコンが表示されます。イベントモニタリング機能を使用するには、**ディスプレイ設定 > メインモニターでイベントモニタリング**を設定してください。イベントモニタリングは、**出力時間**にて設定した時間だけその機能が維持されます。その後、新しいイベントが発生しなければ前画面に戻ります。**出力時間**が終了する前に**画面分割ボタン**を押したり、**カメラ番号ボタン**を押したりすると、通常監視画面に切り替わります。

隠しカメラ機能


ユーザーがログインしていないか、隠しカメラを表示する権限が無いユーザーでログインした場合、指定したカメラを表示しないように制限します。

カメラ設定 > 一般で特定のカメラを**隠し1**または**隠し2**に設定することができます。

- **隠し1**：監視画面で指定したカメラの映像は見えないが、そのカメラのタイトルや現在の状態を表すアイコンは通常通りに表示されます。
- **隠し2**：指定したカメラの映像が映らず様々な状態を表すアイコンも表示されません。

- 隠しカメラビュー**権限を持つユーザーがログインした場合、カメラが**隠し1**や**隠し2**に設定されていても隠しカメラ機能は作動せず映像や状態アイコンがすべて表示されます。


■ コンテキストメニューの実行

リアルタイム監視モードでリモコンの**ENTER**()ボタンを押してメニューボタンを押すと、コンテキストメニューウィンドウが表示されます。全面パネルの**再生/一時停止**ボタンを押した後、**設定**ボタンを押して、コンテキストメニューウィンドウを表示することもできます。マウスの右クリックでもメニューを呼び出すことができます。

- **PTZ** : PTZ制御機能が行えます。
- **Dewarping (カメラ)**: カメラで 魚眼映像 Dewarping します。(一部製品のみ)。
- **拡大** : 映像を拡大することができます。
- **オーディオ** : オーディオ出力をON/OFFできます。(この機能は単一画面のみに対応します。)
- **色調整** : 色を調整したいカメラのチャンネルを選択すると色調整ウィンドウが表示されます。各カメラの明るさ、コントラスト、色の濃さ、色あいが調整できます。
- **自主調整ビデオモード**: 映像プリセットをナチュラル、鮮やかさ、ノイズ減少の中から選ぶことができます。
- **情報** : ネットワークカメラチャンネルを選択すると、選択したチャンネルに関するデバイス情報が確認できます。
- **グループ編集** : グループ編集では分割画面上にカメラの位置を変更できます。
- **カメラ登録** : カメラ登録モードを実行します。
- **ログイン/ログアウト** : ログインまたはログアウトができます。
- **ライブメッセージ** : リアルタイムのメッセージ情報を確認できます。

■ 画面グループの編集機能

画面グループ編集モードは監視および検索モードの画面分割で望みの位置にカメラ映像を並べ替える機能です。

- 1 画面分割でコンテキストメニューの**グループ編集**を選択してください。編集するカメラ画面の縁に黄色いボーダーラインが表示されます。前面パネルの矢印ボタンやマウスで他の画面を選択することができます。
- 2 黄色いボーダーラインが表示された画面で**カメラ**ボタンか**メニュー**ボタンを押してカメラを選択してください。選択されたカメラがその画面位置に移動します。各画面にカメラ番号を並べ替えることができます。
- 3 リモコンの**ENTER**()ボタンを押すと、グループ編集モードを終了します。**メニュー**ボタンを押して**グループ編集終了**を選択し、グループ編集モードを終了することもできます。


- 画面グループ編集モードは操作がない場合およそ15秒ほどで終了します。


ビデオ録画


第2章接続編を参考にし、NVRを正しく設置すると録画が始まります。


ビデオ録画設定に関する内容は[録画設定 \(59ページ\)](#)を参照ください。

緊急録画

リアルタイム監視メニュー、または検索メニューで緊急録画  アイコンを選択するか、リモコンの緊急録画ボタンを押すと、登録されているすべてのカメラで緊急録画を始めます。


緊急録画を中止するには、もう一度緊急録画  アイコンを選択するか、緊急録画ボタンを押してください。録画設定 > 一般で緊急録画時間が設定されている場合は、設定された時間だけ緊急録画をしたあと自動的に終了します。詳しい内容は[録画設定 \(59ページ\)](#)を参照ください。

-  緊急録画はユーザーが設定した録画スケジュールに関わらず行われます。
- 録画設定 - 一般で緊急録画のために設定されたビデオプロファイルで録画されます。

 録画モードが上書状態ではない場合、HDDが100%になると緊急録画は停止されます。


オーディオ録音

録画設定 > 一般でオーディオ録画設定がされている場合、カメラのビデオが録画されるとき音声も録音されます。詳しい内容は[オーディオ \(57ページ\)](#)、[録画設定 \(59ページ\)](#)を参照ください。


 設置地域内の法律が録音を許可しているか確認してください。法律違反による責任はすべてユーザーにあります。

保存された映像の再生

マウスやリモコンなどを使用して、映像を再生することができます。

-  保存された映像を再生するためには、検索権限を有するユーザーでログインする必要があります。
- 検索モードでの初期再生位置は、前回最後に再生した部分または保存された部分のいちばん最後の部分になります。
- 録音されたオーディオの再生は、単一画面で再生したときのみ可能です。
- 隠しカメラ設定がされたカメラがある場合、隠しカメラ機能が再生モードでも同様に適用されます。

全チャンネル再生


- リアルタイム監視モードでメニューボタンを押してください。
- 検索モード  アイコンを選択し、タイムラプス検索、イベントログ検索を選択してください。
- 選択したモードに切り替わります。

データ検索に関する詳しい説明は[第3章-検索 \(102ページ\)](#)をお読みください。

再生中のリモコンボタンの機能

- 1 **カメラボタン**：指定したカメラの映像を単一画面で見ることができます。
- 2 **拡大ボタン**：再生画面の特定部分を拡大して見ることができます。
- 3 **画面分割ボタン**：1x1、corridor format、2x2、1+5、1+7、3x3、1+12、4x4の分割画面に切り替えることができます。

コンテキストメニュー

検索モードでリモコンの**ENTER**()ボタンを押して**メニュー**ボタンを押すと、コンテキストメニューウィンドウが表示されます。マウスの右クリックでもメニューを呼び出すことができます。










- **拡大**：映像を拡大することができます。
- **オーディオ**：オーディオ出力をON/OFFできます。(この機能は単一画面のみに対応します。)
- **グループ編集**：グループ編集では分割画面上にカメラの位置を変更できます。
- **ライブメッセージ**：リアルタイムのメッセージ情報を確認できます。

第2章－設定

メニューの使い方

第3章設定編で取り扱う内容のすべては、メニューの使い方をご参照ください。

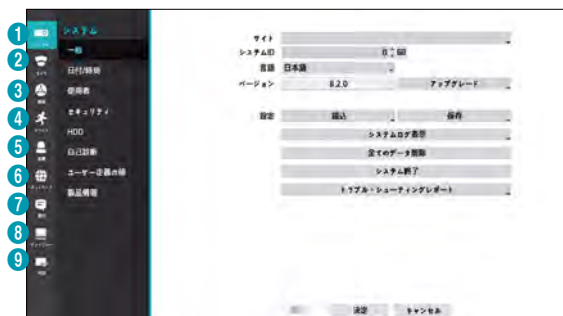
メニューアイコン


	スクリーンキーボードによるテキスト入力
	テキスト入力項目
	ドロップダウンメニュー
	削除
	テーブル項目の順序を変更
	値の範囲を変更
	新規項目を追加または新規作業追加
	使用の利便性のためにすでに定義した項目がある
	下位メニューまたはポップアップが存在するため、現在の画面を非表示にしたり移動する場合があります(情報、警告、エラーメッセージを除く)

設定メニューに入るためには、メニュー設定の権限を有するユーザーでログインする必要があります。

- 2FA機能を使用するとき、登録されたモバイルデバイスの認証をしないと、設定メニューに入ることができません。2FAの使い方は[2FA使用 \(40ページ\)](#)を参照ください。


- リアルタイム監視画面でリモコンの**設定**ボタンを押すか、マウスを利用してリアルタイム監視メニューで設定を選択してください。








- リモコンの方向ボタンで設定したい項目に移動したあと、リモコンの**ENTER**()ボタンをおすか、マウスの左ボタンでクリックしてください。
- 設定変更が終わったら、**適用**または**決定**ボタンを押して変更した設定を保存してください。

- 設定ウィンドウ左下の**初期値**ボタンを選択すると、設定値が初期値に戻ります。

■ スクリーンキーボードによる文字列入力

リモコンの方向ボタンで入力したい文字に移動したあと、リモコンの**ENTER**()ボタンを押すか、マウスをクリックして文字を入力することができます。



-  大文字と小文字を選択します。
-  カーソルの前の文字を削除します。
-  カーソルの後ろの文字を削除します。
-  文字列キーボード入力を変更します。
-  文字列キーボードを英語に変更します。

■ テーブルで全列の値を同時に設定する

カメラ設定 (44ページ)のようにメニューにテーブルが設定されている項目の場合、一部はテーブルのタイトル値を変更することができます。この場合タイトル値を変更すると、同じ列の全項目の値を同時に変更することができます。

■ マウスの使用

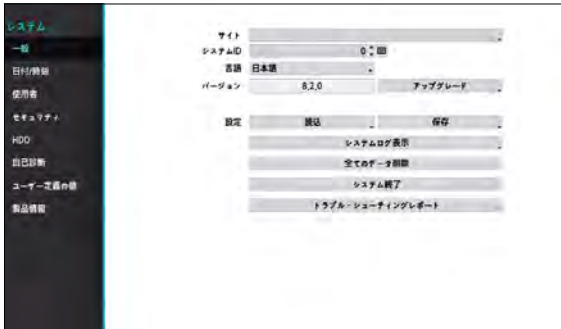
マウスを使えば、容易に環境設定が行えます。項目をクリックして選択し、スクロールバーのあるメニューではマウスのホイールを回してメニューを上下に移動できます。数字を増減させるときも、マウスのホイールを回して数字を設定することができます。

システム設定

設定メニューの使い方は[メニューの使い方 \(32ページ\)](#)を参照ください。

一般

システムの一般的な内容を設定します。



- **サイト**：装置の設置場所に対する説明が表示されます（初期値はありません）。スクリーンキーボードを利用して内容を変更することができます。

仮想キーボードから英数字、記号、ひらがな、カタカナで31文字まで入力できます。

遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合、半角英数字・記号、ひらがな、カタカナ、漢字で31文字まで入力できます。半角カタカナは使用できません。また、環境依存文字や漢字で表示できない場合があります。

遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。

- **システムID**：他のNVRと接続されているとき、本機を区別するときに使用します。また、リモコンで制御するときシステムIDで区別します。

システムIDの初期値は0であり、0～99まで変更して使うことができます。システムIDはスクリーンキーボードでも入力することができます。

- **言語**：対応できる言語を選択して使うことができます。

- **バージョン**：ソフトウェアのバージョンを表示します。
- **アップグレード**：システムアップデートを行います。NetFS機能を使用中の場合にアップデートを押すと、**USBメモリ**または**NetFS**から選択することができます。NetFSを使用しない場合には、USBメモリだけを選択することができます。**USBメモリ**を選択するとUSB検索ウィンドウが表示され、アップデートパッケージファイルを選択するとシステムをアップデートすることができます。**NetFS**を選択すると、登録されているFTPサイトリストからFTPサイトを選択します。アップデート後にはNVRが自動で再起動します。

アップグレードを失敗すると失敗メッセージが表示されます。失敗メッセージは[インストールマニュアル](#)を参照ください。



2FA機能を使用するとき、登録されたモバイルデバイスの認証をしないと、アップグレードができません。2FA機能の詳細については、[2FA使用 \(40ページ\)](#)を参照ください。


- **設定**：現在のNVRの設定を保存したり、以前に保存した設定を読み込んだりすることができます。NetFS機能を使用している場合、登録されているFTPサイトからNVRの設定を読み込んだり、保存したりすることができます。


- **読み込**：ネットワーク設定も一緒に読み込むか選択することができます。**ネットワーク設定を含む**を選択しなければ、現在のシステムのネットワーク設定は変更されません。

設定読み込を実行しても、下記の設定値は変更されません。

- 時間に関する設定値（日時/時間、標準時間帯、サマータイム）
- カメラに関する**詳細設定**の設定値
- カメラに関する**ストリーム**設定値(保存したときにカメラと解像度が違う場合に限る。)
- カメラ関連オーディオ設定値
- カメラ関連SDカード設定値
- 当該ユーザー及びグループが削除される場合には、ユーザー設定は変更されずに維持できます。

- **保存** : USBに接続されている保存デバイス、またはNetFSに登録されているFTPサイトに設定ファイルを保存します。**ファイル名**を指定して、現在の設定を保存することができます。

 USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。

- **システムログ表示** : 最近の5,000件までのシステムログを検索することができます。システムログの種類は**インストールマニュアル**を参照ください。遠隔接続したログの場合、右側に  アイコンが表示されます。画面下の**エクスポート**を押すと、ファイル名を指定してUSBに接続されている保存デバイスまたはNetFSに保存することができます。



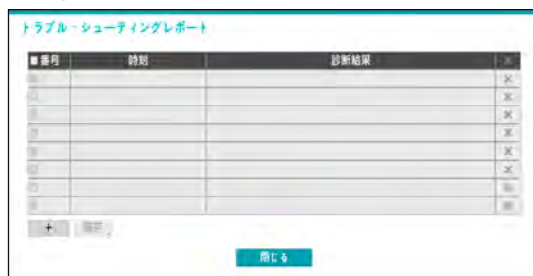
- 保存されたシステムログ.txtファイルの内容を確認するためには、適切な文字コードに設定して固定幅のフォントを使用する必要があります。

- **全てのデータ削除** : 録画されている全てのデータを削除します。**全てのデータ削除**を押すとダイアログボックスが表示され、**削除**を押すと録画されている全てのデータが削除されます。

- **全てのデータ削除**を実行する前に、削除しても良いデータであるか必ず確認してください。一度削除されたデータは復元できません。
 - **全てのデータ削除**をしてもシステムログは残り、**全てのデータ削除**というシステムログが追加されます。

- **システム終了** : システムを終了します。ダイアログボックスが表示されたらもう一度**システム終了**を押してください。

- **トラブル - シューティングレポート** : 製品に問題が発生した場合、その問題を解決するためのレポートを生成します。

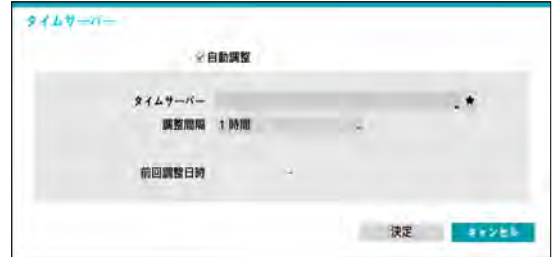


日付/時刻



- **日付**：日付を変更することができます。
- **時刻**：時刻を変更することができます。
- **表示方式**：日付や時刻の表示方式を変更することができます。
- **標準時間帯**：標準時間帯を設定することができます。
 画面に表示されている地図にマウスや方向ボタンで標準時間帯を選択することができます。
- **サマータイム**：サマータイムを適用できます。

- **タイムサーバー**：タイムサーバーの設定を行うと、NVRの時刻を定期的に自動で修正することができます。



- 1 **自動調整**項目を選択してください。
- 2 **タイムサーバー**のIPアドレスまたはドメイン名を入力するか、を選択して登録されたタイムサーバーのリストから適切なタイムサーバーを選択してください。
- 3 サーバーと時間を同期化する**調整間隔**を選択してください。
- 4 **決定**ボタンを押して設定を終了してください。
 ネットワーク-WAN設定で**DNSサーバー**を設定した場合、タイムサーバー項目にタイムサーバーのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。

- **休日**：休日を追加/削除できます。設定された休日には、録画スケジュール設定で設定した休日のスケジュールに従って録画されます。

- 1 設定ウィンドウの下の+ボタンを選択してください。
- 2 休日に指定したい日付を入力してください。
- 3 **決定**ボタンを押して設定を終了してください。



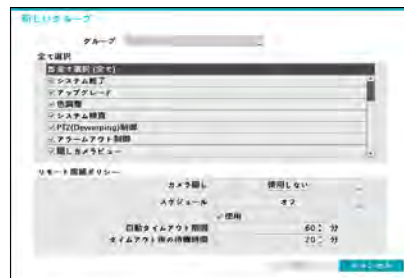
- 各項目の右側の✕アイコンを押すと、設定された休日を削除することができます。

使用者

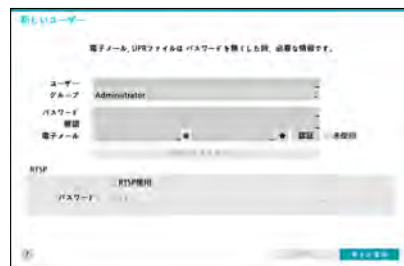
ユーザーを登録し、権限を与えて管理させることができます。



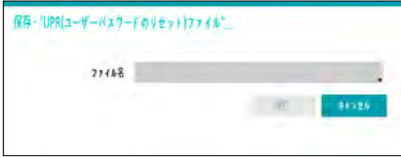
- 1 **+グループ**を押してグループの名前を入力してください。グループ名は最大15文字まで入力できます。
- 2 選択したグループの権限を選択してください。設定できる権限の種類は**グループ (39ページ)**を参照ください。当該グループのリモート接続を行う場合は、**リモート接続ポリシー (40ページ)**のリモート接続ポリシー表の部分をご参照ください。



- 3 **+ユーザー**を押してユーザーの名前を入力してください。



- 4 UPRエクスポートボタンを押すとUPR(User Password Reset)ファイルを生成することができます。UPRファイルはオフラインでパスワードを探す場合に使用されます。UPRファイルを保存する場所を選択した後、ファイル名を入力してください。



- 5 ユーザーが属するグループを指定し、パスワードを入力してください。パスワードは、文字・特殊文字・数字を混ぜて16文字以内に指定してください。パスワード設定は必ずスクリーンキーボードで入力してください。
- 6 RTSPとHTTP APIを使用するためのパスワードを設定してください。セキュリティ上の理由により、RTSP、HTTP接続パスワードとユーザーパスワードをそれぞれ設定することをお勧めします。RTSPを使用の使い方は[RTSP \(89ページ\)](#)を参照ください。
- 7 **自動ログイン**項目と**自動ログアウト**項目を選択してください。

- 8 **適用**または**決定**ボタンを押して設定を終了してください。




- グループ名、ユーザー名、パスワード、メールはスクリーンキーボードでも入力することができます。スクリーンキーボードの使い方は[スクリーンキーボードによる文字列入力 \(33ページ\)](#)を参照ください。
- 登録されたユーザーとグループを削除するには、各項目の右側にある✕アイコンを押してください。**グループAdministrator**と**ユーザーadmin**は削除できません。
- 画面上段のユーザーおよびグループ名の右側にある✕アイコンを押すと、**グループAdministrator**と**ユーザーadmin**を除く全てのグループやユーザーを一度に削除することができます。
- すでに作られたグループやユーザーの設定値を変更するためには、パスワードを入力する必要があります。
- **グループAdministrator**の権限オプションは変更できません。
- **ユーザーadmin**を選択したとき、パスワード以外の情報は変更することができません。
- システムが起動されると、**自動ログイン**項目で選択したアカウントに自動ログインされます。
- **自動ログアウト**設定された時間の間にシステムを操作しない状態が続くと、自動的にログアウトされます。

グループ

システム終了	システムメニューでシステムを終了することができます。
アップグレード	システムメニューでシステム情報設定をアップデートすることができます。
色調整	各カメラの明るさ、コントラスト、色の濃さ、色あいが調整できます。
システム検査	システム検査の結果であるシステムの状態が確認できます。
PTZ(Dewarping)制御	PTZと歪補正カメラを制御することができます。
アラームアウト制御	アラーム出力発生時にリセットすることができます。リモコンの アラーム ボタンまたは遠隔プログラムの アラームアウト制御 ボタンを押して、アラーム出力をリセットすることができます。
隠しカメラビュー	監視モードや検索モードで隠しカメラに設定されたカメラを表示することができます。
オーディオ(監視)	遠隔プログラムとローカル(NVR)からカメラオーディオ機能を使うことができます。
ファクトリーリセット(NVR)	カメラを工場出時の初期設定に戻すことができます。
検索	バックアップ権限のある場合、検索および映像保存ができます。バックアップ権限がない場合、検索のみできます

カメラの設定	カメラの設定を行うことができます。
PTZ設定	PTZに関する設定を行うことができます。
隠しカメラ設定	隠しカメラの設定を行うことができます。
システム時間変更	システムの日時/時間を変更することができます。
データ削除 / 保護	システムの保存データを消したり削除されないように保護することができます。
アラームアウト設定	アラーム出力の設定を行うことができます。
録画設定	録画設定に関する環境設定を行うことができます。
DirectNDC設定	ネットワークを通じてNVRに接続し制御することができます。
イベントアップロード	イベント感知時のビデオクリップをアップロードすることができます。FTPの設定を行うことができます。
自己診断	現在のNVRの状態を自己診断することができます。
設定読み込み	以前に保存したNVR設定を読み込むことができます。
設定保存	現在のNVR設定を保存することができます。

リモート 攪練ポリシー

<p>カメラ隠し</p>	<p>リモート接続時に、画面で非表示にしたいカメラチャンネルを選択することができます。</p>
<p>スケジュール</p>	<p>スケジュールをオンに設定する場合は、スケジュール動作を選択します。スケジュール動作しようとする曜日及びリモート接続の許可周期を設定することができます。リモート接続の許可期間のみ接続可能で、スケジュール動作を選択しない場合には周期設定と関係なく接続が許可されません。</p> 
<p>使用</p>	<p>自動タイムアウト期間</p> <p>使用を選択して自動タイムアウト期間に動作するかどうかを設定します。リモート接続先でNVR接続の維持時間を設定することができます。</p> <p>タイムアウト後の待機時間</p> <p>使用を選択してタイムアウト後の待機期間に動作するかどうかを設定します。自動タイムアウト後に接続を制限する待機時間を設定することができます。</p>

セキュリティ

セキュリティ設定を行うことができます。



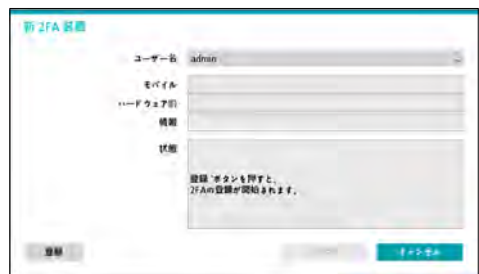
2FA使用

2FAとは、セキュリティのために設定、検索、アップグレードをするとき、登録されたモバイルデバイスをもう一度認証する機能です。

2FA使用の項目を選択して**2FA設定**を押すと、次のようなウィンドウが表示されます(**登録済み**: モバイルデバイスが登録された時間を表示する)。



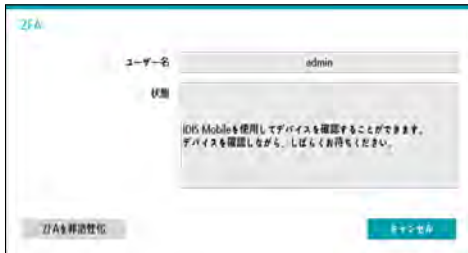
表の下部にある+ボタンをクリックすると、次のようなメッセージが表示され、2FAのデバイスを登録できます。



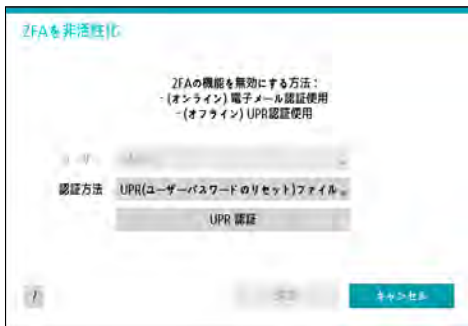
- 2FAデバイスの登録は、IDISモバイルアプリでのみ可能です。
- adminアカウントでのみ設定することができます。
- アカウント一つにつき、最大16個のデバイスを登録できます。

モバイルデバイスの登録が完了すると、設定、検索、アップグレードをするときに下記のようなメッセージが表示されます。

左下の**2FAを非活性化** ボタンを押し、adminアカウントの電子メールとUPR認証を確認することで、2FA機能を非活性化することができます。



電子メール確認機能を使用するためには、FEN設定が必要です。UPR機能を使用するためには、事前にUPRファイルを保存しなければなりません。



ネットワークセキュリティ(ホスト証明書)

ネットワークセキュリティ接続に使用する証明書管理メニューです。製品証明書の情報確認、証明書の新規生成と出力および読込機能をサポートします。



HDD

HDDに関する設定を行うことができます。



- **タイプ** : 実装されているディスクの種類が表示されます。
- **容量** : 各ディスクの容量が表示されます。
- **初期化** : フォーマットされたディスクの場合、**録画**、**使用しない**のいずれか一つが表示されます。まだフォーマットされていないディスクを接続すると、**初期化されていません**というメッセージが表示されます。
- **情報** : 実装されているディスクが録画に使用されているかを表します。他システムで使用していたディスクを接続した場合、**外部**と表示されます。各ディスクの**情報**を選択して保存されたデータの時間情報を確認したり、**削除**を選択してデータを削除したりすることができます。



- 用途は**使用しない**を選択してフォーマットすると、そのディスクは録画用として使用しません。
- 本NVRはSATA3 HDDに対応します。

自己診断

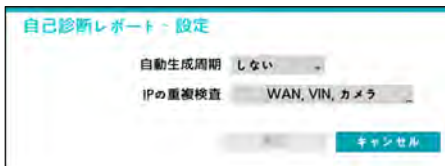
システムイベントの自己診断を設定することができます。

- 本機能は遠隔プログラムを利用してNVRに接続する場合でも使用できます。



診断結果

- **番号** : エクスポートする診断レポートを選択、または解除することができます。
- **時刻** : 自己診断を開始した時刻が表示されます。
- **レポートの表示** : 診断結果に関する情報を**良い・悪い**で簡単に表します。
- **+** : 表の下の+ボタンを押して、手動で自己診断を行うことができます。
- **保存** : 自己診断レポートをHTML形式の文書に変換し、USBメモリまたはNetFSに保存することができます。また、複数のレポートをまとめてエクスポートすることができます。
- **設定** : 自動生成周期とIP重複検査を設定します。



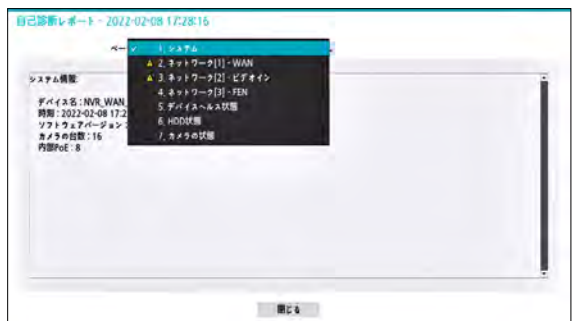
- **自動生成周期** : 自己診断の自動生成周期を6時間、12時間、1日などに設定することができます。
- **IPの重複検査** : WAN、VIN、カメラのIPがネットワーク上で重複しているか確認します。

- この設定はネットワーク上でIPの重複を周期的に確認することができます。ただし、カメラのIP重複は確認周期が長いので、すぐに結果確認が必要な場合は自己診断を行ってください。
- カメラIP重複確認はVIN網のみ確認します。
- 診断結果は最大24件まで保存されます。1日周期で自動生成設定を行った場合、直近24日間の診断結果だけが閲覧できます。
- 診断結果はシステムの電源がOFFになると、自動で消去されます。
- 診断結果は日付の新しいレポートが一番上から表示される降順にソートされます。

- **エラー復帰** : 自己診断時、当該デバイスに対する不具合が発見された場合、**エラー復帰ボタン**をクリックして不具合を解決することができます。

- **ターゲット装置** : 不具合を解決するデバイスを設定することができます。
- **チャンネル** : 対象デバイスをカメラに設定した場合、カメラの**チャンネル**を選択することができます。
- **動作** : エラー復帰で実行する動作を設定することができます。
- **エラー復帰実行** : 診断結果で不具合が見つかった場合、**エラー復帰実行...**ボタンをクリックし、不具合を解消します。

- カメラに**エラー復帰実行...**を押すと、カメラは再起動されます。



- ページに**システム/ネットワーク/デバイスヘルス状態/HDD状態/カメラの状態**など自己診断ページを設定し、対象デバイスの自己診断結果を確認することができます。

- 本NVRの自己診断レポートはテキスト形式の文書でのみ閲覧することができます。

本機能は遠隔プログラムでNVRに接続した場合でも自己診断設定や結果を検索することができます。診断結果リスト下段の保存ボタンを押してPCウェブブラウザなどで閲覧するか、遠隔プログラムで診断結果を検索し、下図のようなHTML形式で閲覧することをお勧めします。

システム情報:

- デバイス名: NVR_16AN_00022374956
- 稼働: 2022-02-08 17:08:50
- フォトソフトウェアバージョン: B.2.0 (GRT801) (Rev. 10.2022)
- ネットワーク数: 16
- 内蔵ディスク: 8

ディスクヘルメット状態:

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
ヘルメット	OK															
容量使用率 (%)	OK															
容量使用率 (%)																
健康状態	良好															
健康状態のログ	2022-02-08 17:23:02 - 2022-02-08 17:28:34															
健康向上書	なし															
健康向上書リスト	なし															
HDD/F	良好 / 使用中															
ディスクエラー	良好 (0%)															
HDD温度	良好 (40.0°C)															
S.M.A.R.T	良好															
ファン状態	良好 (0)															

メモリ状態:

番号	タイプ	番地	MACアドレス	IPアドレス	プロトコル	接続	ネットワーク状態	IPアドレス
1	DMZ1	DC-64517WRX	00E032-1DD562	169.214.228.26	T.T.1	良好 (0%)	●●●●●●	0.0.0.0

ユーザー定義の値

システム

- 一般
- 日時/時刻
- 使用権
- セキュリティ
- HDD
- 自己診断
- ユーザー定義の値
- 製品情報

番号	名前	値
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37		
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45		
46		
47		
48		
49		
50		
51		
52		
53		
54		
55		
56		
57		
58		
59		
60		
61		
62		
63		
64		
65		
66		
67		
68		
69		
70		
71		
72		
73		
74		
75		
76		
77		
78		
79		
80		
81		
82		
83		
84		
85		
86		
87		
88		
89		
90		
91		
92		
93		
94		
95		
96		
97		
98		
99		
100		

- **名前:** HTTP通知時、伝達されるJsonファイルに含めるシステム属性の名前を設定します。
- **値:** HTTP通知時、伝達されるJsonファイルに含めるシステム属性の値を設定します。

製品情報



- **法的通知:** 「GPL/LGPL(GNU General Public License / Lesser General Public License)」の対象となるソフトウェアコンポーネントについての、ライセンス条件を表示します。
- **ユーザーの同意:** FENサービス利用に関するユーザー同意です。規約に同意すれば、IPアドレス、ポート、ルータ情報といった装置情報を収集します。

カメラ設定

設定メニューの使い方は[メニューの使い方 \(32ページ\)](#)を参照ください。

登録

遠隔プログラムからもNVRにカメラを登録することができます。また、リストから**カメラ番号**を指定すると、マウスの**ホイール**を利用してカメラの位置を移動することができます。カメラの位置を移動するとき、元の位置にあったカメラとの入れ替えは自動的に行われます。

番号	タイトル	MACアドレス	アドレス	型番	ビットレート	注
1	CAM1	00:03:22:30:05:82	169.254.228.26	DC-E4513WVX	11MA	注
2	CAM2				11MA	
3	CAM3				11MA	
4	CAM4				11MA	
5	CAM5				11MA	
6	CAM6				11MA	
7	CAM7				11MA	
8	CAM8				11MA	
9	CAM9				11MA	
10	CAM10				11MA	
11	CAM11				11MA	
12	CAM12				11MA	
13	CAM13				11MA	
14	CAM14				11MA	
15	CAM15				11MA	
16	CAM16				11MA	

• **タイトル**：カメラのタイトルを編集することができます。

仮想キーボードから英数字、記号、ひらがな、カタカナで31文字まで入力できます。

遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合、半角英数字・記号、ひらがな、カタカナ、漢字で31文字まで入力できます。半角カタカナは使用できません。また、環境依存文字や漢字で表示できない場合があります。

遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。

• **MACアドレス**：NVRに登録されているカメラの**MACアドレス**が表示されます。

• **アドレス**：NVRに登録されているカメラの**IPアドレス**が表示されます。

• **型番**：カメラのモデル名が表示されます。

• **ビットレート**：チャンネルごとの割り当てビットレートを変更することができます。

• **スキャン**：スキャンを選択し、NVRに接続されているデバイスを検索して登録することができます。

本機能は遠隔プログラムを利用してNVRに接続する場合のみに対応します。

デバイススキャン

カメラ登録-スキャンでデバイスを検索することができます。

番号	MACアドレス	アドレス	型番	プロトコル	名前	状態
01	00:03:22:30:05:82	169.254.228.26	DC-E4513WVX	ONVIF		接続
02	00:03:22:30:05:83	169.254.168.104	DC-E4513WVX	ONVIF		接続
03	00:03:22:30:05:84	169.254.171.11	DC-E4513WVX	ONVIF		接続
04	00:03:22:30:05:85	169.254.167.73	DC-E4513WVX	ONVIF		接続
05	00:03:22:30:05:86	169.254.254.197	DC-E4513WVX	ONVIF		接続
06	00:03:22:30:05:87	169.254.95.97	DC-E4513WVX	ONVIF		接続
07	00:03:22:30:05:88	169.254.171.117	DC-E4513WVX	ONVIF		接続
08	00:03:22:30:05:89	169.254.24.207	DC-E4513WVX	ONVIF		接続

• **プロトコル**：検索したいカメラ（またはビデオエンコーダー）のプロトコルを選択してください。

選択したプロトコルによって、対応できるスキャンモードが異なることがあります。

• NVRに対応するプロトコルでも、カメラのモデルによってはデバイス登録ができなかったり、機能が使えなかったりする場合があります。対応するカメラのモデルに関する詳しい内容は、NVRの代理店までお問い合わせください。

• **モード**：検索モードを選択してください。

- **自動スキャン(LAN)**：ローカルネットにあるカメラを検索します。自動スキャン (LAN) モードで検索できないカメラはIPアドレスで検索してみてください。

- **IPアドレス**：カメラのIPアドレスを入力して検索します。2台以上のカメラを登録する場合、IPアドレスを範囲で入力すると、一度に検索することもできます。IPアドレス設定時のポート設定を選択すると、遠隔監視に使用するポート番号を設定することができます。カメラのネットワーク接続を設定するとき、DHCPを使用しないことをお勧めします。DHCPを使用する場合、外部ネットワーク環境の変化によって、デバイスが正しく接続されないことがあります。

自動スキャン(LAN)モードで検索できないカメラはIPアドレスモードで検索してみてください。

- **フィルタ**：登録したいカメラの**MACアドレス/アドレス/型番/名前/状態**のキーワードを入力して検索することができます。

ポートを設定するとき、NVRで指定したポートとカメラで使用されるポートが異なる場合、検索されないことがあります。このような場合、カメラのIPアドレスを変更しないと、デバイスを登録することができません。

- **番号**：検索されたカメラの**番号**を選択した後、**カメラを追加**をクリックすると、カメラを登録することができます。
- **MACアドレス**：検索されたカメラの**MACアドレス**が表示されます。
- **アドレス**：検索されたカメラの**IPアドレス**が表示されます。
- **型番**：検索されたカメラの**型番**が表示されます。
- **プロトコル**：検索されたカメラの**プロトコル**が表示されます。
- **名前**：検索されたカメラの**名前**が表示されます。
- **状態**：NVRに登録されているカメラは**登録**に、登録されていないカメラは**未登録**に表示されます。

ログイン

パスワードが設定されているか、または他社製のカメラの場合、装置を登録するためには、登録権限のあるユーザーでログインしなければなりません。

- 1 ログインしたいデバイスをリストから選択した後、**カメラを追加**を選択するとログインウィンドウが表示されます。

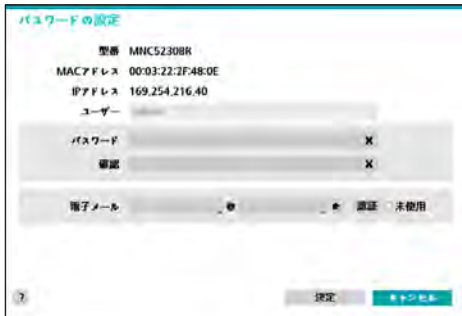
- 2 **ユーザー**を選択した後、**パスワード**を入力し、**決定**ボタンを押してください。

- 全て適用を選択すると、デバイススキャンリストに表示されるすべてのデバイスに同じ認証情報を適用します。
- リストから複数のデバイスを選択し、**カメラを追加**を選択すると、そのデバイスに対する認証ウィンドウが順番に表示されます。**次**を選択すると、選択したデバイスの認証をキャンセルし、次のデバイスの認証ウィンドウを表示します。
- IDISカメラの場合、ユーザーとパスワードを聞かれないことがあります。

カメラのパスワード設定

カメラのパスワード変更及び検索機能に対応するIDISプロトコルカメラの場合、最初にカメラを登録するときにカメラのパスワードを設定する必要があります。電子メールの情報は、今後カメラパスワード変更や検索のために使用されます。

- 1 ログインしたいデバイスをリストから選択した後、**カメラを追加**を選択するとパスワードの設定ウィンドウが表示されます。



- パスワード設定及び変更機能に対応するカメラのうち、パスワードを設定していないカメラのみ当該画面が表示されます。

- 2 暗号,電子メール情報を入力し、**決定**ボタンを押してください。

- 電子メールのアドレスを認証していないと、当該情報を正しく入力しなかったり、または任意の情報が入力されている場合は、パスワードを探索しない場合があります。
 - 認証のためにはFEN設定が必要です。
 - 全て適用を選択すると、装置のスキャンリストに表示されるすべてのデバイスのうち、パスワードを設定する必要があるカメラに同じパスワード、電子メールの情報を適用します。
 - リストから複数のデバイスを選択し、**カメラを追加**を選択すると、そのデバイスに対する認証ウィンドウが順番に表示されます。次を選択すると、選択したデバイスの認証をキャンセルし、次のデバイスの認証ウィンドウを表示します。

一般

カメラを使用するか否かを選択したり、タイトルを編集したりすることができます。



- **タイトル** : カメラのタイトルを編集することができます。
- **使用** : 普通、隠し1、隠し2に設定することができます。
 隠し1または隠し2で設定する場合、隠しカメラを見る権限のないユーザーは、そのカメラの映像を監視・再生できません。隠し1の場合は映像は表示されませんが、様々なOSDは表示されます。隠し2の場合はカメラが未接続の状態と同様に映像だけではなくOSDも表示されません。
- **MACアドレス** : カメラのMACアドレスを確認することができます。

高機能設定

カメラのセキュリティレベルを設定したり、カメラの一般的な設定を行ったりすることができます。



- **ビデオ**：カメラの映像センサー設定、ホワイトバランス、露出などの設定ができます。カメラによって設定項目が異なる場合があります。

イメージセンサー設定



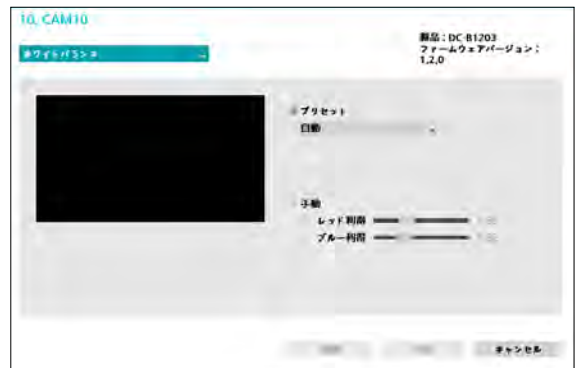
- **製品、ファームウェアバージョン**：モデル名およびソフトウェアバージョンを表示します。
- **ビデオスタイル**：TV色またはPC色を選択することができます。
- **逆光補正**：逆光補正機能のON/OFFを設定します。逆光補正を使用する場合、逆光のときでも被写体をより明るく映します。
- **自動調整**：自動を選択すると、システムがカメラの設置された場所の照明を感知し、適切な値を自動で設定します。手動を選択すると、ユーザーが手動で値を調節することができます。
- **シャープネス**：映像のシャープネスを設定します。映像の輪郭を調節し、鮮明度を補正することができます。値が大きいほど映像が鮮明になりますが、大きすぎる場合には映像にノイズが発生することがあります。

- **ノイズフィルター**：ノイズフィルターの強度を設定します。照度が低い場所で映像のノイズを減らすことができます。値が大きいほどノイズが減りますが、大きすぎる場合には映像が全般的にぼやけることがあります。
- **3DNR(3Dノイズ除去)**：3DNRを使用するか否かを設定します。3DNRを使用する場合、低照度の環境でも背景のノイズを減らすことができます。3Dノイズフィルターを適用すると映像がぼやける現象はなくなりますが、画面を引きずる現象(残像)が発生することがあります。
- **フォーカス再調整**：昼夜間が切り替わるとカメラのフォーカスを再調整します。
 - **オン/オフ**：フォーカス再調整をオン/オフします。

- **昼夜モードへ変更**：カメラが昼間または夜間と映像が切り替わる場合、カメラのフォーカスを再調整します。
- **IRへ変更**：カメラがIRを感知してIR環境の場合、フォーカスを再調整します。
- **ホワイトLEDモード**：PIRセンサーにより動きを検出したとき、自動/On/OffにてホワイトLEDを点灯するか否かを設定します。
- **回転**：回転機能を使用するか否かを設定した後、方向を選択します。回転機能を使用する場合、映像を時計回り、あるいは反時計回りに90度回転させます。ただし、垂直解像度が320より小さい場合、本機能には対応しません。本機能を使用すると、廊下や通路など細長い空間を監視するとき、より効果的に監視することができます。
- **曇り除去**：本機能を使用するかどうかを設定します。本機能を使用すると霧のかかった映像を補正して表示してくれます。
- **IR Strength**：IR LEDの明るさを調節します。項目を選択すればIR LEDセンサーが照度を感じ、明るさを自動的に調節します。項目を選択しなければ明るさを手動で0%~100%まで設定することができ、値が大きいくほど明るくなります。
- **スマート IR**：夜間IR動作時、IRによって近距離の被写体を認識しない場合は、AE制御を介して映像を補正します。
- **高度なAEモード**：**普通**または**番号識別**の中から設定モードを設定します。番号識別モードでは照度が低い場所で逆光によって映像の特定の部分が明るすぎてそれ以外の部分が暗すぎる場合、その特定の部分の逆光を遮断しそれ以外の部分の映像をより明るくて鮮明に見ることができます。例えば、暗い駐車場の入口や夜間のガソリンスタンドの入口で車のヘッドライトに強く照らされたとき、ヘッドライトの光だけを遮断して車のナンバープレートを識別することができます。**番号識別**モードを選択すると映像センサーの一部の設定値が**番号識別**モードで適切な値が自動的に適用され、ユーザーが任意で変更することはできません。
- **ミラーリング**：**水平**または**垂直**項目を選択し、映像を左右または上下に反転させます。

カメラ設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているか確認することができます。

ホワイトバランスの設定



- **プリセット**：予め設定しておいたホワイトバランス値を環境に合わせて選択します。
 - **自動**：ホワイトバランスを自動調節します。システムがカメラの設置された場所の照明を感知し、適切なホワイトバランスに自動設定します。
 - **白熱灯~蛍光灯(ダーク)**：カメラが設置された場所の照明を選択すると、環境に合ったホワイトバランスが設定されます。
- **手動設定**：ホワイトバランスを手動で調節できます。レッドおよびブルー利得が調節でき、値が大きいくほどその色が強調されます。

カメラ設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているか確認することができます。

Day&Night設定



- **ターゲット利得**：露出補正のためのターゲット利得を設定します。選択したターゲット利得を基準として自動的に露出が補正されます。値が大きいほど全般的に映像が明るくなります。
- **ローカル露出**：逆光などにより生じる人物や被写体の黒つぶれをデジタル処理して明瞭にします。映像に暗過ぎる部分と明る過ぎる部分が同時にある場合、明るい領域を保ちながら暗い領域の明るさを上げ、全体の明暗コントラストを平均的にする機能です。
- **アンチフリッカー**：カメラが設置された場所の照明が蛍光灯のように交流電源(AC)を使用する場合、照明の周波数と同じ周波数を設定します。周波数の差による画面のちらつき現象を減らすことができます(NTSC: 60Hz/ 50Hz)。
- **スローシャッター**：シャッタースピードを設定します。シャッターモードは照度が低い時だけ作動します。スローシャッターモードを使用する場合、照度が低い環境でも明るい映像が得られます。カメラモデルによって動作が異なることがあります。詳細な動作方法は、カメラの取扱説明書をお読みください。
- **フォーカスモード**：フォーカス移動を自動/手動/半自動-ワンプッシュに変更することができます。この機能はモデルによって対応しない場合があります。
- **WDR**：WDR (Wide Dynamic Range、広域補正)を使用するか否かを設定します。WDRを使用する場合、映像に暗すぎる箇所や明るすぎる箇所が同時に存在する場合、両エリアとも確認することができます。

- **IRIS** レンズのアイリスタイプを選択します。
 - DC-IRIS
 - **オフ**：手動絞りレンズが装着されている場合、選択します。
 - **DC IRIS(自動)**：DCタイプ自動アイリスレンズが装着されている場合、選択します。
 - P-IRIS
 - **P-IRIS(自動)**：システムが、カメラが設置された場所の照度を感じて絞りの開放の程度を自動で設定します。
 - **P-IRIS(固定)**：スライドバーを使ってユーザーが絞りの開放の程度を指定します。カメラが設置された場所の照度に適切な値を設定します。
- **露光制御**：シャッター速度および効果を設定します。アンチフリッカーおよびスローシャッターがすべてオフに設定されている場合のみに対応します。
 - **自動**：システムがカメラの設置されている場所の照度を感じ、適切な速度を自動的に設定します。
 - **手動**：スライドバーを使って、ユーザーがシャッター速度および効果を指定します。カメラが設置されている場所の照度に適切な最低速度および最高速度を設定します。(1/30秒～1/8000秒)



カメラ設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているか確認することができます。

昼間/夜間設定



- **白黒モード**：白黒モードでは映像を白黒にして、照度の低い場所でも映像をきれいに映すことができます。
 - **オン/オフ**：白黒モードをオン/オフします。
 - **自動**：カメラの設置環境によって、システムが自動的に白黒モードを設定または解除します。
 - **スケジュール**：白黒モードのスケジュールを設定します。昼間に設定された日付や時間の間に白黒モードが解除され、それ以外には白黒モードが設定されます。

- **IRモード**：IRモードを使用する場合、カメラが赤外線を遮断します。照度が高い場所では赤外線を遮断し、照度が低い場所では赤外線遮断を解除することで、どのような照度環境でも映像を鮮明に録画することができます。

- **デイモード/ナイトモード**：昼間または夜間モードに設定します。
- **自動**：カメラの設置環境によって、システムが自動的にIRモードを使用するか否かを設定します。
- **スケジュール**：IRモード使用スケジュールを設定します。デイモードに設定された日付・時刻にはIRモードが解除され、それ以外ではIRモードが作動します。

スケジュール機能に対応していないカメラの場合、その機能は表示されません。

- **モード切替**：昼間/夜間モードの切り替え方式を設定します。一般モードでは照度センサに照射される光量を通して昼間、または夜間モードに切り替えます。高級モードでは、照度センサに照射される光量とカメラ映像を分析して、昼間、または夜間モードに切り替えます。
- **感度調整**：感度調整によって、デイモードまたはナイトモードの変更時点が調節されます。レベル値が高ければ高い照度で、低ければ低い照度でデイモード/ナイトモードが切り替わります。

ビューモード



- **タイプ**：カメラのビューを変更することができます。
- **モード**：リアルタイム監視モードでの画面レイアウトを変更することができます。
 - モードをオリジナルに設定した場合はDeWarping機能には対応していません。
 - モードを変更すると解像度が自動的に変わります。

その他



- **イメージブレ保証**：イメージぶれ補正モードを設定します。風などの外部的な要因によってカメラに振動が発生する場合、映像のぶれを緩和します。
- **映像出力**：カメラアナログの映像出力タイプをNTSCまたはPALに選択することができます。
- **ヒーターモード**：ヒーターを使用するかどうかを設定します。オンの場合、カメラの温度がヒーター作動温度より低ければヒーターが作動します。オフの場合、温度に関係なくヒーターは作動しません。

- **プライバシーマスキング**：プライバシーマスキングの有無やエリア設定が可能です。

プライバシーマスキング設定



名前を選択すると、設定されたプライバシーマスキングエリアの名前を変更することができます。設定されたプライバシーマスキングエリアは、アイコンを押して個別に削除するか全体を削除します。**プライバシーマスキング設定**を選択すると、エリア設定画面が表示されます。マウスでドラッグしてプライバシーマスキングエリアの大きさを自由に設定することができます。なお、最大16のエリアを追加することができます。

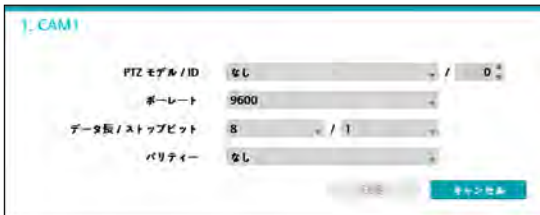


- **編集**：設定されたプライバシーマスキングエリアの名前を変更します。
- **削除**：設定されたプライバシーマスキングエリアの名前を削除します。
- **保存**：設定を保存し、エリア設定画面を閉じます。
- **キャンセル**：変更した内容を保存せず、エリア設定画面を閉じます。
- **SSL**：カメラのセキュリティレベルを使用しない、標準、高、最高のいずれか一つに変更することができます。標準、高、最高に設定された場合、SSL(Secure Sockets Layer)認証を利用したセキュリティ機能が適用されます。

- ☑ カメラのセキュリティレベルが最高に設定されたカメラが多いほど、映像や音声などの受信データのデコードにより、デバイスの負荷が高くなる可能性があります。

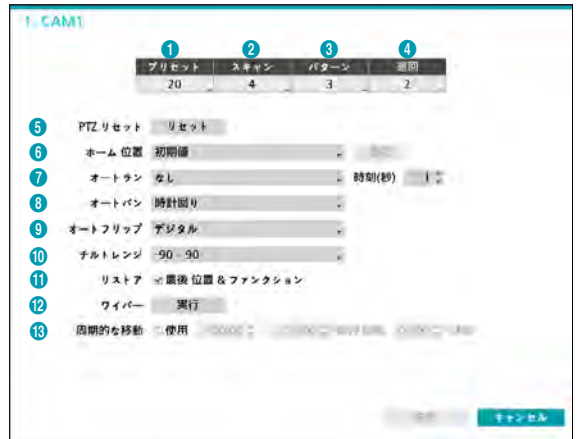
これにより、全体の録画性能が低下し、設定したとおりに機能しなくなる可能性があります。この場合、セキュリティレベルを下げるか、録画のビットレートを下げ、負荷を改善する必要があります。

- **リセット**：ポートまたはカメラをリセットします。
 - **PoE リセット**：Video In/PoE端子に接続したり、オプションで提供されるDirectIP™ PoE Switchを使用する場合、PoE Switchポートを制御することができます。**PoE リセット**ボタンを選択すると、カメラを再起動することができます。
 - **ソフトリセット**：カメラを再起動することができます。
 - **ファクトリーリセット**：カメラを工場出時の初期設定に戻すことができます。本機能はDirectIP™カメラの場合にのみ対応します。
- **モード**：解像度モードを選択することができます。本設定はビデオエンコーダーが接続されている場合のみに対応します。
- **PTZ**：機能を搭載したカメラの場合、PTZモードを使用できるように設定します。



- **PTZモデル**：設置されたPTZカメラの種類を選択します。
- **ID**：各PTZカメラのID番号を指定します。
- **ボーレート/データ長/ストップビット/パリティ**：一値を設定することができます。

- ☑ 設定に関する詳しい内容は、PTZカメラの装置製造社の取扱説明書をお読みください。
- カメラが対応するPTZ種類によって表示される設定ウィンドウが異なります。



- ☑ プリセット、スキャン、パターン、巡回の各項目で表示される数字は、設定された機能の個数です。

① プリセット

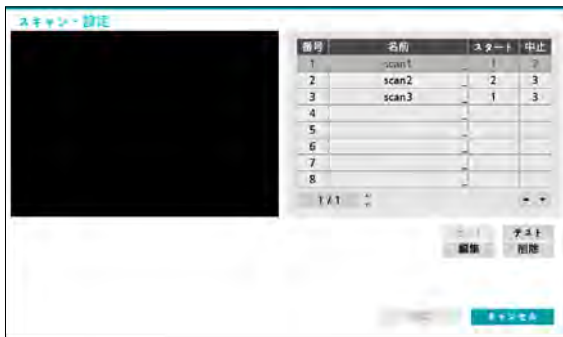


- 下のボタンを利用して、プリセットの位置を設定します。
 - 方向ボタン(← ↑ → ↓ ↶ ↷ ↸ ↹)：カメラをパンまたはチルトしてカメラの方向を調整します。
 - 拡大 (⊕ ⊖)：映像を拡大または縮小します。
 - フォーカス(⊕ ⊖)：近くにまたは遠くにある映像にカメラのフォーカスを合わせます。
 - 速度：カメラのパンチルトの速度を設定します。
- **セット**：プリセット番号を選択したあと、プリセットの名前を入力します。現在の位置がそのプリセットの番号および名前として保存されます。

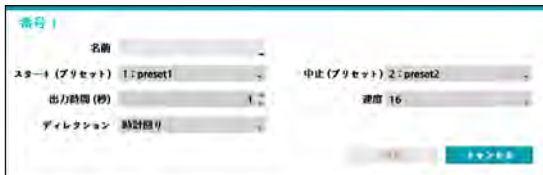
- **移動**：リストからプリセットを選択してボタンをクリックすると、カメラが選択したプリセットの位置に移動します。
- **編集**：プリセット名を変更します。
- **削除**：プリセットを削除します。

② スキャン

スキャン機能を設定し、予め指定した2つの地点をカメラ移動させることができます。スキャン機能を有効にするためには、プリセットは2つ以上設定されている必要があります。



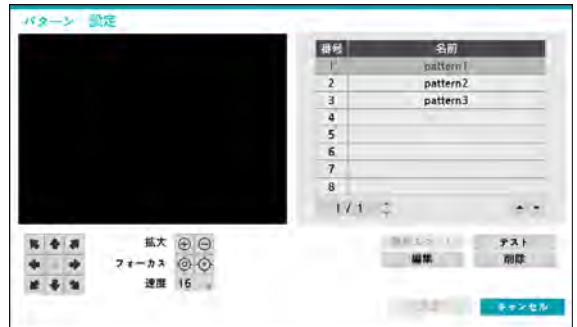
- **セット**：スキャン機能を設定します。








- **名前**：スキャン名を入力します。
- **スタート/中止**：スキャンを開始/終了するプリセットの位置を選択してください。
- **出力時間(秒)**：カメラがスキャンをスタートして終了する位置までの時間を設定します。
- **速度/ディレクション**：スキャンの速度および方向を設定します。
- **テスト**：スキャン番号を選択してボタンをクリックすると、スキャン機能をテストします。
- **編集**：スキャン設定を変更します。
- **削除**：スキャン設定を削除します。

③ パターン

パターンの機能を設定すると、予め指定されて経路でカメラを移動させることができます。



- **設定スタート**：パターン番号を選択したあととパターンの名前を入力し、**決定**ボタンを押すとカメラの動きが保存されます。方向、拡大、フォーカスボタンを利用し、カメラを動かしたあと、**録画停止**ボタンをクリックすると保存されます。最大2分間の動きを保存することができます。
 - **方向ボタン**(): カメラをパンまたはチルトしてカメラの方向を調整します。
 - **拡大** ( ): 映像を拡大または縮小します。
 - **フォーカス**( ): 近くにまたは遠くにある映像にカメラのフォーカスを合わせます。
 - **速度**：カメラのパンチルトの速度を設定します。
- **テスト**：パターンを選択してボタンをクリックすると、パターン機能をテストします。
- **編集**：パターン設定を変更します。
- **削除**：パターン設定を削除します。

④ 巡回

巡回機能を設定し、カメラが複数の機能をすでに指定しておいた順番で遂行するようにできます。



- **セット** : 巡回機能を設定します。



- **名前** : 巡回名を入力します。
- **番号** : 実行する機能の順番を表示します。
- **出力時間(秒)** : その機能が維持する時間を設定します。
- **速度** : プリセット動作の速度を設定します。
- **テスト** : 巡回を選択してボタンをクリックすると、巡回機能をテストします。
- **編集** : 巡回設定を変更します。
- **削除** : 巡回設定を削除します。

プリセット、スキャン、パターン、巡回設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているかどうか、確認することができます。

- ⑤ **PTZ リセット** : カメラのパンチルト、または拡大設定を動作以前の状態に戻します。

- ⑥ **ホーム位置** : カメラのホームポジションを設定します。
 - **初期値** : 工場出荷時に設定された初期位置をホーム位置に設定します。
 - **ユーザー設定** : ユーザーが変更した位置をホーム位置に設定します。
 - **設定**を選択し、ホーム位置を変更することができます。
- ⑦ **オートラン** : 設定された時間の間にカメラが制御されないときに実行する機能を設定します。
- ⑧ **オートパン** : カメラのパンの方向を設定します。遠隔プログラムでオートパンを実行するとき、設定された方向にパン機能が作動します。
- ⑨ **オートフリップ** : カメラが90°以上チルトするとき、物体が反対に見えることを防止するため自動的に映像またはカメラを反転させます。
 - **デジタル** : 映像を左右または上下に反転させます。
 - **メカニカル** : カメラを自動でパンまたはチルトします。
 - **オフ** : 自動反転機能を解除します。
- ⑩ **チルト範囲** : カメラのチルト範囲を設定します。
- ⑪ **リストア** : カメラの最後の位置および機能を復帰するか否かを設定します。復帰機能を使用する場合、カメラの再起動時にその直前の位置に移動したり、最後に遂行していた機能を遂行したりします。
- ⑫ **ワイパー** : カメラのワイパーを動作します。
- ⑬ **周期的な移動** : 設定したスケジュール期間の動作周期ごとにPTZカメラを動作します。

プリセット名、スキャン名、パターン名、巡回名は半角英数字・記号で15文字まで入力できます。デフォルトでは遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合も同様です。ひらがな、カタカナ、漢字、半角カタカナは使用できません。

事前にIDIS Discoveryからカメラの遠隔設定を行い、カメラのシステム言語を日本語に設定した場合、半角英数字・記号で16文字まで、ひらがな、カタカナ、漢字は8文字まで入力できます。半角カタカナは使用できません。また、環境依存文字や漢字で表示できない場合があります。遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。

ストリーム I



カメラの監視/録画映像の解像度や圧縮方式、画質、伝送速度、フレーム数を設定することができます。

- **カメラチャンネル**：カメラごとにビデオプロファイルを設定することができます。
- **ビットレート状態**：各ストリームビットレート値中に一番高い値が現れます。設定ボタンを押して各チャンネルの設定割り当てを変更することができます。詳しい内容は**カメラ表示メニュー (17ページ)**。
- **■□**：カメラチャンネルで選択されたカメラのビデオプロファイルの設定値を、他のチャンネルのカメラにコピーすることができます。
- **ライブ/リモートビデオプロファイル**：現在設定されている監視映像の品質を確認し、遠隔ビデオプロファイルの設定を変更することができます。
- **録画ビデオプロファイル**：4つの録画品質から選択して設定することができます。
 - **ビデオプロファイル**：ストリーム1、ストリーム2、ストリーム3、カスタム(録画ビデオプロファイルのみで選択可能)の中の1つを選択することができます。
 - **コーデック**：H.264、H.265に対応します。
 - **解像度**：カメラが対応する解像度の中から一つを変更できます。解像度は設定されたビデオプロファイルを考慮して、自動的に最大設定値が制限されます。

- **画質**：画質はそれぞれ設定することができます。
- **VBR/CBR**：CBR、VBRの中から一つを選択することができます。**CBR**に設定されると伝送されるデータの量が固定されます。一方、**VBR**に設定されると伝送されるデータ量が映像の動きによって可変的に変動します。
- **ips**：速度は1~30まで設定することができます。最大ipsは設定されたビデオプロファイルを考慮し、自動で最大設定値が制限されます。

- **二重録画使用**：スケジュールで設定したビデオプロファイルの設定値(メインストリーム)で録画すると同時にプロファイル4の設定値(サブストリーム)で共に録画するように設定します。



- NVRで録画再生するときには、下記のように表示します。
 - 9分割未満の場合には、スケジュールで設定したビデオプロファイル(メインストリーム)を表示し、9分割以上の場合には、プロファイル4(サブストリーム)を表示します。
 - 1+7、1+12などの分割画面では、9分割の画面サイズより大きいチャンネルの場合には、スケジュールで設定したビデオプロファイル(メインストリーム)を優先して表示し、それ以外はプロファイル4(サブストリーム)を優先して表示します。
- 本機能は、二重録画機能に対応するカメラのみで使用することができます。

ストリームⅡ

番号	自動リカバリープロファイル	インテリジェントコーデック	MAT	センサーモード
1	プロファイル1	オフ	オフ	4:3
2	プロファイル2	オフ	オフ	なし
3	プロファイル3	オフ	オフ	なし
4	プロファイル4	オフ	オフ	なし
5	プロファイル5	オフ	オフ	なし
6	プロファイル6	オフ	オフ	なし
7	プロファイル7	オフ	オフ	なし
8	プロファイル8	オフ	オフ	なし
9	プロファイル9	オフ	オフ	なし
10	プロファイル10	オフ	オフ	なし
11	プロファイル11	オフ	オフ	なし
12	プロファイル12	オフ	オフ	なし
13	プロファイル13	オフ	オフ	なし
14	プロファイル14	オフ	オフ	なし
15	プロファイル15	オフ	オフ	なし
16	プロファイル16	オフ	オフ	なし

カメラのフェイルオーバープロファイル、インテリジェントコーデック、MATを設定することができます。

- **自動リカバリープロファイル:** フェイルオーバーで使うビデオプロファイルを選択します。
- **インテリジェントコーデック:** 知能型コーデックを使用してビットレートを下げます。



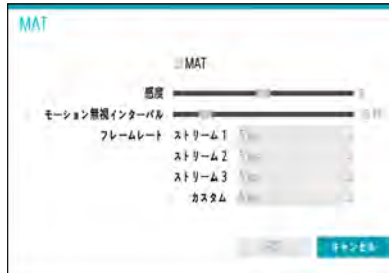
- 本機能をサポートしていないカメラの場合は、その機能は表示されません。
- インテリジェントコーデック設定時、映像分析機能の開始が最長10秒まで遅くなることがあります。

- **MAT設定:** MAT項目を選択すると、映像の転送および録画時にMAT(Motion Adaptive Transmission)機能を使用できます。



- 画像解析の精度を高めるためには、連動するカメラのMAT機能を使用しないことをお勧めします。
- 本機能をサポートしていないカメラの場合は、その機能は表示されません。

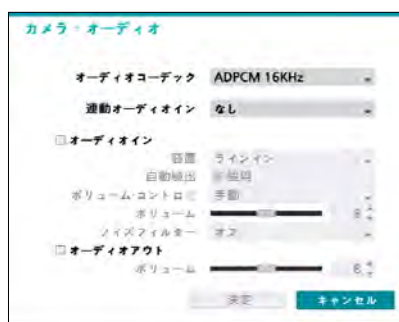
*モーション連動バンド幅制御(MAT)機能は画面上の動きが一定期間ないとfps(伝送フレーム数/秒)を下げ、ネットワークの負荷を減らしストレージ容量を節約する機能です。ユーザーは“モーション無視インターバル”を調整してモーション連動バンド幅制御(MAT)機能の周期を変更することができます。モーション連動バンド幅制御(MAT)機能が作動している間にモーションが感知されると以前のfpsにすぐ復旧します。



- **感度:** 昼間と夜間のそれぞれに対してモーション感知に対する感度を設定します。値が大きいくほどモーションをより敏感に感知します。
- **モーション無視インターバル:** モーション無視インターバルを設定します。モーション無視インターバルの間モーションが感知されない場合、モーション無視インターバル以降モーションが感知されるまで、設定するフレームレートで映像を配信および録画します。
- **センサーモード:** カメラの解像度モード16:9、4:3に設定できます。(設定したモードによってストリームで設定できる解像度が変わります。)

オーディオ

カメラの録音関連機能を一括して設定することができます。



- **オーディオコーデック**：オーディオコーデックを選択します。(G.711 u-Law、G.711 a-Law、G.726またはADPCM16KHz)
- **連動オーディオイン (Associated Audio In)**：選択したオーディオチャンネルをカメラに連動させます。本設定はビデオエンコーダーの場合にのみ対応します。
- **オーディオイン**：オーディオ入力ソース(マイク、ラインインまたはHDMI)を選択してボリュームを調節します。
 - 自動検出: 自動検機能を使用するとオーディオ入力を感じて、オーディオインの装置が自動で選択されます。

- **ボリューム**: ボリュームの調節方法を選択することができます。手動設定を選択するとスライダーでボリュームを調節でき、自動を選択した場合、周辺状況によってボリュームを調整します。
- **ノイズフィルター**: 環境雑音を低減させながら、音声を強化する機能です。ノイズフィルターをオンにすると、音が多少歪む場合があります。パフォーマンスが低下する可能性があるため、この機能を騒がしい場所で使用しないことをお勧めします。

- **オーディオアウト**：ボリュームを調節します。



カメラはオーディオ出力アンプを実装していないため、ユーザーはアンプとスピーカを用意する必要があります。

SD カード

カメラとNVR間の接続が切れた場合、カメラの内部に装着されているSDメモリカードに映像を保存することができます。NVRとカメラ間の接続が正常に復旧したら、スマートフェイルオーバー機能を作動させ、SDメモリカードに保存された映像をNVRに録画します。スマートフェイルオーバーに関する詳しい内容は、[Smart Failover \(62ページ\)](#)をお読みください。



- **上書** : SDメモリカードの空き容量が不足している場合、古い映像から自動的に削除され、新しい映像が保存されます。
 - **初期化** : SDメモリーに保存されたデータをフォーマットします。SDカードをフォーマットすると、SDカードに保存されたすべてのデータが削除されます。
 - **状態** : SDメモリカードの状態が表示されます。
- 本機能はSDメモリカードのスマートフェイルオーバー機能に対応するカメラのみで使用することができます。
- 新たに登録したカメラの場合、フォーマット項目が**外部**と表示されます。この場合、SDカードをフォーマットしていなければ、本機能は使用できません。

メンテナンス

NetFS機能を使用中の場合、各ネットワークカメラの**ファームウェアアップグレード**を選択すると、USBメモリあるいはNetFSから選択することができます。NetFSを使用しない場合には、USBメモリだけを選択することができます。USBメモリを選択した後USB検索ウィンドウが表示されたら、USBに接続されている保存デバイスから該当するアップデートパッケージファイルを選択してください。

各々のカメラのアップグレードパッケージファイルを選択して適用ボタンを押すと、カメラをアップグレードできます。また、カメラの設定をインポートしたりエクスポートしたりできます。



- アップグレードを失敗すると失敗メッセージが表示されます。失敗メッセージは[インストールマニュアル](#)を参照くださいを参照ください。
- アップグレードが終了したら、ネットワークカメラは再起動され自動的に接続されます。

録画設定

設定メニューの使い方は[メニューの使い方 \(32ページ\)](#)を参照ください。

一般

録画に関する一般的な設定を行うことができます。



- **上書**：録画用のHDDの空き容量がなくなると、ディスク単位で古いデータから削除され新しいデータが保存されます。**上書**を解除すると、HDDの空き容量がなくなったら録画は中止されます。
- **録音**：映像を録画する時、オーディオを一緒に録音します。
- **イベント録画時間**：イベント発生時、動作連動に録画が指定されている場合、このイベント録画期間で指定した時間だけ連動録画が行われます。
- **自動削除**：一定の期間が経過した録画データは、自動的に削除することができます。削除可能な期間は1日～999日まで設定できます。



自動削除機能を使用しないためには、**しない**に設定してください。自動削除データを選択して期間を設定すると現在の時刻から設定された期間以内の録画データだけを保管し、それ以上経過した録画データは自動的に削除されます。録画データは毎日深夜0時に自動削除され、システムが起動される場合や**自動削除**設定を変更する場合にも削除されます。

- **自動リカバリサービス**：ネットワーク障害が復旧したとき、SDメモ리카ードに保存されている映像をNVRに録画することができます。



当該機能を選択していない場合には、SDメモ리카ードのデータをNVRに録画することはできません。

- **緊急録画使用**：緊急録画機能を使用するか否かを設定することができます。
- **緊急録画時間**：緊急録画を自動的に解除することができます。緊急録画期間は5分～1時間まで設定することができます。自動解除機能を使用しないためには、期間を**制限なし**に設定してください。
- **ビデオプロファイル**：緊急録画時の録画のプロファイル値を選択することができます。

高性能設定

時間ベースの分割



- **タイムラプス録画期間制限**：イベント録画映像をより長く保管することができます。タイムラプス録画の期間制限機能を使用しないためには、**しない**に設定してください。この機能は、録画ディスクに十分な容量があり、**タイムラプス録画期間制限**で指定した期間を過ぎた場合に動作し、古い**タイムラプス録画映像**データを上書きすることで新しいデータを保存します。



- ディスクに保存されている映像の期間が、設定した**タイムラプス録画期間制限**よりも短い場合には通常のように**イベント録画映像**と**タイムラプス録画映像**の中で、最も古いデータを先に削除します。
- 録画の画質や解像度、動き、その他ユーザーの設定内容によってシステムの録画期間が変更される場合があるため、場合によっては**タイムラプス録画期間制限**で設定した期間が保障されない場合もあります。

サイズベースの分割

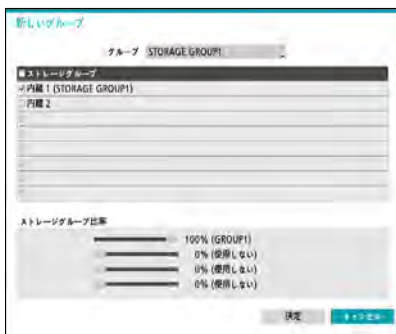
カメラとディスクをグループ化して設定された割合に合わせて録画することができます。



カメラグループリスト左下の『+』ボタンを選択した後、カメラ番号を指定するとカメラグループにグループ化することができます。



ストレージグループリスト左下の『+』ボタンを選択した後、ディスクとカメラグループの録画比率を設定してストレージグループにグループ化することができます。



スケジュール



<単純モード>



<高級モード>

スケジュールオンを解除すると、スケジュールに関わらずスケジュール録画が中断され、各カメラ画面の左上に アイコンが表示されます。緊急録画ボタンを押すと、 表示とともに緊急録画が行われます。










録画スケジュールのモードは、**単純モード**と**高級モード**から一つを選択することができます。**高級モード**を選択すると、各イベントに対してそれぞれ録画スケジュールを設定することができます。

アイコンを選択して、スケジュールを削除することができます。

- 録画スケジュールモードを変更すると、変更時に作動していたイベント連動動作は停止します。
- 設定ウィンドウ左下の+ボタンを押すと、新しいスケジュールが追加されます。**曜日**を選択し、録画スケジュールを設定する**曜日**、または**全て**を選択することができます。**範囲**を選択し、時間の範囲を選択することができます。

単純モード設定




- **モード**：録画しない、連続録画、イベントまたは指定時間およびイベントに設定することができます。

録画しない	緊急録画ボタンを押さない限り、スケジュールで指定された曜日や時間の範囲では録画が行われません。
連続録画	画面の左上に  アイコンが表示され、スケジュールされた時間帯になると、  アイコンが表示されて録画が始まります。
イベント	画面の左上に  アイコンが表示され、そのイベントが発生すると、  アイコンが表示されて録画が始まります。 <input checked="" type="checkbox"/> プリイベントが設定されているとイベントが発生せずに録画されていないときは、  アイコンが表示されます。イベントが発生して録画されるときは、  アイコンと  アイコンが表示されます。
指定時間およびイベント	画面の左上に  アイコンが表示され、設定で指定した時間どおりにビデオプロフィールで録画されます。イベントが発生したらアイコンが  に変わり、設定でイベントに設定したビデオプロフィールで録画されます。

- **チャンネル**：スケジュールを適用するカメラを選択することができます。
- **設定**：選択するとタイムラプスおよびイベント録画モードに対して録画プロフィールの初期値をそれぞれ設定できます。



二重録画(メイン、サブストリーム録画)機能に対応するカメラが単純モード機能を使用している場合、下記のようなアイコンが表示されます。

	メイン/サブストリーム両方とも録画中
	メイン/サブストリームのうち一つのストリームだけ録画中
	メイン/サブストリーム両方とも録画失敗

高級モード設定

設定を選択すると、イベントの種類やビデオプロフィールなどを設定することができます。

- **タイプ**：時間録画及びそれぞれのイベント別の録画を表示されるアイコンは次のとおりです。

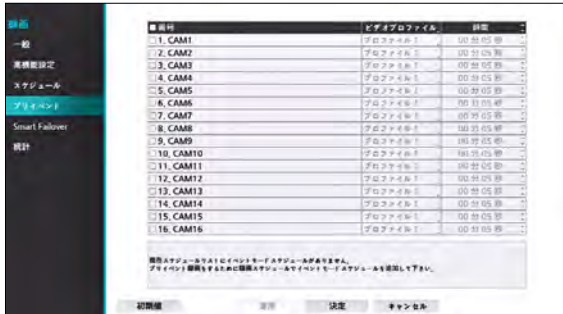
	タイムラプス(時間)		オーディオ検出
	アラーム入力		トリップゾーン
	モーション感知		タンパーリング
	映像信号なし		テキストイン
	録画失敗		ファンエラー
	PIR		自動追跡

- **ビデオプロフィール**：録画に使用するプロフィールを設定することができます。
- **時間**：指定したイベントが発生したときに録画される時間を選択することができます。

- 設定しないチャンネルに対しては、上位のスケジュールの設定値が適用されます。
- 特定のチャンネルで同時に複数のイベントが発生して録画が始まる状況において、各イベントの連動録画に対する**ビデオプロフィール**および**期間**の設定値が異なる場合、より上位の設定値に従います。

プライベート

イベントが発生したときに指定された期間だけ、以前の映像を含めて録画する機能です。



- **番号**：プライベートを設定するカメラを選択/解除できます。
 - **ビデオプロファイル**：録画に使用するビデオプロファイルを設定することができます。
 - **時間**：プライベート録画時間を設定することができます。
- スケジュール上、イベントモードのスケジュールが一つもない場合はプライベート録画のためにイベントモードスケジュールを追加するように警告メッセージが表示されます。
- **指定時間およびイベントモードの場合**にも警告ウィンドウは表示されます。

Smart Failover

カメラとNVR間の接続が解除されたとき、SDメモ리카ードの保存されているデータをNVRに保存する機能です。



- **スマートフェイルオーバー**：録画フェイルオーバーサービスの設定によってスマートフェイルオーバー機能を使用するかどうかを表示します。
 - **録画データ**：SDメモ리카ードに保存されたデータの録画区間の時間情報が表示されます。
 - **状態**：録画データの現在の状態とSDメモ리카ードの搭載有無が表示されます。
- 録画フェイルオーバーサービス機能を選択していない場合には、SDメモ리카ードのデータをNVRに転送することはできません。
- 本機能はSDメモ리카ードの録画フェイルオーバーサービス機能に対応するカメラのみで使用することができます。
 - カメラとNVRが再接続されると、SDメモ리카ードの録画データは順次NVRへ自動的に転送されます。

統計

NVRで設定したカメラグループ別にカメラおよび容量によって録画されているスループットと録画可能時間を表示します。

統計 (平均 (1日))

カメラグループ	スループット	容量	録画可能時間
GROUP1	2.7 MB/秒	5.99 TB	約 25.7 日
GROUP2	514 kB/秒	8.00 TB	約 6.0 ヶ月
GROUP3	-	8.00 TB	-
GROUP4	-	7.00 TB	-

注: 録画は、カメラの設定またはビデオ条件によって異なる場合があります。

録画可能計算

カメラグループ	スループット	容量	録画可能時間
GROUP1	8.0 MB/秒	2.0 TB	-
GROUP2	8.0 MB/秒	2.0 TB	-
GROUP3	8.0 MB/秒	2.0 TB	-
GROUP4	8.0 MB/秒	2.0 TB	-

統計

- **カメラグループ:** カメラグループの名前を表示します。
- **スループット:** カメラグループに含まれているすべてのカメラのスループットの合計を表示します。この場合の**スループット**は、最も長い時間蓄積された単位を基準に表示されます。...を押すと、次のようにカメラグループに含まれているカメラ別のデータを蓄積して、平均の期間単位によってデータの**スループット**を表示します。

GROUP1 スループット

番号	平均 (1秒)	平均 (1分間)	平均 (1日)	平均 (1週)
合計	2.7 MB/秒	2.7 MB/秒	2.7 MB/秒	2.7 MB/秒
1 (メイン)	195 kB/秒	196 kB/秒	196 kB/秒	196 kB/秒
1 (サブ)	195 kB/秒	196 kB/秒	196 kB/秒	196 kB/秒
2 (メイン)	101 kB/秒	101 kB/秒	99 kB/秒	100 kB/秒
2 (サブ)	101 kB/秒	101 kB/秒	99 kB/秒	100 kB/秒
3 (メイン)	113 kB/秒	116 kB/秒	116 kB/秒	116 kB/秒
3 (サブ)	113 kB/秒	116 kB/秒	116 kB/秒	116 kB/秒
4 (メイン)	85 kB/秒	86 kB/秒	86 kB/秒	86 kB/秒
4 (サブ)	85 kB/秒	86 kB/秒	86 kB/秒	86 kB/秒
5 (メイン)	64 kB/秒	63 kB/秒	61 kB/秒	62 kB/秒

- **容量:** カメラグループに含まれているすべてのストレージ容量の合計を表示します。...を押すと、次のようにカメラグループに含まれているストレージ別の容量とスループットを計算して録画できる残り時間を表示します。

GROUP1 容量

HDID	容量	使用量	スループット	残り時間 (1日あたり)
合計	2.00 TB	1.84 TB	3.5 MB/秒	約 6.1 日

- **録画可能時間:** カメラグループのスループットと容量を計算して録画可能時間を表示します。
- **リセット:** 統計で使用している累積されたスループットのデータをリセットします。

カメラ設定またはビデオ条件によって結果が異なる場合があります。

録画容量計算

カメラグループ別にスループットと容量を直接設定して、録画可能時間を計算できます。

計算ボタンを押すと、ストレージ計算機のカメラグループ別にスループットと容量を計算して録画可能時間が表示されます。

イベント設定

設定メニューの使い方は [メニューの使い方 \(32ページ\)](#) を参照ください。


システムイベント

システムイベントの監視に関する設定を行うことができます。



- **設定**：各システムイベントの監視間隔および監視項目を設定することができます。
- **動作**：各イベント発生時に実行されるアラーム出力 (NVRのアラーム出力チャンネル、NVRのビーブ、カメラのアラーム出力チャンネル) および通知 (メール、LAN1~5、HTTP、警告ウィンドウ) 機能を設定することができます。

監視

システム	監視間隔が設定でき、周期的なシステムの自己点検を行います。
システムスタート、システム再起動、システム終了	システムスタート、再起動、または終了されると、設定した動作を行います。
緊急録画	緊急録画発生時には設定した動作が始まります。
録画を確認	<p>録画するようにスケジュールされている場合、設定されたスケジュール上の監視間隔の間に録画されていなければ異常になります。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> スケジュールオンを選択した後、曜日や時間範囲、監視間隔を設定します。設定ウィンドウ左下の+ボタンを押すと、新しいスケジュールが追加されます。<input checked="" type="checkbox"/> アイコンを選択してスケジュールを削除することができます。</p> 
アラームインを確認	アラーム入力を使用しているとき、設定した監視間隔の間にアラーム入力が発生しない場合は異常となります。
ディスクフル警告	全体ディスク容量の80~99%まで設定することができ、ディスク容量が該当する比率以上を占めた場合にイベントが発生します。
ディスクフル	全体のディスクがフルになったときイベントが発生します。
一部ディスクフル警告	複数の分割グループのうち一つのグループのディスク容量が指定された割合の80~99%以上を占めると、イベントが発生します。

一部ディスクフル	複数の分割グループのうち一つのグループのディスク容量が指定された割合の100%になると、イベントが発生します。
ディスクエラー	割合は10～90%まで10%単位で設定することができます。ディスク容量のうち指定した割合以上に損傷した場合イベントが発生します。
ディスク温度	温度を設定することができます。いずれかのHDDの温度が指定した設定温度に達したり、高くなるとイベントが発生します。
ディスク S.M.A.R.T.	S.M.A.R.T.に対応するディスクにエラーが発生した場合、イベントが発生します。
ファンエラー	本体内部のファンが正常に動作しないときに、イベントが発生します。
eSATA切断	eSATAデバイスを使用中に接続が解除された場合イベントが発生します。
ディスク構成変更	HDD交換後などに、システムが再起動されると発生するイベントです。
保存デバイスなし	HDDが接続されていない時に発生するイベントです。
パスワード承認連続失敗	連続して間違ったパスワードを入力し、ログインに失敗した場合に発生するイベントです。



- システムイベントの場合、動作は電子メール通知だけが選択できます。
- 通知(コールバック)機能を使用するためには、NVRがコールバックを受けるPCの遠隔ソフトに登録されている必要があります。

カメラシステム

ビデオ分析を除くカメラで発生するイベントリストです。



カメラシステム_オーディオ検出



- 番号**：オーディオ検出機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- 感度**：1(低感度)～5(高感度)の間の5段階に感度を変更することができます。
- 活性化時間**：オーディオ検出をイベントとして見なすためにオーディオの継続時間を設定します。オーディオが検知されたあと設定された時間続かない場合、これをイベントとして見なしません。
- 無視条件**

オーディオ検出 - 無視条件

インターバルを無視

無視時間使用

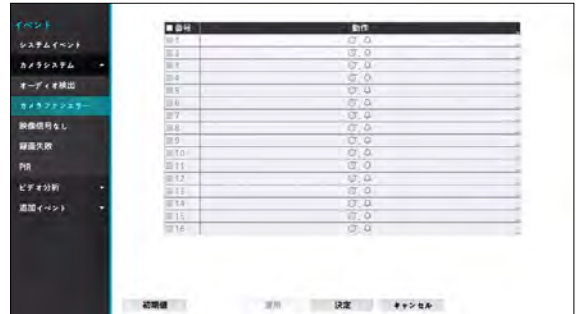
- インターバルを無視**：カメラチャンネルのオーディオが検知された時間以降、一定の時間内に検知されたオーディオについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。1秒～5秒またはしないを選択することができます。

- **無視時間使用**：カメラチャンネルのオーディオ検出無視時間帯を設定することができます。設定した時間にはオーディオ検出機能が作動しません。
- **動作**：オーディオを検知したときの動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されていた場合、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とピープを選択することができます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1~5、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムにNVRが登録されている必要があります。

カメラシステム_カメラファンエラー

FANが装着されたカメラでFANの動作が止まった場合に発生するイベントです。



- **番号**：ファン異常検出機能を設定するカメラが選択/解除できます。
- **動作**：ファンエラーが発生したときの動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されている場合、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とピープを選択することができます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1~5、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

- コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムにNVRが登録されている必要があります。
- カメラシステムイベントに対応しないカメラの場合、その機能は無効となります。

カメラシステム_映像信号なし



● **活性化時間**：映像信号なしをイベントとして見なすための映像信号なしの継続時間を設定します。映像信号なしが感知されたあと設定された時間が続かない場合、これをイベントとして見なしません。

● **動作**：映像信号なしイベント発生時の動作を設定することができます。

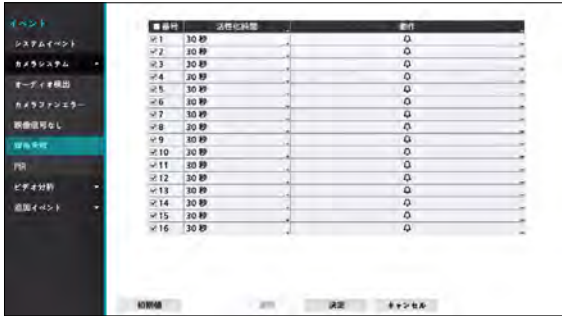
- **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定指定時間およびイベントモードで設定されている場合、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
- **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とビーブを選択することができます。
- **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1~5、HTTP、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
- **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
- **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムにNVRが登録されている必要があります。

● **インターバルを無視**：映像信号なしが感知されてから、一定時間状態が継続された場合にイベントを発生させます。しかし、映像信号なしが感知されても、設定した時間以内に再び映像信号が元通りになった場合はイベントとみなしません。0.1秒~15秒またはしないを選択することができます。本設定はビデオエンコーダーが接続されている場合にのみ対応します。

● **無視時間使用**：時間設定...を選択し、映像信号なしの感知無視時間帯を設定します。設定した時間には映像信号なしの感知機能が作動しません。本設定はビデオエンコーダーが接続されている場合にのみ対応します。

カメラシステム_録画失敗



- **活性化時間**：録画失敗をイベントとして見なすための録画失敗の継続時間を設定します。録画失敗が感知されたあと設定された時間が続かない場合、これをイベントとして見なしません。
- **動作**：録画失敗を検知したときの動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されている場合、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とビープを選択することができます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1~5、HTTP、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

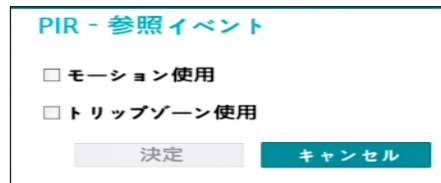
コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムにNVRが登録されている必要があります。

カメラシステム_PIR

カメラに搭載されているPIRセンサーを使用して、人体のモーションを検知すると発生するイベントです。PIRセンサーは人体の温度を検知するため、光がない暗い場所でも人体のモーションを検知することができます。



- **番号**：PIR機能を設定するカメラが選択/解除できます。
- **感度**：昼間および夜間に区分され、それぞれ1(低感度)~5(高感度)の間の5段階に感度を設定することができます。
- **参照イベント**：PIRセンサーを利用したイベントが発生するための最小条件を設定します。参照イベントとして設定したイベントが発生した状態でモーションが発生しないと、PIRイベントが発生しません。参照イベントは、モーションとトリップゾーンを設定することができます。



● 無視条件



- **インターバルを無視**：カメラチャンネルのPIRイベントが感知された時間以降、一定の時間内に感知されたトリップゾーンイベントについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。1秒~5秒または「しない」を選択することができます。

インターバルを無視は、モーション検知連動録画に何ら影響を及ぼしません。

- **無視時間使用**：カメラチャンネルのPIR感知無視時間帯を設定することができます。設定した時間にはタンパーリング感知機能が作動しません。
- **動作**：顔検出が発生したときの動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されている場合、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とビープを選択することができます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1~5、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

ビデオ分析

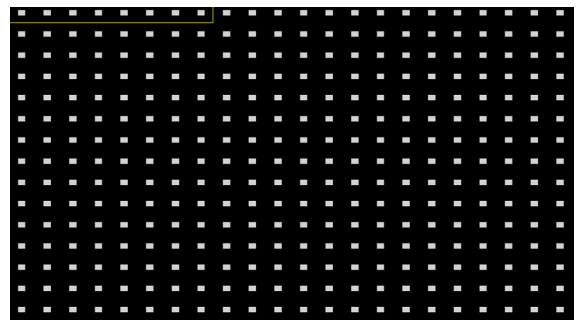
映像分析によって発生するイベントリストでモーション、トリップゾーン、タンパーリング、自動追跡イベントがあります。



ビデオ分析_モーション


イベント	番号	エリア	設定	条件	動作
モーション	001	検知: 1/1/1, 2/2/2/3/3/3	1/1/1		OFF
モーション	002	検知: 2/2/2, 3/3/3/4/4/4	1/1/1		OFF
モーション	003	検知: 3/3/3, 4/4/4/5/5/5	1/1/1		OFF
モーション	004	検知: 4/4/4, 5/5/5/6/6/6	1/1/1		OFF
モーション	005	検知: 5/5/5, 6/6/6/7/7/7	1/1/1		OFF
モーション	006	検知: 6/6/6, 7/7/7/8/8/8	1/1/1		OFF
モーション	007	検知: 7/7/7, 8/8/8/9/9/9	1/1/1		OFF
モーション	008	検知: 8/8/8, 9/9/9/10/10/10	1/1/1		OFF
モーション	009	検知: 9/9/9, 10/10/10/11/11/11	1/1/1		OFF
モーション	010	検知: 10/10/10, 11/11/11/12/12/12	1/1/1		OFF
モーション	011	検知: 11/11/11, 12/12/12/13/13/13	1/1/1		OFF
モーション	012	検知: 12/12/12, 13/13/13/14/14/14	1/1/1		OFF
モーション	013	検知: 13/13/13, 14/14/14/15/15/15	1/1/1		OFF
モーション	014	検知: 14/14/14, 15/15/15/16/16/16	1/1/1		OFF
モーション	015	検知: 15/15/15, 16/16/16/17/17/17	1/1/1		OFF
モーション	016	検知: 16/16/16, 17/17/17/18/18/18	1/1/1		OFF

- **番号**：モーション感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **エリア**：モーション感知をするエリアをブロック単位で設定します。



エリア設定画面でリモコンの方向ボタンを利用し、ブロック単位のエリア選択ウィンドウを上下左右に移動することができます。選択ウィンドウは8つのブロックの大きさの1列に該当し、**カメラ**ボタンで各ブロックを選

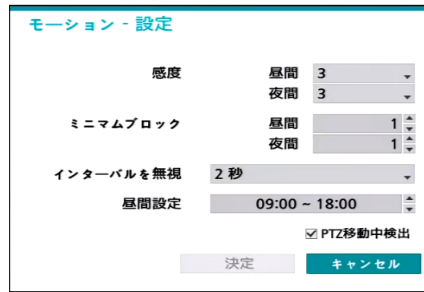
択/解除することができます。マウスを利用してエリアをドラックしたあと、選択/解除/反転させることもできます。

エリア設定画面でリモコンの**ENTER**()ボタンを押すか、マウスの右クリックでエリア設定メニューを呼び出すことができます。



- **選択**：選択ウィンドウで選択されたブロックを選択します。
- **解除**：選択ウィンドウで選択されたブロックを解除します。
- **反転**：選択ウィンドウで選択されたブロックは解除し、解除されたブロックは選択します。
- **全て選択**：画面全体のブロックを選択します。
- **全て解除**：画面全体のブロックを解除します。
- **全て反転**：選択された画面全体のブロックを解除し、解除された画面全体のブロックを選択します。
- **決定**：変更されたブロック設定を保存し、エリア設定メニューから出ます。
- **キャンセル**：変更されたブロック設定を保存せず、エリア設定メニューから出ます。

● **設定**



- **感度**：昼間および夜間に区分され、それぞれ1(低感度)～5(高感度)の間の5段階に感度を設定することができます。
- **ミニマムブロック**：設定されたブロックの数以上でモーションを感知しないと、モーション感知イベントが発生しません。この値を1から**エリア**設定で選択されたブロックの数以下まで選択することができます、週間・夜間を区分してそれぞれ設定します。
- **インターバルを無視**：カメラチャンネルのモーションが感知された時間以降、一定の時間内に感知されたモーションについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。1秒～5秒または「しない」を選択することができます。

モーション感知無視間隔は、モーション感知連動録画にはなんの影響も及ぼしません。

- **昼間設定**：昼間に指定する時間範囲を設定します。時間は15分単位で設定でき、指定した範囲外の時間は夜間に分類されます。

- **モーション - 条件**：特定イベントが発生すると、他イベントの発生状況によって動作するかどうかを決定する条件を設定することができます。



- **参照専用**：当該イベントが参照の対象になるように設定します。
- **イベント**：参照するイベントを設定します。
- **チャンネル**：参照するチャンネルを設定します。

- **動作**：モーションを感知したときに実行する動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定

時間およびイベントモードで設定されている場合、設定されたカメラに対して運動録画が行われます。

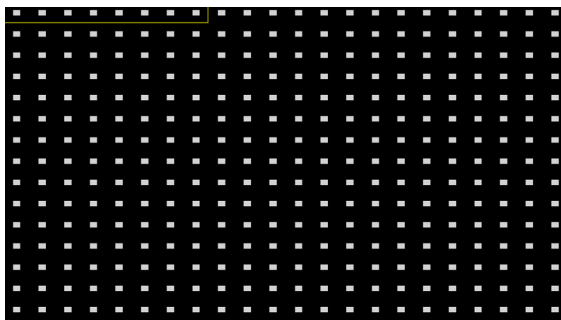
- **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とビーブを選択することができます。
- **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1~5、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
- **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
- **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。


ビデオ分析_トリップゾーン

番号	エリア	設定	実行	動作
001	330	感度: 3/3		OFF
002	330	感度: 1/3		OFF
003	330	感度: 2/3		OFF
004	330	感度: 3/3		OFF
005	330	感度: 1/3		OFF
006	330	感度: 2/3		OFF
007	330	感度: 3/3		OFF
008	330	感度: 1/3		OFF
009	330	感度: 2/3		OFF
010	330	感度: 3/3		OFF
011	330	感度: 1/3		OFF
012	330	感度: 2/3		OFF
013	330	感度: 3/3		OFF
014	330	感度: 1/3		OFF
015	330	感度: 2/3		OFF
016	330	感度: 3/3		OFF

- **番号**：トリップゾーン感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **エリア**：モーション感知をするエリアをブロック単位で設定します。



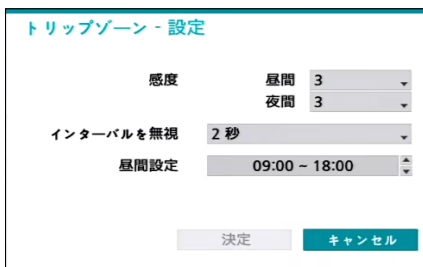
エリア設定画面でリモコンの方向ボタンを使用し、ブロック単位のエリア選択ウィンドウを上下左右に移動することができます。選択ウィンドウは8つのブロックの大きさの1列に該当し、**カメラ**ボタンで各ブロックを選択/解除することができます。マウスを利用してエリアをドラックしたあと、選択/解除/反転させることもできます。

エリア設定画面でリモコンの**ENTER**()ボタンを押すか、マウスの右クリックでエリア設定メニューを呼び出すことができます。



- **選択**：選択ウィンドウで選択されたブロックを選択します。
- **解除**：選択ウィンドウで選択されたブロックを解除します。
- **反転**：選択ウィンドウで選択されたブロックは解除し、解除されたブロックは選択します。
- **全て選択**：画面全体のブロックを選択します。
- **全て解除**：画面全体のブロックを解除します。
- **全て反転**：選択された画面全体のブロックを解除し、解除された画面全体のブロックを選択します。
- **トリップ方向**：イベントとして見なすモーションの方向を選択します。イン側を選択すると選択エリアの外部から内部にモーションが発生する場合、アウト側を選択すると選択エリア内部から外部にモーションが発生する場合、イベントとして見なされます。
- **決定**：変更されたブロック設定を保存し、エリア設定メニューから出ます。
- **キャンセル**：変更されたブロック設定を保存せず、エリア設定メニューから出ます。

● **設定**



- **感度**：昼間および夜間に区分され、それぞれ1(低感度)～5 (高感度)の間の5段階に感度を設定することができます。
- **インターバルを無視**：カメラチャンネルのトリップゾーンイベントが感知された時間以降、一定の時間内に感知されたトリップゾーンイベントについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。1秒～5秒または「しない」を選択することができます。

トリップゾーン無視期間は、トリップゾーン運動録画には影響を及ぼしません。

- **昼間設定**：昼間に指定する時間範囲を設定します。時間は15分単位で設定でき、指定した範囲外の時間は夜間に分類されます。

- **トリップゾーン - 条件**：特定イベントが発生すると、他イベントの発生状況によって動作するかどうかを決定する条件を設定することができます。



- **参照専用**：当該イベントが参照の対象になるように設定します。
- **イベント**：参照するイベントを設定します。
- **チャンネル**：参照するチャンネルを設定します。

- **動作**：トリップゾーンを感知したときの動作を設定することができます。

- **録画**：イベント発生時、運動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されている場合、設定されたカメラに対して運動録画が行われず。
- **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル (NVR、カメラ各々) とビーブを選択することができます。

- **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1～5、-FTP、警告ウィンドウを設定することができます。

- **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

- **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムにNVRが登録されている必要があります。

ビデオ分析_タンパーリング

番号	感度	活性化時間	動作内容	動作
01	3	01 時	無視	OFF
02	3	01 時	無視	OFF
03	3	01 時	無視	OFF
04	3	01 時	無視	OFF
05	2	01 時	無視	OFF
06	3	01 時	無視	OFF
07	3	01 時	無視	OFF
08	3	01 時	無視	OFF
09	2	01 時	無視	OFF
10	3	01 時	無視	OFF
11	2	01 時	無視	OFF
12	3	01 時	無視	OFF
13	3	01 時	無視	OFF
14	3	01 時	無視	OFF
15	3	01 時	無視	OFF
16	3	01 時	無視	OFF

- **番号**：タンパーリング感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **感度**：1(低感度)~5(高感度)の間の5段階に感度を変更することができます。
- **活性化時間**：タンパーリング感知をイベントとして見なすためのタンパーリングの継続時間を設定します。タンパーリングが感知されたあと設定された時間が続かない場合、これをイベントとして見なしません。
- **無視条件**

- **無視時間使用**：カメラチャンネルのタンパーリング感知無視時間帯を設定することができます。設定した時間にはタンパーリング感知機能が作動しません。
- **動作**：タンパーリングを感知したときの動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定指定時間およびイベントモードで設定されている場合、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とビーブを選択することができます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1~5、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。

- **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
- **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムにNVRが登録されている必要があります。

ビデオ分析_自動追跡

PTZカメラが動く物体を検知すると、カメラがPTZを操作して動く物体を追跡します。自動追跡イベントはPTZカメラが物体を追跡すると同時に発生します。



- **番号**：自動追跡感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
 - **ズームを使用**：物体を追跡するときにPTZがズーム機能で動作して物体を拡大します。
 - **物体サイズ**：自動追跡を使用するときのズームレベルを設定します。物体サイズは、大/中/小のうち一つを選択できます。物体サイズを大きく設定すると、画面で物体が大きく出力されます。
- 物体サイズの設定機能は、ズーム使用機能を使用する場合のみ有効になります。
- **追跡終了後の待機時間**：物体追跡が完了した後にカメラは、終了した位置を設定した時間だけ監視してから最初の位置にPTZを移動させます。オフおよび30秒～300秒から選択できます。

-
- 本機能を設定しない場合、自動追跡終了後にPTZが最初の位置に移動しなくなるのでご注意ください。
 - PTZカメラのうち一部のカメラだけが本イベントに対応します。当該イベントに対応しているかに関しては製造元にお問い合わせください。
 - 動作から連動動作にPTZを設定すると、イベントが発生するカメラをPTZ連動動作カメラに設定することができません。例えば、8番の自動追跡動作でPTZ設定すると、8番カメラのPTZを設定することができません。

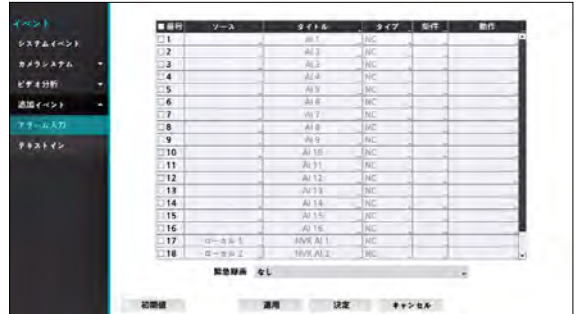
- **動作**：イベント発生時の動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルを選択することができます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1～5、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **イベントアップロード**：イベント発生時、ビデオクリップをアップロードすることができます。
 - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

追加イベント

カメラ、システムまたは他の装備で発生するイベントリストです。



追加イベント_アラーム入力

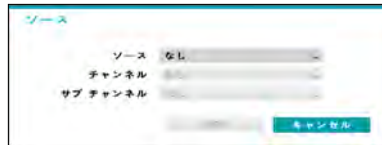


- **番号**：アラーム入力を選択/解除できます。



本設定はローカルアラーム入力とネットワークカメラのアラーム入力を全て含めます。1~16番はネットワークカメラのアラーム入力、17~20番はローカルアラーム入力チャンネルです。

- **ソース**：アラーム入力イベントを使用する装置を設定することができます。



- **チャンネル**：設定したソースのチャンネルを設定します。
- **サブチャンネル**：設定したソースのチャンネルを設定します。

- **タイトル**：キーボード入力ウィンドウからタイトルを入力することができます。



仮想キーボードから英数字、記号、ひらがな、カタカナで31文字まで入力できます。

遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合、半角英数字・記号、ひらがな、カタカナ、漢字で31文字まで入力できます。半角カタカナは使用できません。また、環境依存文字や漢字で表示できない場合があります。

遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。

- **タイプ**：アラームの種類を変更することができます。
- **アラーム入力 - 条件**：特定イベントが発生すると、そのイベントの発生状況によって動作するかどうかを決定する条件を設定することができます。



- **参照専用**: 当該イベントが参照の対象になるように設定します。
 - **イベント**: 参照するイベントを設定します。
 - **チャンネル**: 参照するチャンネルを設定します。
 - **動作**: アラーム入力を感じたときの動作を設定することができます。
 - **録画**: イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定指定時間およびイベントモードで設定されている場合、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **アラーム出力**: イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とビープを選択することができます。
 - **通知**: イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1~5、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **PTZ**: イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**: イベント発生時、監視するカメラを選択できます。
- コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムにNVRが登録されている必要があります。
- **緊急録画**を選択して連動するアラーム入力チャンネルを選択することができます。該当するアラーム入力が発生した場合緊急録画が開始し、アラーム入力が解除されると緊急録画も終了されます。

追加イベント_テキストイン



- **設定**: 選択した番号のテキストインデバイスを設定することができます。



- ポート設定を除いたほかの設定を、全てのテキストインデバイスに対して一度に行うことができます。
- 複数のチャンネルから大量のテキストインが入ってくると、システムの性能に影響を及ぼす可能性があります。

- **ソース**: テキストインイベントを使用する接続装置を設定することができます。
- **製品**: ポート設定の下の部分が、そのテキストインデバイスに合うように設定ウィンドウが変更されて表示されます。現時の設定ウィンドウの内容は汎用テキストに関する設定内容です。
- **開始文字列**: 開始文字列を設定すると、これに該当する文字列が入力される時、1つのトランザクションが開始したと認識します。開始文字列を任意の文字をもって開始として指定することもできます。この場合、どんな文字が入力されても1つのトランザクションが始まったと認識します。

- **終了文字列**：終了文字列を設定すると、これに該当する文字列が入力されるとき、1つのトランザクションが終了したと認識します。終了文字列の隣に**0ライン追加**を選択し、1~10間の値に設定することができます。終了文字列に文字列が入力されたあと、ここで設定した追加ラインだけ入力されると1つのトランザクションが終わったと認識します。

- **改行文字列**：ラインの終わりを決定する文字列を入力することができます。コントロール文字は \uparrow を押して \wedge に続く文字を選択すると入力することができます。例えば、Carriage Returnは $\wedge M$ であり、Line Feed(New Line)は $\wedge J$ になります。

- **無視文字列**：トランザクションを記録するとき除外される文字列を設定することができます。

- **大小文字区分**：開始文字列、終了文字列、改行文字列、無視文字列で設定した文字列が大小文字を区分するか否かを選択することができます。

コントロール文字の場合は、**大小文字の区分**には影響しません。

- **タイムアウト**：タイムアウト期間を設定すると、最後の文字列が入力されたあとに設定されたタイムアウト期間に新しい文字列が入力されなかった場合、1つのトランザクションが終わったと認識します。5秒~15分まで設定できます。

ポートをRS232、USB-Serial 1~8、LAN 1~16の中から一つを選択するとき、ポート設定ボタンが有効化されます。設定ボタンを押して**ボーレート**、**データ**、**ストップビット**、**パリティ**値を正しく設定してください。

- ポートをLAN1~16に選択する場合、ポート設定ボタンを押してネットワークポート値を設定します。
- USB-シリアルポートを使用する場合、システム駆動中、USBケーブルを取り外すとテキストイン機能が誤作動することがあります。

- **タイトル**：テキストインデバイスのタイトルを決めることができます。

仮想キーボードから英数字、記号、ひらがな、カタカナで31文字まで入力できます。

遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合、半角英数字・記号、ひらがな、カタカナ、漢字で31文字まで入力できます。半角カタカナは使用できません。また、環境依存文字や漢字で表示できない場合があります。

遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。

- **動作**：テキストインが発生したときの動作を設定することができます。

- **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されている場合、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。

- **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とピープを選択することができます。

- **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1~5、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。

- **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

- **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムにNVRが登録されている必要があります。

装置の設定

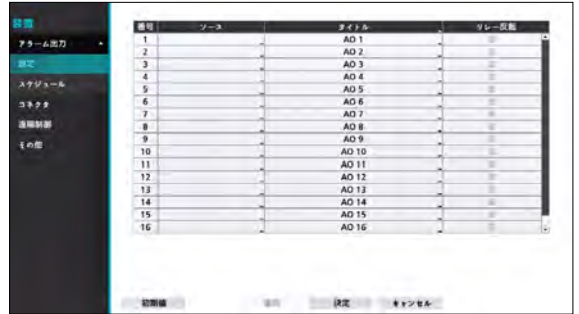
設定メニューの使い方は[メニューの使い方 \(32ページ\)](#)を参照ください。

アラーム出力

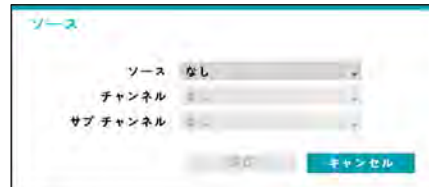
アラーム出力を設定するためのイベントリストです。



アラーム出力_設定



- **ソース** : アラーム入力イベントを使用する装置を設定することができます。



- **チャンネル** : 設定したソースのチャンネルを設定します。
- **サブチャンネル** : 設定したソースのサブチャンネルを設定します。
- **タイトル** : アラーム入力イベントの**タイトル**を設定することができます。



仮想キーボードから英数字、記号、ひらがな、カタカナで31文字まで入力できます。

遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合、半角英数字・記号、ひらがな、カタカナ、漢字で31文字まで入力できます。半角カタカナは使用できません。また、環境依存文字や漢字で表示できない場合があります。

遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。

- **リレー反転** : ソースで設定した装置のアラーム出力タイプを反転させることができます。

アラーム出力スケジュール



スケジュールリストの左下にある+を選択し、スケジュールを追加することができます。

スケジュールは曜日別に選択することができます。

アイコンを選択してスケジュールを削除することができます。

- **出力時間**：5秒から15分まで設定することができ、アラーム出力はここで設定された時間の間に作動します。
- **範囲**：スケジュールする時間帯を変更することができます。
- **モード**：イベント、オン、オフを選択することができます。

イベント	イベントに連動しアラーム出力が発生します。
オン	アラーム出力が常にオンになります。
オフ	アラーム出力が常にオフになります。

- **チャンネル**：アラーム出力に使用するポートおよびビープ出力を設定することができます。

コネクタ



接続ポートリストの左下にある+を選択して接続装置を追加することができます。



- **装置**：NVRで対応する接続装置を選択することができます。
- **ポート**：選択したデバイスで対応するポートを選択することができます。ポートに応じてポートの速度、データ、停止、パリティ値あるいはLANポートを設定できます。

同じLANポートを使用している場合は、ポート番号が重複しているため他のデバイスは使用できないという警告ウィンドウが表示されます。

遠隔制御



- **ポート** : コネクタタブから追加したリモートコントロール接続装置のポートを表示します。

その他



装置のメニューで“その他”を選択して下さい。

- UPSと電波時計を別に設定することができます。各装置の**ポート**を選択するとRS232を選択することができます。この場合、PTZカメラ、またはテキストインなどの装置が同じポートを使用しているとポートが重複するので警告が表示されます。
- **ポート**をRS232に選択し、右側の設定…を選択し、**ボーレート**、**データ長**、**ストップビット**、**パリティ**を設定することができます。

電波時計と本NVRが正常に接続されていると30分単位で電波時計の時刻に本NVRの時刻が同期されます。電波時計との接続及び設定方法は電波時計の説明書を参照してください。

ネットワーク設定

設定メニューの使い方は [メニューの使い方 \(32ページ\)](#) を参照ください。

一般



- **遠隔オーディオチャンネル**：選択したチャンネルのオーディオが遠隔プログラムに伝送されます。**クライアントで選択**を選択すると、遠隔プログラムで選択されたチャンネルのオーディオが伝送されます。

オーディオを伝送するときネットワーク環境によって途中で途切れることがあるため、音声との同期が合わないことがあります。

- **データ伝送するためのSSLを適用**：遠隔監視または遠隔録画のために伝送されるデータにSSL(Secure Sockets Layer)認証を利用したセキュリティ機能が適用されます。

SSL機能を使用するとき、SSL機能に対応しない遠隔プログラムまたはネットワークキーボードでは本NVRに接続することができません。

- SSL設定を変更すると、これを適用するためにNVRへの接続が一時的に途切れます。
- 本製品には、Open SSL Toolkitに使用される目的でOpenSSL Projectで開発した内容が含まれています (<http://www.openssl.org/>)。

- **ネットワークバンド幅制限**：遠隔地に送信されるネットワークバンド幅を設定します。

- **ビットレート**：バンド幅のサイズを設定できます。
- **バースト**：バーストバイトまたはバッファバイトのサイズを設定できます。
- **遅延時間**：遅延時間を設定できます。
- **MTU**：最大伝送パケットサイズ(Maximum Transmission Unit)を設定できます。

ネットワークバンド幅制限を設定する場合、遠隔監視映像が途切れる場合があります。

- **DirectNDC**：DirectNDC (Direct Network Display Control)サービスをご使用になるためには、**DirectNDC使用**を選択してください。DirectNDCサービスとは、ネットワークを通じて遠隔地のPCやモバイルデバイスからNVRに接続して制御する機能を言います。

- **ポート**：ポートを選択し、DirectNDCサーバーのポート番号を設定することができます。
- **パスワード**：パスワードを選択し、遠隔地からNVRに接続する際のパスワードを設定することができます。

DirectNDCサービスを利用して遠隔から接続できる人数は最大3人までです。

遠隔地からNVRを制御するときにキーボードを使用する場合、ショートカットキーの機能は下記の通りです。

Key	機能
←	前面パネルまたはリモコンの矢印ボタンを押すときと同様に、メニュー上で左方向に移動します。
→	前面パネルまたはリモコンの矢印ボタンを押すときと同様に、メニュー上でも右方向に移動します。
↑	前面パネルまたはリモコンの矢印ボタンを押すときと同様に、メニュー上でも上方向に移動します。
↓	前面パネルまたはリモコンの矢印ボタンを押すときと同様に、メニュー上でも下方向に移動します。
Enter または Return	前面パネルまたはリモコンの再生d/一時停止ボタンを押すときと同様に、メニュー設定時に項目を選択したり、入力事項を登録したりするときに使用します。
入力文字、Delete、Backspace、Space	キーボードと同様な入力機能があります。
Esc	キーボードの入力と同様のEscape動作を行います。
F1	前面パネルまたはリモコンの緊急ボタンを押すときと同様に、緊急録画を行います。
F2	前面パネルまたはリモコンのアラームボタンを押すときと同様に、アラームが作動する間に内部ブザーを含めたNVRの出力をリセットします。
F3	前面パネルまたはリモコンのPTZボタンを押すときと同様に、PTZモードを開始します。

F4 または PageUP/ PageDown	前面パネルまたはリモコンのDISPLAYボタンを押すときと同様に、分割画面フォーマットを切り替えます。
F5	DirectNDC出力画面を更新して再表示します。
F6	前面パネルの検索モードまたはリモコンのカレンダー検索ボタンを押すときと同様に、検索モードに切り替わります。
F10 または ウィンドウズ	前面パネルまたはリモコンのMENUボタンを押すときと同様に、画面にリアルタイム監視メニュー、または検索メニューを表示させます。
Home	前面パネルのCLIP COPYボタンを押すときと同様に、バックアップを行います。

ウェブガード



- **IDISウェブサービス使用**：IDISウェブガードを使用するためには、**IDISウェブサービス使用**を選択してください。**ウェブガードポート**を選択し、IDISウェブへの接続に使用するポート番号を1024から65535の間の値で設定することができます。ポート番号はスクリーンキーボードでも入力することができます。IDISウェブに関する詳しい内容は[第4章 - IDIS Web \(112ページ\)](#)を参照ください。

WAN (IPアドレス)

IPアドレスの種類をIPv4なし、IPv4手動、IPv4DHCP、IPv6なし、IPv6手動、IPv6リンクローカルから選択することができます。

IPv4なし



種類をなしに選択して保存すると、IPv4を使用しないように設定されます。

IPv4手動



- **タイプ**を手動に選択してください。
- **手動**を選択した場合、手動で設定することができます。**IPアドレス**、**サブネットマスク**、**ゲートウェイ**の各項目を選択したあと、リモコンの方向ボタンまたはスクリーンキーボードで数字を増減させて設定します。
 - VINとWANのIPに同じセグメントのIPを設定しないでください。
 - IDIS MobileアプリケーションにNVRを登録する場合、QRコードを使用するとNVR IPアドレスをより簡単に入力することができます。
- **DNSサーバー**：DNSサーバーのIPアドレスを入力します。IPアドレスはスクリーンキーボードでも入力することができます。

- **遠隔ポート**：遠隔地プログラムで接続するために使用するポートです。ポート番号はスクリーンキーボードでも入力することができます。ポート番号は1024～65535の間で設定することができます。
- **Pingテスト**：現在設定されてる値でWAN接続ができているかをテストします。



- 1 NVRのIPアドレスを入力してください。
- 2 Pingテストの回数を設定してください。
- 3 **テストスタート**ボタンを押してテストを行ってください。テストの結果が表示されます。
- 4 **閉じる**を押して設定を終了してください。



- ポート変更はファイアウォールなどを使用する場合、ファイアウォールで許容されるポート番号を変更するときに使用します。
- ポートを変更すると、NVRへの遠隔接続が一時的に途切れます。



遠隔プログラムの遠隔地点IP/ポート設定も同様に変更しなければ遠隔プログラムから接続できません。

- **UPnP使用**：UPnP (Universal Plug and Play、ユニバーサルプラグアンドプレイ) サービスを使用するためには、**UPnP使用**を選択します。UPnPサービスを利用してIPルーター(あるいはNAT)を使用するとき、そのデバイスからNVRへのポートフォワーディングを自動的に実行することができます。



- 本機能はプライベートIPアドレスで構成されたポートに接近するときに活用されます。
 - UPnPサービスを使用するためには、使用するIPルーター(あるいはNAT)がUPnPポートフォワーディング機能に対応する必要があり、この機能が使用可能な状態になっていなければなりません。
 - **UPnP使用**を選択すると、ポート番号は変更することができません。
- **状態**：UPnPサービスを利用してIPルーター(あるいはNAT)でNVRにフォワーディングされたポート番号が表示されます。

IPv4_DHCP



DHCPを選択して適用を押すと、DHCPサーバーからIPアドレスなどのネットワーク情報を自動的に割り当てられます。ネットワーク情報が割り当てられると、IPアドレス項目にNVRの現在のIPアドレスが表示されます。



- DHCPを使用する場合、ネットワーク内にDHCPサーバーが必要です。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- DHCP設定を使用する場合、NVRのIPアドレスはNVRが起動されるたびに変更されることがあります。
- IDIS MobileアプリケーションにNVRを登録する場合、QRコードを使用するとNVR IPアドレスをより簡単に入力することができます。

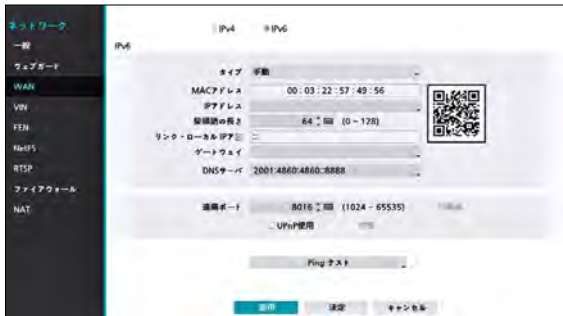
遠隔接続のとき、同時に接続できる回線には制限があります。詳細は、販売店までお問い合わせください。

IPv6なし



種類をなしに選択して保存すると、IPv6を使用しないように設定されます。

IPv6_手動

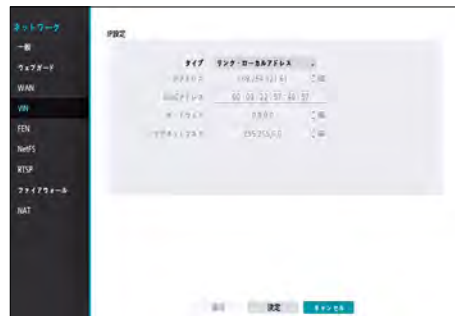


- **タイプ**を手動に選択してください。
- **手動**を選択した場合、手動で設定することができます。**IPアドレス**、**ゲートウェイ**、**DNSサーバ**の各項目を選択したあと、リモコンの方向ボタンまたはスクリーンキーボードで数字を増減させて設定します。
- IDIS MobileアプリケーションにNVRを登録する場合、QRコードを使用するとNVR IPアドレスをより簡単に入力することができます。

VIN

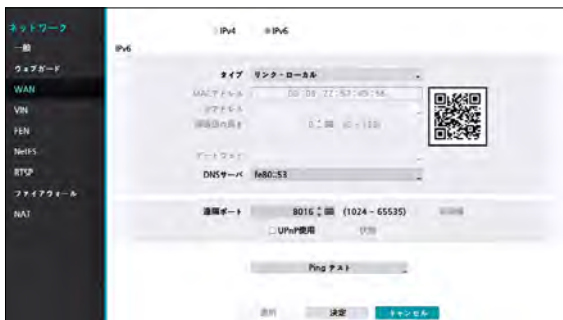
カメラがネットワークに接続されているながらも検索されない場合、本設定を使用します。本設定で、NVR後面パネルにあるVIDEO INポートに対するNVR側のネットワーク設定を変更することができます。

- 本設定を使用する前には、まずカメラのネットワーク設定を確認してください。
- 本設定がWAN設定と衝突を起こしてはなりません。

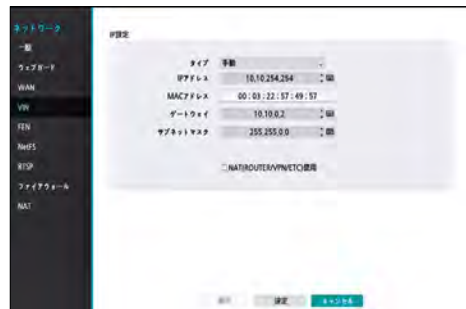


- **リンク-ローカルアドレス**：VIDEO INポートのデフォルト（高機能設定は無効です）。

IPv6_リンクローカル



- **タイプ**をリンク-ローカルに選択してください。リンクローカルアドレスは、同じリンクの隣接ノードと通信するときに使用されます。



- **手動**：IPアドレスをはじめとし、ネットワーク設定を手動で行うことができます。

- **NAT(ROUTER/VPN/ETC)使用**：VIDEO INポートに設定したネットワークの外部にあるカメラを登録できるようになります。（本機能はネットワーク管理を行っている方を対象としています。）



- **DHCPクライアントモード**：DHCPサーバーからIPアドレスをはじめとするネットワーク設定が自動で割り当てられます。
 - **NAT(ROUTER/VPN/ETC)使用**：VIDEO INポートに設定したネットワークの外部にあるカメラを登録できるようになります。(本機能はネットワーク管理を行っている方を対象としています。)



- **DHCPサーバー**：NVRをDHCPサーバーで動作します。同様のネットワークにDHCPサーバーがあるか確認します。DHCPサーバーがない場合、本オプションを選択することができます。NVRがDHCPを利用し、VIDEO INポートに接続されているカメラのIPアドレスを自動で割り当てます。IPアドレス範囲は、**10.10.0.128 ~ 10.10.254.254** です。

- 同じネットワーク上に複数のNVRが存在する場合、その中の一台だけをDHCPサーバーとして設定することが出来ます。もし、複数のDHCPサーバーが作動すると、カメラに重複したIPが割り当てられることがあります。

FEN

FENサービスは流動IPを使用するNVRを遠隔管理プログラムで接続するとき、流動IPやルーター設定などを気にすることなく簡単に接続できるようにする機能です。



- **FENを使用**：FENサービスを使用する場合はチェックしてください。
- **FEN名前**：FENサーバーに登録されるNVRの名前を入力したあとと検査して登録してください。FENサーバーに登録されるNVRの固有名です。
 - デバイス名項目の確認ボタンをクリックし、入力されたデバイス名が使えるかどうかを確認しない場合FEN設定を保存することができません。
 - デバイス名を入力しなかったりFENサーバーにすでに登録されている名前を入力したりすると、エラーメッセージが表示されます。
 - デバイス名に#、¥、%の記号が含まれている場合、ウェブビューアプログラムでNVRにアクセスする時にアクセスができないときがあります。
 - IDIS MobileアプリケーションにNVRを登録する場合、QRコードを使用するとNVR IPアドレスをより簡単に入力することができます。
 - 半角英数字で63文字まで入力できます。
- **FENサーバー**：FENサーバーのIPアドレスやドメイン名を入力することができます。
 - ネットワーク-WAN**設定でDNSサーバーを設定した場合、**FENサーバー**項目にFENサーバーのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。
- **ポート**：FENサーバーのポート番号を設定することができます。
 - IPルーター(あるいはNAT)を使用する場合、ポート設定などのネットワーク機能はIPルーター(あるいはNAT)の使い方に従います。

- **状態**：FENサーバーに登録したデバイスの状態を確認することができます。


設定を変更した後**適用**を選択すると、NVRのデバイス名がFENサーバーに登録されます


- FEN設定が正常に行われた場合、再びFEN設定画面に入るときに**ヘルプ**項目にFENサーバーのヘルプに関する情報が表示されます。


NetFS

下記の機能を使用するためには、FTPサイトを登録する必要があります。


- FTPサイトにアップグレード/設定ファイルインポート（エクスポート）/ログエクスポート/自己診断エクスポート/印刷用ファイルをアップロードしたり、FTPサイトから直接ダウンロードすることができます。設定の仕方は下記の通りです。

：監視モードの （設定）メニュー→システム→一般→アップグレード/インポート/エクスポート/システムログ→自己診断エクスポート


：監視モードの （設定）メニュー→システム→自己診断エクスポート


：検索モード （プリント）メニュー

- FTPサイトにクリップファイルをアップロードすることができます。設定の仕方は下記の通りです。

：検索モードの （エクスポート）→A-Bバックアップまたはバックアップ

- イベント感知のFTPアップロード（システムイベントを除く）することができます。設定の仕方は下記の通りです。

：監視モードの （設定）メニュー→通知メニュー→FTPタブ→FTP設定

：監視モードの （設定）メニュー→イベントメニュー→アクション→イベントアップロード（FTP）設定

- FTPソリューションとしては、FileZillaまたはsmallFtpのご使用をお勧めします。
 - 本機能はFTPサイトのPASV（手動モード）のみ対応します。



NetFS機能を使用するためには、**NetFS使用**を選択してください。

設定ウィンドウの左下にある+アイコンを選択し、FTPサイトを追加することができます。（最大16個）

- **タイトル**：スクリーンキーボードを利用してNetFSサイトの名前を入力することができます。

- 仮想キーボードから英数字、記号、ひらがな、カタカナで63文字まで入力できます。

遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合、半角英数字・記号、ひらがな、カタカナ、漢字で63文字まで入力できます。半角カタカナは使用できません。また、環境依存文字や漢字で表示できない場合があります。

遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。

- **使用**：NetFS機能の用途を設定することができます。
 - **N/A**：NetFS機能を使用しません。
 - **ALL**：すべてのNetFS機能を使用します。
 - **アップグレード**：NetFSサイトにアップロードされたアップグレードファイルを使用します。
 - **設定**：NetFSサイトにアップロードされた設定ファイルを使インポートしたり、エクスポートしたりします。
 - **システムログ**：NetFSサイトにシステムログを保存します。
 - **バックアップ**：NetFSサイトにビデオクリップを手動で保存したり、イベントが感知されたビデオクリップを自動で保存します。
 - **印刷**：NetFSサイトにイメージをPDFファイルで保存します。

- **サイト** : NetFSサイト情報を入力することができます。
- ネットワーク-NetFS設定画面でFTPサイトを削除すると、通知-FTP設定画面でも該当するFTPサイトが削除されます。
 - FTPサイトの使用をALLまたはバックアップ以外の設定に変更する場合、FTP通知機能が無効となります。
 - 各項目の右側の アイコンを押すと、NetFSサイトを削除することができます。

スクリーンキーボードを利用し、NetFSサイトの情報を入力します。情報を入力したあと、**テスト**ボタンをクリックすると、設定したNetFSサイトの情報が正しいかテストを行います。

- **タイトル** : スクリーンキーボードを利用してNetFSサイトの名前を入力することができます。
- **アドレス** : スクリーンキーボードを利用し、NetFSのアドレスを入力します。
- **ポート** : NetFSサイトへ接続するためのポートを設定します。
- **リモートパス** : スクリーンキーボードを利用し、NetFSサイトのフォルダーの経路を入力します。
- **ユーザー、パスワード** : スクリーンキーボードを利用し、NetFSサイトへ接続するためのユーザーやパスワードを入力します。
- **テスト** : 情報を入力したあと、**テスト**ボタンをクリックすると、設定したNetFSサイトの情報が正しいかテストを行います。

RTSP

RTSP(Real-Time Streaming Protocol)、リアルタイムストリーミングプロトコルサービスを使用して、リアルタイム監視ができる機能です。



- RTSPサービスに対応するメディアプレーヤーを通じて遠隔地からNVRに接続してリアルタイム映像を監視することができます。接続の方法は次の通りです。
 - PCを通しての接続: メディアプレーヤー(VLCプレーヤー等)を実行した後rtsp://ID:パスワード@IPアドレス:RTSPポート番号/trackID=カメラのチャンネル番号を入力 (ex: rtsp://admin:@10.0.152.35:554/trackID=1)
 - 一部のメディアプレーヤーではネットワークの状態により連続的な映像再生が円滑にいかない場合があります。
 - RTSPサービスは、使用しているメディアプレーヤーの種類によってサポートできない場合があります。

ファイアウォール

ユーザーが一定の規則を構成してMACアドレス、IPアドレスまたは受信(NVR)側のネットワークポートを許可または拒否する機能です。



ファイアウォール機能を使用するには、ファイアウォール使用を選択してください。

設定ウィンドウの左下にある+アイコンを選択し、ユーザーが規則を構成することができます。



• **タイトル**：規則の名前を決めることができます。

- 半角英数字・記号で16文字まで、ひらがな、カタカナで6文字まで入力できます。
 遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合、半角英数字・記号、ひらがな、カタカナ、漢字で16文字まで入力できます。半角カタカナは使用できません。また、環境依存文字や漢字で表示できない場合があります。
 遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。

- **タイプ**：規則に使用するMACアドレスおよびIPアドレスまたはネットワークポートを設定します。
- **動作**：規則の動作を設定します。
 - **DROP**：当該規則に従う場合、受信されたパケットをそのまま破棄します。
 - **REJECT**：当該規則に従う場合受信されたパケットを破棄し、送信側で拒否されたというACKパケットを返送します。

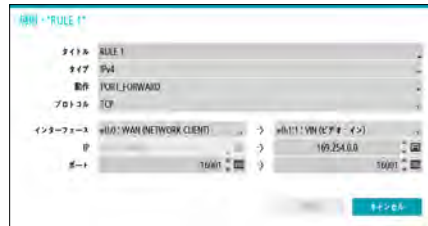
- **INVALID**：無効な操作、動作の場合に表示します。ユーザーによる設定はできません。
- **ACCEPT**：当該の規則に基づいたパケットを許可します。
- **インターフェース**：ファイアウォール規則が効力を発揮するイーサネットインターフェース装置を指定することができます。WAN (ネットワーククライアント)またはVIN(ビデオイン)のイーサネット装置を意味します。
- **MACアドレス**：当該規則に従う場合、受信されたパケットをそのまま破棄します。
- **IP**：規則の種類がIPv4またはIPv4(範囲)で選択された場合、使用される送信側のIPアドレスを入力します。
- **ポート**：規則の種類がポートまたはポート(範囲)に選択した場合に使用される受信(NVR)側のネットワークのポート番号を入力します。

NAT

WAN網のPC(WebSetup/IDIS Web/IDIS Center Program/RTSP)で内部のVIN網カメラに接続するためのポートフォワーディングをするのに使用されます。



NAT機能を使用するには、**NAT使用**を選択してください。設定ウィンドウの左下にある+アイコンを選択し、ユーザーが規則を構成することができます。



• **タイトル**：規則の名前を決めることができます。

仮想キーボードから英数字、記号、ひらがな、カタカナで16文字まで入力できます。

遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合、半角英数字・記号、ひらがな、カタカナ、漢字で16文字まで入力できます。半角カタカナは使用できません。また、環境依存文字や漢字で表示できない場合があります。

遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。

- **タイプ**：規則に使用するMACアドレスおよびIPアドレスまたはネットワークポートを設定します。
- **動作**：規則の動作を設定します。
 - **PORT_FORWARD**：外部TCP/UDPポートと内部ポートを結合して接続を許可します。
- **プロトコル**：規則に使用するネットワークプロトコルを設定します。
- **インターフェース**：イーサネットのインターフェース装置を指定します。
- **IP**：規則の種類がIPv4またはIPv4(範囲)で選択された場合、使用される送信側のIPアドレスを入力します。
- **ポート**：規則の種類がポートまたはポート(範囲)に選択した場合に使用される受信(NVR)側のネットワークのポート番号を入力します。
- VINからWAN方向のインターフェース設定は行うことができません。詳しい説明は付録を参考にしてください。

通知設定

スケジュール

スケジュールリストの左下にある+アイコンを選択し、通知スケジュールを追加することができます。



- **曜日**：曜日別に選択することができます。
- **範囲**：イベント通知時間帯を変更することができます。
- **通知**：イベントを感知したときに実行される通知を選択することができます。**メール**、**LAN1~5**、**HTTP**、**FTP**、**サマリー**などを設定することができます。
- コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムにNVRが登録されている必要があります。
 - 設定されたスケジュールの右側の☒アイコンを押すと、設定されたスケジュールを削除することができます。
- **サマリーEmail間隔**：決められた時間ごとに、イベントの内容を要約したメールを遠隔地に伝送します。

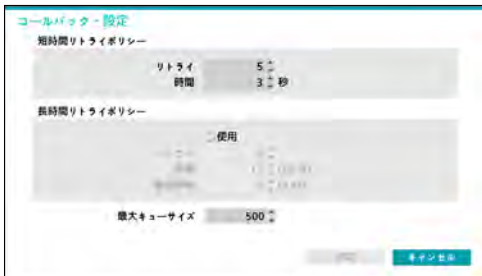
コールバック

遠隔地へのコールバック機能を設定することができます。



コールバックを受信するサーバーのIPアドレスを設定し、NVRが遠隔接続に失敗したとき、**リトライ**する回数を1回から10回まで選択することができます。

コールバックイベントをリトライするためのポリシーを設定します。設定ウィンドウの右下にある**設定...**ボタンを選択してコールバックリトライポリシーを設定することができます。



● **短時間リトライポリシー**：コールバックイベントをリトライするための短時間ポリシーを設定します。

- リトライ：コールバックイベントをリトライする回数
- 時間：コールバックイベントのリトライ待機の秒単位の時間

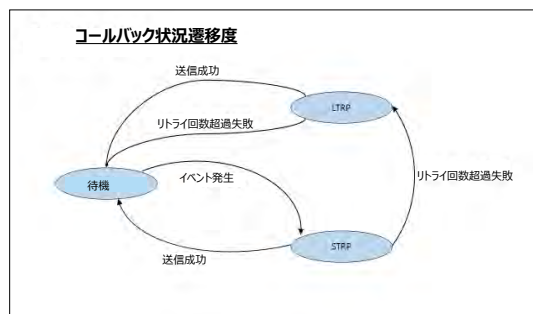
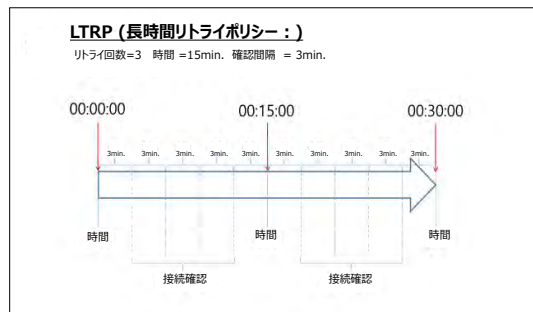
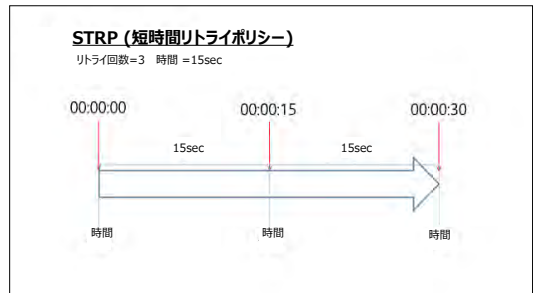
● **長時間リトライポリシー**：コールバックイベントをリトライするための長時間ポリシーを設定します。

- 使用：長時間リトライポリシー機能を設定することができます。
- リトライ：コールバックイベントをリトライする回数
- 時間：コールバックイベントのリトライ待機の分単位の時間
- 確認間隔：障害復旧を確認する分単位の時間

☑ 通信障害が頻繁に発生する無線(モバイル)/衛星通信環境ではなく一般の有線ネットワーク通信環境では、特別な理由がない限り長時間リトライポリシー(LTRP)を使用する必要はありません。

● **最大キューサイズ**：コールバックイベントを処理できる最大サイズを設定します。

詳細コールバックリトライポリシーの動作は、以下の図を参照してください。



メール

遠隔地へのメール機能を設定することができます。



- **グループ**：メール受信者グループを追加し、電子メールに添付するイメージファイルの形式について設定することができます。



グループを選択すると、キーボード入力ウィンドウが表示され、グループ名を指定することができます。添付ファイルから CBFを選択するとビデオクリップ形式の、MP4を選択するとMP4形式のイベント映像が当該グループへのメール送信の際に添付されます。

- メール通知機能は、ベストエフォート(Best-effort)サービスであり、保証(Guarantee)サービスではないため、外部(3rd-party)ソリューションおよびシステムと同期する時にご注意ください。
- メール通知機能は、SMTPプロトコルの特性上リアルタイムを保証しません。
- 短時間で複数の転送が発生すると、Eメール添付ファイルが送信されない場合があります。
- 仮想キーボードから英数字、記号、ひらがな、カタカナで63文字まで入力できます。遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合、半角英数字・記号、ひらがな、カタカナ、漢字で63文字まで入力できます。半角カタカナは使用できません。また、環境依存文字や漢字で表示できない場合があります。遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。

- **メール**：メールアカウントを追加することができます。



受け取る人が属している受信者グループを選択します。名前を選択して受信者の表示名をした後、アドレス項目に受信者のメールアドレスおよびメールサーバーを設定します。★を選択すると登録されたメールサーバーリストから希望するメールサーバーを選択することができます。

- 受信人のメールアドレスは必ず@を含む、正しい電子メールのアドレスを入力しなければなりません。

設定されたメールアカウントの右側の添付ファイルアイコンを選択すると、そのアカウントにメールを送信するときにイベント映像が添付されます。

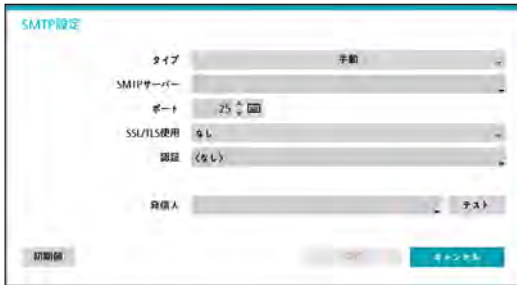
設定されたメールアカウントの右側の✕アイコンを押すと、設定されたアカウントを削除することができます。

- 仮想キーボードから英数字、記号、ひらがな、カタカナで63文字まで入力できます。遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合、半角英数字・記号、ひらがな、カタカナ、漢字で63文字まで入力できます。半角カタカナは使用できません。また、環境依存文字や漢字で表示できない場合があります。遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。

SMTPを設定する

メールアドレス設定ウィンドウの右上に**SMTP設定**を選択し、SMTPサーバーを設定することができます。

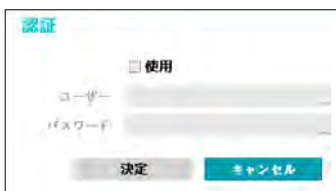
- 1 SMTPサーバーの**タイプ**を選択してください。
- 2 **SMTPサーバー**のIPアドレスまたはドメインネーム、SMTPサーバーの**ポート**番号、**発信人**を設定してください。



SMTPサーバーのポート番号の初期値は**25**です。**テスト**を選択すると、現在設定されたアドレスにメールが送信されテストすることができます。サーバーが対応している接続方式に応じてSSL/TLSまたはSTARTTLSを選択して使用することができます。

- ネットワーク-WAN**設定でDNSサーバーを設定した場合、**SMTPサーバー**項目にSMTPサーバーのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。
- 発信人**には必ず@を含む、正しい電子メールのアドレスを入力しなければなりません。
- 仮想キーボードから英数字、記号、ひらがな、カタカナで63文字まで入力できます。遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合、半角英数字・記号、ひらがな、カタカナ、漢字で63文字まで入力できます。半角カタカナは使用できません。また、環境依存文字や漢字で表示できない場合があります。遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。

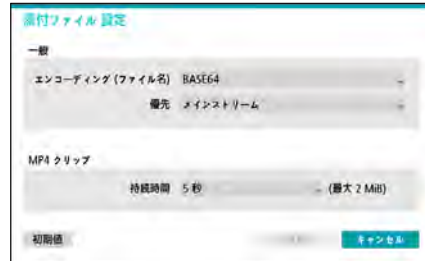
SMTPサーバーにユーザー認証が必要な場合**使用**を選択し、ユーザー認証を使用するかどうかを選択したあと、**ユーザー名**と**パスワード**を設定します。



- 3 **決定**を押して設定を終了してください。

本製品には、Open SSL Toolkitに使用される目的で OpenSSL Projectで開発した内容が含まれています (<http://www.openssl.org/>)。

添付ファイル設定



- エンコーディング(ファイル名):** 添付ファイル名に対するエンコーディングをBASE64またはPLAIN-TEXTに設定できます。
- 優先:** メールおよびFTP添付ファイルに対するストリーム映像をメインストリームまたはサブストリームに設定できます。
- MP4 クリップ:** メール送信時、イベント映像が添付され、MP4クリップの録画時間を設定できます。
- カメラが発生させるイベントに関する映像だけが添付されます。

FTP通知



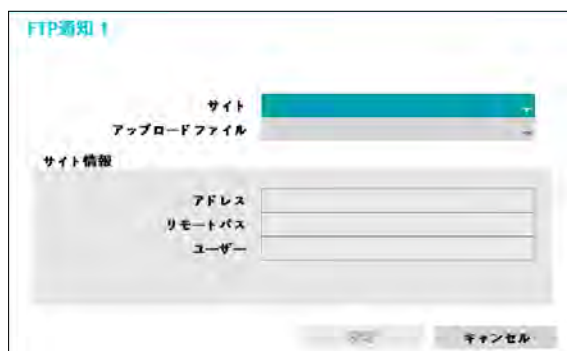
FTP機能を設定すると、イベント発生時にFTPサイトにイベントが感知されたイメージまたはビデオクリップをアップロードすることができます。画面の左下にある+を選択し、FTPサイトを追加することができます。

● **FTP** : スクリーンキーボードを利用してFTPサイト情報を入力することができます。

● **アップロードファイル** : FTPサイトにアップロードするファイルフォーマットを選択することができます。

FTPサイトは最大5つまで登録することができます。

+を選択しFTPサイトを登録します。



● **サイト** : 登録されているFTPサイトのリストが表示されます。リストからFTPサイトを選択します。NetFSサイトの**使用設定がすべて**、または**バックアップ**以外の設定になっている場合、そのFTPサイトを選択することはできません。ネットワーク-NetFS設定画面で**使用設定**を変更したり、他のFTPサイトを登録したりすることができます。

● **アップロードファイル** : CBFまたはMP4を選択することができます。**CBF**を選択する場合、イベントが感知されたビデオクリップをFTPサイトにアップロードします。**MP4**を選択する場合、イベントが感知された映像ファイルをFTPサイトにアップロードします。

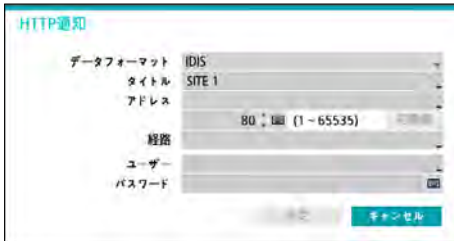
- FTP通知機能を正しく動作させるためには、ネットワーク-NetFSで**使用設定**、イベント-動作で**FTP通知設定**を行う必要があります。
- ネットワーク-NetFS設定画面でFTPサイトを削除すると、通知-FTP設定画面でも該当するFTPサイトが削除されます。
- イベントアップロード機能は、ベストエフォート (Best-effort) サービスであり、保証 (Guarantee) サービスではないため、外部 (3rd-party) ソリューションおよびシステムと同期する時にご注意ください。
- イベントアップロード機能は、機能設計特性上リアルタイムを保証しません。
- 短時間に複数のアップロードが発生すると、イメージがFTPサイトにアップロードされない場合があります。
- システムイベントには対応しません。
- アップロードが数回失敗すると、そのビデオクリップは削除されます。
- NVR起動時にアップロードされなかったビデオクリップはすべて削除されます。

HTTP

遠隔地のHTTPサーバーにイベント発生のお知らせおよび伝達をします。HTTPサーバーには、イベントおよびNVR情報をJsonタイプで伝送します。



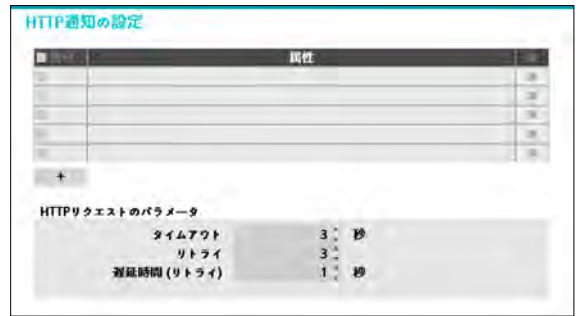
設定ウィンドウの左下にある+ボタンを選択してHTTP通知サーバーの情報を入力します。



- **データフォーマット:** 送信するメッセージのデータフォーマットを設定します。
- **タイトル:** HTTP通知サイト名を入力します。
 - 仮想キーボードから英数字、記号、ひらがな、カタカナで63文字まで入力できます。
 - 遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合、半角英数字・記号、ひらがな、カタカナ、漢字で63文字まで入力できます。半角カタカナは使用できません。また、環境依存文字や漢字で表示できない場合があります。
 - 遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。
- **アドレス:** HTTP通知を受けるためのアドレスを入力します。
- **経路:** HTTP通知サーバーアドレスの経路を入力します。
- **ユーザー、パスワード:** HTTP通知サイトに接続するための情報を入力します。

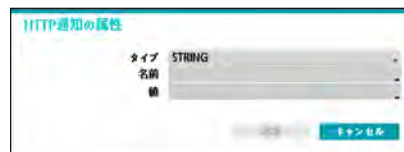
HTTP通知の設定

HTTPイベント発生を伝達する時に含む属性とパラメータを設定します。設定ウィンドウの右下にある**設定...**ボタンを選択してHTTP通知設定を入力することができます。下記のようなウィンドウが表示されたら、+ボタンを選択してHTTP通知属性(タイプ、名前、値)を設定することができます。



- **HTTPリクエストのパラメータ:** HTTPリクエストに対するタイムアウト、リトライ、遅延時間(リトライ)を設定します。
 - タイムアウト: 最初の接続の試みに許容される最大時間
 - リトライ: 接続に失敗した場合、接続をリトライする回数
 - 遅延時間(リトライ): リトライと次のリトライの間の時間

HTTP通知の属性



- **タイプ:** HTTP通知属性によってBOOL、INT32、FLOAT32、STRINGのうち一つを選択します。
- **名前:** HTTP通知属性名前を入力します。
 - 半角英数字で31文字まで入力できます。
 - 遠隔プログラムから遠隔設定を行った場合も同様です。半角英数字以外は使用できません。
 - 遠隔設定の方法については、遠隔プログラムのマニュアルをご参照ください。
- **値:** HTTP通知属性値を入力します。

ディスプレイ設定

設定メニューの使い方は**[メニューの使い方 \(32ページ\)](#)**を参照ください。

OSD

OSD(On Screen Display)情報を画面下に表示することができます。



状態に関する情報

- **日付、時刻**：日付と時刻が表示されます。
- **遠隔制御**：当該アイコンが表示されると、リモコンを使用できます。
- **ネットワーク**：デバイスがイーサネットでネットワークに接続されている場合、表示されます。
- **残容量**：上書きモードを実行しているか関係なく表示され、上書きモードを実行していない場合には、利用できる残容量を表示します。
- **ユーザー名**：現在ログインしているユーザー名を表示します。
- **バックグラウンドパネル**：黒い画面の下にバックグラウンドパネルが表示されます。

カメラに関する情報

- **番号**：カメラ番号がカメラ画面の左上に表示されます。
- **タイトル**：カメラタイトルがカメラ画面の左上に表示されます。
- **解像度(検索)**：再生モード画面に録画解像度が表示されます。
- **コーデック(検索)**：再生モード画面にコーデック情報が表示されます。
- **PTZ**：カメラがPTZカメラに設定されていると、**P**アイコンを表示します。
- **録画**：録画やスケジュールに関するアイコンが表示されます。
- **オーディオ**：該当するチャンネルのオーディオを出力しているときは、**🔊**アイコンが表示されます。
- **PTZ拡大**：カメラがPTZカメラに設定されていれば、拡大モードにおける拡大の倍率を示します(x2、x3など。)
- **テキストイン**：テキストインデバイスから入力される文字列が表示されます。**表示時間間隔**を選択し、テキストイン文字列が画面に表示される表示期間を設定することができます。テキストイン文字列は単一画面のときだけに表示されます。
- **拡大**：拡大された状態が表示されます。
- **フリーズ&自動切替**：フリーズ&自動切替アイコンが表示されます。
- **画面グループ**：現在の画面グループが表示されます。

メインモニター

モニターに関する設定を行うことができます。



- **モード**：フル切替または切替を選択することができます。
- **カメラ切替間隔**：3秒～2分まで設定できます。自動切替については④ **自動切替 (24ページ)**を参照ください。
- **手動構成**：モニターの解像度情報に関わらず、ユーザーが解像度を手動で設定することができます。
- **解像度**：3840 x 2160、1920 x 1200、1920 x 1080、1680 x 1050、1600 x 1200から設定することができます。
- **イベントモニタリング**：イベントモニタリングが設定されると、イベント発生時にイベント連動録画がされるカメラ画面を表示します。イベントモニタリングに関しては**イベントモニタリング機能 (28ページ)**を参照ください。

- **イベント 警告**：イベント警告が設定されると、イベント発生時のイベントモニタリングが連動されているカメラ画面の上段に赤い線が表示されます。



- モニターによって対応できる解像度が制限されることがあります。
 - 3840 x 2160@50/60Hzの解像度は、HDMI2.0モニタのみサポートされます。
 - 3840 x 2160または1920 x 1080の解像度を使用することをお勧めします。
 - VGAモニタをメインモニタとして使用する場合は、1920 x 1080以下の解像度を使用することをお勧めします。
 - HDMI deep control機能はサポートしていません。
- **BRP(Boost Remote Performance)モード使用**：BRPモードが設定されると、リアルタイム監視モードでは全カメラのライブ映像が表示されなくなり、ネットワークバンド幅制限が100Mbpsに向上します。
 - **優先**：カメラの監視ストリームの優先順位を解像度またはフレームレートによって設定します。

状態

メニューの使い方は[メニューの使い方 \(32ページ\)](#)を参照ください。

カメラ

全てのカメラのイベントの状態を確認することができます。イベントが発生したチャンネルは5秒間点滅します。



イベント項目

	モーション		トリップゾーン
	タンパーリング		映像信号なし
	オーディオ検出		ファンエラー
	PIR		自動追跡

装置

全ての装置のイベントの状態を確認することができます。イベントが発生したチャンネルは5秒間点滅します。

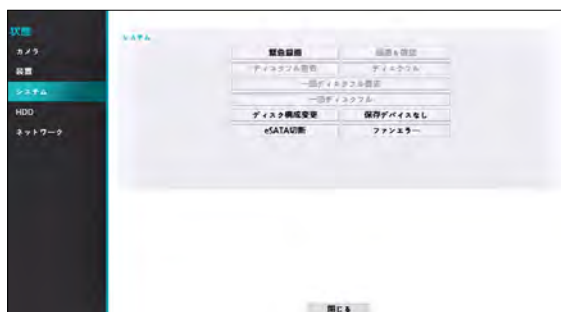


イベント項目

	メインストリーム録画失敗		映像信号なしアラーム入力
	サブストリーム録画失敗		アラームインを確認
	テキストイン		

システム

全てのシステムのイベントの状態を確認することができます。イベントが発生したチャンネルは5秒間点滅します。



- **緊急録画**：現在緊急録画の使用状況によってイベント状態が表示されます。
- **録画を確認**：この項目は**システム監視設定**によってイベント状態が表示されます。詳しい内容は**システムイベント (64ページ)**を参照ください。

- **ディスクフル警告/ディスクフル**：HDDが上書きの状態ではない場合、**システム監視**設定で指定したディスクの割合に達したとき、更に100%になったときにイベント状態が表示されます。詳しい内容は**システムイベント (64ページ)**を参照ください。
- **一部ディスクフル警告/一部ディスクフル告**：HDDが上書きの状態ではない場合、複数の分割グループのうち各グループのディスクが指定したディスクの割合に達したとき、またはシステム - モニタリングタブで指定したディスクの割合に達したときにイベント状態が表示されます。詳しい内容は**システムイベント (64ページ)**を参照ください。
- **ディスク構成変更**：HDDを交換してシステムを再起動したときに発生するイベントです。
- **保存デバイスなし**：録画可能なHDDが存在しない場合に発生するイベントです。
- **eSATA切断**：eSATAデバイスが運用中に接続が解除された場合、イベント状態が表示されます。
- **ファンエラー**：クーリングファンの回転数が一定のレベルに達しなかったり、約50秒以上作動しない場合、イベント状態が表示されます。


HDD

各ディスクの状態を表示します。



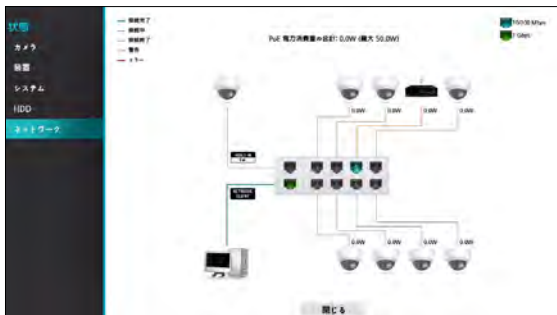
設定> イベント> システムイベントでディスクエラー、ディスク温度設定を行うことができます。

ディスク エラー	初期化されていません	使用したことのないディスク
	良好	<ul style="list-style-type: none"> • 正常に動作しているディスク • HDDの一部が損傷しているとき、その割合が表示される
	エラー	<ul style="list-style-type: none"> • HDDの損傷の割合がユーザーの設定した割合より多い場合 • システムイベント発生
温度	N/A	温度が感知できないディスク
	良好	正常な温度の場合は温度が表示される
	不良	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザーが設定した温度以上の場合 • システムイベント発生
S.M.A.R.T.	N/A	S.M.A.R.T.機能に対応しないディスク
	良好	S.M.A.R.T.状態が正常な場合
	不良	S.M.A.R.T.状態が異常であり、ディスクが24時間以内に損傷する可能性のある場合






 録画データ項目で各ディスクのデータ保存時間情報を確認することができます。

ネットワーク



ネットワーク全体の状態をリアルタイムで表示します。





表示される情報は、カメラ接続の有無、LANポートリンクの状態、電力使用量、接続されているクライアントの台数、ネットワーク情報の詳細な説明は次のとおりです。

<p>カメラ接続有無</p>	<p>カメラが接続されている場合には 、接続がされていない場合には  で表示されます。 イメージをクリックすると、NVRに接続されているデバイスのステータス情報が確認できます。</p>
<p>ネットワークスイッチ接続有無</p>	<p>LANポートにネットワークスイッチが装着されている場合には  と表示され、接続されているカメラの総数も表示されます。イメージをクリックすると、NVRに接続されているデバイスのステータス情報が確認できます。</p>
<p>ビデオエンコーダー接続有無</p>	<p>LANポートにビデオエンコーダーが接続されている場合には  と表示され、接続されているカメラの総数も表示されます。イメージをクリックすると、NVRに接続されているデバイスのステータス情報が確認できます。</p>
<p>アラームボックス</p>	<p>アラームボックスが接続されている場合には  で表示されます。</p>

LANポートリンクの状態

接続されたカメラ、あるいはネットワークスイッチのない場合には 、接続されている場合に  が表示されます。

LANのポート速度

1Gbpsで接続された場合には 、10/100Mbpsに接続された場合に  が表示されます。



電力使用量

NVRから電力が供給されている場合にはカメラアイコンの下に実際に使用されている電力量が表示され、電力消費量の合計は最上部に下記のように表示されます。

[PoE 電力消費量の合計: 0.0W (最大 50.0W)]

1~8ポートはPoE電源が供給されるポートであり、**VIDEO IN Ext.** (VIDEO IN Ext.) および **NETWORK CLIENT** (NETWORK CLIENT)ポートにはPoE電源が供給されません。

接続されているクライアントの台数

クライアントがネットワークを使ってNVRに接続されているかどうか、接続されている場合何台のクライアントが接続されているかを表示します。クライアントが接続される場合には 、接続されていない場合には  で表示されます。

ネットワーク情報

現在ネットワークに接続されているか、接続中であるか、接続が解除されているか、エラーが発生しているかの情報を下図のような色で区分して表示します。




* (警告: ネットワークにスイッチを接続したとき、ネットワーク帯域幅が100Mbps以下の場合)

* (エラー: ネットワークにスイッチを接続したとき、ネットワーク帯域幅が10Mbps以下の場合)

第3章-検索

タイムラプス検索

リアルタイム監視モードで**検索モードアイコン**  を選択し、**タイムラプス検索**または**イベントログ検索**モードを選択して実行することができます。

- 1 タイムラプス**検索**モードでリモコンのメニューボタンを押すと、**調整エリア**を選択できるメニューが表示されます。
- 2 **メニュー**ボタンをもう1度押すと、**調整エリア**が移動します。
- 3 **調整エリア**が移動した状態で2秒経過すると、**調整エリア**が選択されてメニューが消えます。
- 4 移動したい**調整エリア**を選択し、前面パネルまたはリモコンの方向ボタンで各メニューや項目の間を移動することができます。検索メニューはマウスポインタを画面の上に移動すると表示させることができます。



調整エリアは**上**、**センター**、**右**、**下**で構成されています。

- ① **上**：画面上段の検索メニューを選択可能にします。方向ボタンで移動してメニューを選択することができます。
- ② **センター**：中央画面エリアを有効化します。方向ボタンで移動してカメラを選択することができます。
- ③ **右**：右の制御ボタンを有効化します。方向ボタンで移動してブックマーク、再生、カレンダー検索、その他の制御ボタンを選択することができます。
- ④ **下**：画面下段の録画テーブルを有効化します。方向ボタンで移動して録画テーブルを選択することができます。



画面の中央にコーデック(CODEC)デコーダメモリが足りない場合、「OUT OF CODEC MEMORY」OSDが表示されます。解決方法は下記の通りです。

- 1.該当ビデオパネルを選択して単一画面に切り替えします。
- 2.または、画面のレイアウトをカメラが少ないチャンネルのレイアウトに変更し、再生するチャンネルを選択してグループ編集機能でカメラの位置を変更します。
- 3.または監視モードに変更した後、再度検索モードにします。

検索メニュー



① レイアウト

画面のレイアウトを単一画面、2画面(Corridor Format)、3画面 (Corridor Format)、4画面、6画面、8画面、9画面、13画面、16画面に切り替えます。-

② 前画面グループ/次画面グループ

現在の画面グループから前画面グループ、または次画面グループに移動します。

③ ディスプレー

- **フルスクリーン オン** : 監視画面のように16:9の比率で画面を構成することができます。マウスを下に位置させると、再生関連のインターフェース画面が表示されます。詳しい内容は次のページをご参照ください。
- **フルスクリーンオフ** : タイムラプス検索画面に変更されます。
- **カメラOSD オン/オフ** : カメラOSD機能を有効化、または無効化します。
- **状態OSD オン/オフ** : 状態OSD機能を有効化、または無効化します。
- **比率維持オン/オフ** : オンに設定すると、映像オリジナルの比率でカメラ画面の領域に合わせて映像を出力します。

④ アラーム

アラームが動作した時に押すと、内部ブザーを含むNVRのアラーム出力をリセットします。

⑤ データベース

- **録画** : 本装置の保存デバイスに録画されたデータを検索することができます。
- **外部** : 他装置で使用していたディスクを接続すると、録画されているデータを検索することができます。
- **レコード保護** : 録画上書き機能が動作していても、データが削除されないように保護する機能です。

⑥ 緊急録画

緊急録画機能を使用できます。

⑦ カメラ

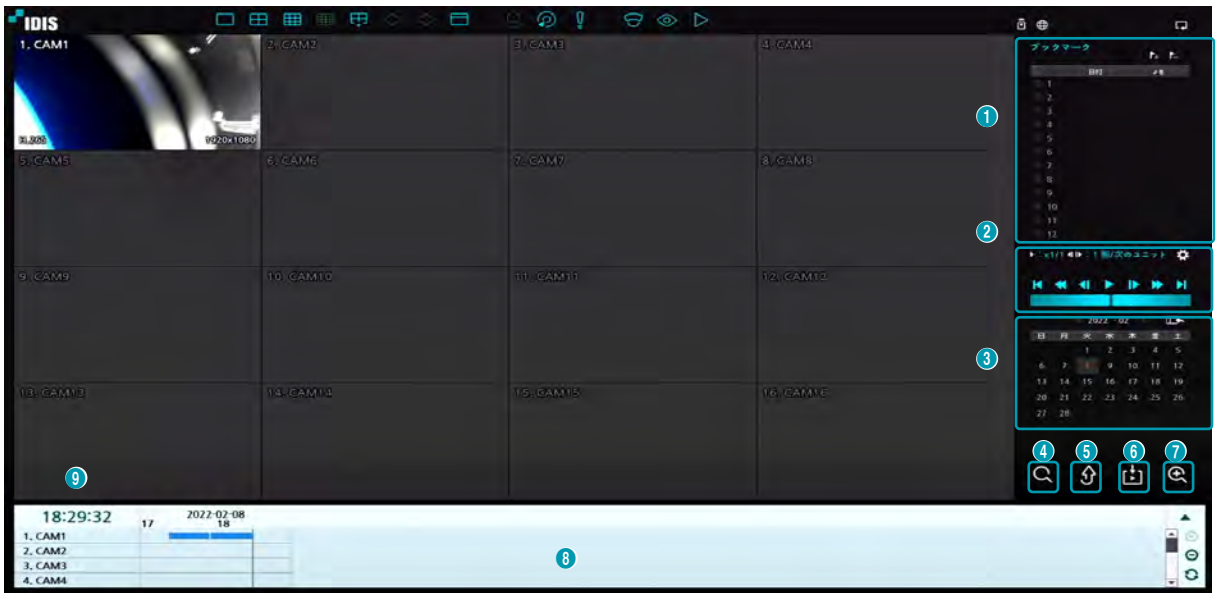
カメラチャンネルを選択し、そのチャンネルを単一画面に切り替えます。

⑧ 監視モード



リアルタイム監視モードに切り替わります。

⑨ 検索モード

タイムラプス検索/イベントログ検索を変更して検索します。



① ブックマーク

-  アイコンを選択すると、現在の再生位置をブックマークに登録します。
- タイムラプス検索モードの画面右側のブックマーク設定ウィンドウで特定のブックマークを選択し、登録された再生位置に移動することができます。
- ブックマークリストを選択し、 アイコンを選択してそのブックマークを削除することができます。



ブックマークは12件まで保存できます。

② 再生ボタン

映像を再生・探索することができます。各ボタンの機能はリモコンの再生ボタンと同じです。

• ジョグシャトル

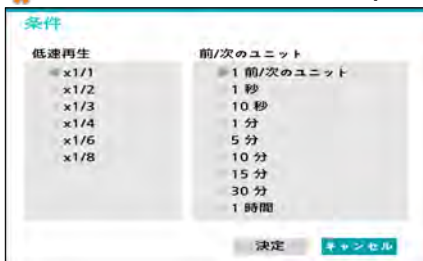
再生方法および速度を調節することができます。

ジョグシャトルの縦の表示線は、現在の再生方向や速度を表します。縦の表示線が中央から右方向にあれば映像を正方向に再生し、左側にあると逆方向に再生します。縦の表示線が中央から遠くなるほど再生速度が速くなります。縦の表示線をクリックし、ジョグシャトルをマウスでドラッグすることで映像の再生速度を調節することができます。マウスボタンを離すと縦の表示線が中央に戻り、映像再生が止まります。

• 条件



アイコンを選択して**低速再生**と**前/次のユニット**を設定できます。



● 低速再生

再生速度を遅くして検索することができます。(x1/1、x1/2、x1/3、x1/4、x1/6、x1/8)の低速再生の速度を設定し、再生ボタンを押すと設定した倍速で映像が再生されます。


● 前/次のユニット

再生画面の前/次のユニットの移動範囲を設定できます。1フレームから1時間まで移動範囲を設定できます。

③ カレンダー検索

特定の日付の映像をカレンダー検索で探すことができます。

録画された映像がある日付は水色で表示されます。日付を選択すると、その日付のもっとも早い時間に録画された映像が静止画の状態が表示されます。選択された日付はオレンジ色で表示されます。

カレンダー検索画面の右上にある  アイコンを選択すると、現在の再生画面の日付にカレンダーが変更されます。

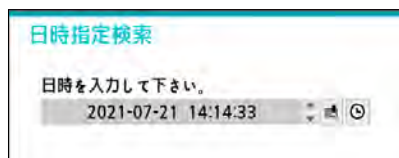
④ イベント検索



イベント検索を選択すると、テキストイン検索を実行することができます。

● **テキストイン検索**：テキストイン検索を実行します。

⑤ 移動

日付と時間で録画映像を検索することができます。移動する日付/時間を設定して移動を押すと、検索にヒットした録画映像に移動します。



右側の  (ブックマーク)ボタンを選択すると、保存されたブックマークの位置に移動することができます。右側の  ボタンを選択すると、現在の時刻を基準に、日時指定検索する時刻のリスト（10秒前～1時間前）を表示します。

⑥ バックアップ

● **バックアップ**：バックアップの設定ウィンドウが表示され、開始と終了時刻をデータの最初と最後に設定したり自由に調節したりすることができます。

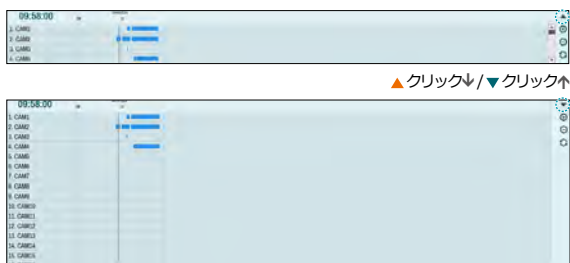
● **ツータッチクリップコピー**：任意の2つの位置を指定して両位置間のデータをコピーすることができます。

⑦ 拡大

映像を拡大することができます。

⑧ 録画テーブル

現在の画面に表示されるチャンネルの録画情報を表します。



検索ウィンドウ上段に録画された日付/時間情報が表示されます。録画テーブルの灰色の縦の線は現在の再生位置を表します。リモコンの方向ボタンを利用し、現在の再生位置を区間単位で移動することができます。マウスで再生位置を自由に移動させることができます。



- 録画テーブルで後方に表示されるほど、最新のデータです。
- システム時間を過去の時間に変更して録画すると、同じ時間帯に1つ以上の映像が存在することがあります。重なる時間帯は黄色い線で区分された録画テーブルに表示されます。



タイムラプス検索ウィンドウの右上の▲または▼を選択すると検索ウィンドウの大きさが変更され、全体チャンネルまたは最小限のチャンネルだけが確認できます。最小の大きさのタイムラプス検索ウィンドウでは、スクロールを利用して表示されていない他のチャンネルの情報まで確認できます。

⊕ (拡大表示) を選択すると録画情報が1分単位の区間で構成され、⊖ (縮小表示) を選択すると録画情報が3分単位の区間で構成されます。縮小表示を選択すると、拡大表示よりもっと多くの時間を一つの画面で見ることができます。

画面に表示される日付や時間より以前または以後の録画データが存在する場合、日付/時間情報を表示するウィンドウの両側にスクロールバーが表示されます。スクロールをリモコンの方向ボタンを押すか、マウスでクリックしてドラッグし、選択した録画データの情報を確認することができます。

↻ (リロード) を選択するたびに、最新に更新された録画情報が確認できます。

録画データの棒グラフの色	
	タイムラプス録画
	イベント録画
	ブリエント録画
	緊急録画
	デバイス接続の一時中断による異常な録画

⑨ ライブメッセージ

リアルタイムで発生する大事なイベントおよびシステム情報をユーザーが認識しやすいようにメッセージ表示します。

コンテキストメニュー

カメラ画面でメニューボタンを押すか、マウスの右クリックでコンテキストメニューを実行することができます。

- **拡大**：映像を拡大することができます。
- **オーディオ**：オーディオ再生をON/OFFできます。録音されたオーディオの再生は、単一画面で再生したときだけが可能です。
- **テキストイン表示/非表示**：録画映像にテキスト入力情報がある場合、テキスト入力情報を映像と一緒に表示したり、非表示にしたりすることができます。
- **グループ編集**：グループ編集では、分割画面上でカメラの位置が変更できます。
- **ライブメッセージ**：ライブメッセージの情報を確認できます。

テキストイン検索

検索メニューで**テキストイン検索**を選択すると、テキストイン検索ウィンドウが表示されます。



特定**トランザクション**を選択すると、選択された日付と時間に該当する映像が静止画の状態に表示されます。

- 1倍速の再生時には画面にテキストイン情報が重なって表示されますが、他の速度で再生すると表示されません。

左下の**条件...**を選択すると、テキストイン検索で検索する条件を決めることができます。



- **開始**で**始め**を選択すると、保存されているデータの中で最初の時刻に設定され、**終了**で**終わり**を選択すると保存されているデータの中で最後の時刻に設定されます。**始め**や**終わり**のチェックを解除すると検索する期間を直接変更することができます。

- **チャンネル**：検索するテキストインチャンネルを選択することができます。
- **テキストインデバイス**を選択し、テキストインデバイスのタイプを選択することができます。
- **+ボタン**：検索変数設定を追加することができます。テキストインで入力されたイベントを検索するテキストを入力します。テキストの入力内容により、必要な場合は、比較演算子、値、コラム、列を設定します。
- **大小文字区分**：大小文字の使用設定ができます。
- **読込**：保存しておいた検索条件の設定値を読み込むことができます。
- **保存**：現在の検索条件の設定値を保存することができます。


設定が終わり**検索**を押し、検索を実行したあと、**テキストイン検索**設定ウィンドウに戻ります。

バックアップ

バックアップ

検索メニューで**バックアップ-バックアップ**を選択するか、リアルタイム監視モードまたは再生モードでリモコンの**CLIP COPY**ボタンを押すと、**バックアップ**設定ウィンドウが表示されます。**開始**と**終了**時刻をデータの最初や最後に決めたり、自由に設定したりすることができます。

ツータッチクリップコピー

任意の2つの位置を指定し、両位置間のデータをコピーすることができます。バックアップを開始したい時刻付近を録画テーブル上で選択し、検索メニューで**バックアップ-ツータッチクリップコピー**を選択すると、最初の位置が設定され、システムの右上のステータス情報ウィンドウに  アイコンが表示されます。バックアップを終了したい時刻付近を録画テーブル上で選択し、もう一度**バックアップ-ツータッチクリップコピー**を選択すると、2番目の位置が設定されバックアップ設定ウィンドウが表示されます。指定した2つの位置の範囲が**開始**と**終了**時刻に自動設定されます。



- **チャンネル**：カメラの映像を保存するチャンネルを選択することができます。
- **パスワード**：保存したビデオクリップを再生するとき、パスワードを使用するか否かを選択し使用する場合はパスワードを設定してください。
- **メディア選択**：保存されるメディアを選択することができます。NetFS機能が使用中の場合、登録されているFTPサイトにビデオクリップをアップロードします。

- NetFSサイトにバックアップする場合、NetFSサイトのディスク容量を確認することができます。NVRは実際のディスク容量と関係なく30GBと表示し、バックアップのためのファイルサイズは30GB以下に制限されます。ビデオクリップがコピーされた後にアップロードが失敗する場合、コピーされたビデオクリップは削除されます。同じファイルが存在する場合、ビデオクリップはコピーされません。

- **ファイル名**：保存するファイルの名前を設定してください。最大63文字まで入力できます。

- ファイル名には、¥、/、:、;、*、?、!、"、<、>、|などの文字は使用できません。

- **ClipPlayerを含む**：当該録画映像でクリッププレーヤーと共に.exeファイルに保存して別途のクリッププレーヤーがなくても映像を再生することができます。

- **テキストインデータを含む**：録画映像にテキスト入力情報がある場合、テキスト入力情報を映像とともに保存します。

- **サブストリーム優先**：当該録画映像にデュアル録画情報がある場合、サブストリームを優先して映像を保存します。

- **サイト名使用**：バックアップのファイル名にサイト情報を追加します。



バックアップのファイル名にサイト情報を追加する場合、場所情報に使用された¥、/、:、;、*、?、!、"、<、>、|などの特殊文字は_に変換されます。

- **ClipPlayerのエキスポート**：バックアップしたクリップ映像(.cbf)を再生できるクリッププレーヤーに保存します。

開始を押すと指定した保存範囲のデータ量が計算されて表示されます。容量を確認し、**続ける**を選択するとバックアップが始まります。バックアップが始まると、**キャンセル**を押してバックアップを取り消すことができ、**閉じる**を押して画面を消すことができます。**閉じる**を選択してもバックアップは続けられ、コピーが完了するとこれを確認するウィンドウが表示されます。



- リモコンのCLIP COPYボタンを押した場合、ワンタッチバックアップモードにかわります。
- **ワンタッチバックアップモード**では保存されるドライブのメディア容量に合わせて保存範囲を自動的に設定します。選択したメディアに空き容量が足りない場合、空いている容量だけバックアップができます。
- 2GBを超える映像区間をバックアップする場合、システムが2GB単位に分けて保存します。
- バックアップで作成したファイルは、WindowsのPCで再生することができます。再生方法に対する詳しい説明はIDIS Center（オプション）の取扱説明書を参照ください。
- USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。




USBバックアップの途中でUSBケーブルを取り外したり、USB装置の電源を切ったりしないでください。USBバックアップ中にケーブルが抜けたり装置の電源が切れた場合、NVRシステムが誤作動を起こしたり、外付けUSB装置のファイルシステムが損傷し再びバックアップを試みたときバックアップができないというエラーメッセージが表示されることがあります。このエラーメッセージを表示させないためには、NVRを再起動する必要があります。USB HDDのファイルシステムが損傷していた場合は、NVRを再起動してバックアップを試みてもこのエラーメッセージは消えずに表示されます。この場合はHDDをもう一度フォーマットするか、復元プログラムを利用して損傷した外付けHDDのファイルシステムを修正しなければなりません。

イベントログ検索

メニューで**検索モード**>**イベントログ検索**を選択すると、イベントログ検索ウィンドウが表示されます。



- 特定イベントを選択すると、映像が静止画の状態が表示されます。このとき、カメラの右側にある  ボタンを押すと、イベントをコピーすることができます。
- イベントログの検索ウィンドウの上にある**始め**や**終り**の選択を解除し、検索する期間を直接変更することができます。

開始で**始め**を選択すると保存されたデータの中で、最初の時刻に設定され、**終了**で**終り**を選択すると保存されたデータの中で最後の時刻に設定されます。

- **開始**または**終了**時間をユーザーが指定する場合には、**時間重複検査**を選択/解除することができます。

システム時間が変更されユーザーが指定した**開始**時間または**終了**時間が2つ以上ある場合、これらから1つを選ばなければなりません。選択した**開始**と**終了**時間帯に発生したイベントだけが検索されます。**時間重複検査**が選択されていない場合、全ての**開始**と**終了**時間帯に発生したイベントを検索します。

- **緊急録画**、**録画を確認**、**アラームインを確認**、**ディスクフル警告**、**一部ディスクフル警告**、**ディスクエラー**、**ディスク温度**、**ディスクS.M.A.R.T.**、**ファンエラー**、**eSATA切断**、**ディスク構成変更**、**パスワード承認連続失敗**などのシステムイベントを検索するときイベントフィルターで選択して選定することができます。

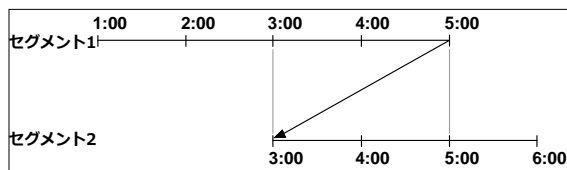
装置フィルター

- **アラーム入力**：アラーム入力イベントを検索するアラーム入力チャンネルを選択します。
 - **モーション**：モーション感知を検索するカメラチャンネルを選択します。
 - **映像信号なし**：映像信号なしイベントを検索するカメラチャンネルを選択します。
 - **オーディオ検出**：オーディオ検出イベントを検索するカメラチャンネルを選択します。
 - **トリップゾーン**：トリップゾーンイベントを検索するチャンネルを選択します。
 - **タンパーリング**：タンパーリングイベントを検索するチャンネルを選択します。
 - **テキストイン**：テキストインイベントを検索するチャンネルを選択します。
 - **録画チャンネル**：イベントを検索する録画チャンネルを選択します。
 - **カメラファンエラー**：カメラファンエラーイベントを検索するチャンネルを選択します。
 - **PIR**：PIRイベントを検索するチャンネルを選択します。
 - **自動追跡**：自動追跡イベントを検索するチャンネルを選択します。
 - **録画失敗**：録画失敗イベントを検索するチャンネルを選択します。
- 設定された録画チャンネルのうちで少なくとも1つの連動録画が発生したイベントだけを検索します。どのカメラも選択しなければ、連動録画カメラが1つもないイベントだけを検索します。

重複した時間の映像検索

ユーザーがシステム時間を過去に戻して録画した場合、同じ時間帯に1つ以上の録画映像が存在する時間重複現象が発生する可能性があります。この場合、重複した時間の録画映像は、セグメントを区分して検索する必要があります。

例えば1時から5時までの録画映像が存在する場合、システムユーザーがシステム時間を5時から3時に変更したあと6時まで録画すると、3時から5時までの録画映像が2つ存在することになります。このとき、3時から5時までの時間には2つのセグメントが発生します。



重複した時間の録画映像を検索するとき、特定の時刻または時間範囲を選択することができます。もし時間が重複した区間である3時から5時までの区間で**日時指定検索**などの検索メニューを利用し、ある特定の検索時間を指定する場合、例えば**4時**の録画映像を検索したいなら

重複した2つのセグメントの中からどのセグメントの**4時**であるかを選択しなければなりません。

セグメントを選択して下さい

- 1: セグメント 20
- 2: セグメント 21

もし時間が重複した3時～5時の区間で**イベントログ検索**および**モーション検索**などの検索メニューを利用して検索時間範囲を指定する場合、例えば**4時～5時**の間の録画映像を検索したいなら重複する2つの検索開始と終了の時間の中から1つを選択しなければなりません。選択可能な検索範囲は下記のとおりです。

- セグメント1の4時～セグメント1の5時
- セグメント1の4時～セグメント2の5時
- セグメント2の4時～セグメント2の5時

範囲を選択して下さい

- 1: 範囲 1～3
- 2: 範囲 1～2
- 3: 範囲 2～2

第4章 – IDIS Web

IDIS Webはインターネット上でプログラムの設定なしに遠隔地の映像を監視・検索することのできるプログラムです。通常のウェブブラウザ(エクスプローラーまたはクロム)でどこからでも接続することができます。

IDIS Webプログラムを実行するために必要なPCのシステム要求事項は下記のとおりです。

- OS: Microsoft® Windows® 7 (Home Premium、 Professional、 Ultimate)、Microsoft® Windows® 8 (Pro、 Enterprise)、Microsoft® Windows® 10 (Home, Pro)
- CPU : Intel Pentium IV 2.4GHz以上(Core 2 Duo E4600推奨)
- RAM : 1GB以上
- VGA : 128MB以上(1280x1024、 24bpp以上)
- Internet Explorer : Ver.7.0以上(32-Bit)
- Chrome: Google Chrome 22.0.1229.0以上 (59.xxx以上推奨)

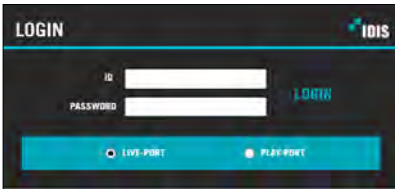
1 IE(インターネットエクスプローラー)またはChromeを起動し、アドレスバーに下記の情報を入力してください。

- [http://IPアドレス:ポート番号\(NVRシステムIPアドレスおよびネットワーク一般設定で設定したIDIS Web接続ポート番号](http://IPアドレス:ポート番号(NVRシステムIPアドレスおよびネットワーク一般設定で設定したIDIS Web接続ポート番号(初期値:12088)入力)
(初期値:12088)入力
- または、<http://fen.idisglobal.com/FENの名前>(FENの名前:FENサーバーに設定したNVRのデバイス名)
- または、<http://web.idisglobal.com> (ログイン時のNVR IPアドレス、またはFENサーバーに登録されているFEN名)



接続したいNVRのIPアドレスおよびIDIS Webポート番号はネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 2 IDIS Webログインウィンドウが表示されたら、**LIVE-PORT**または**PLAY-PORT**を選択します。ログインに必要なIDおよびパスワードを入力し、**LOGIN**ボタンをクリックすると選択したモードに移行します。

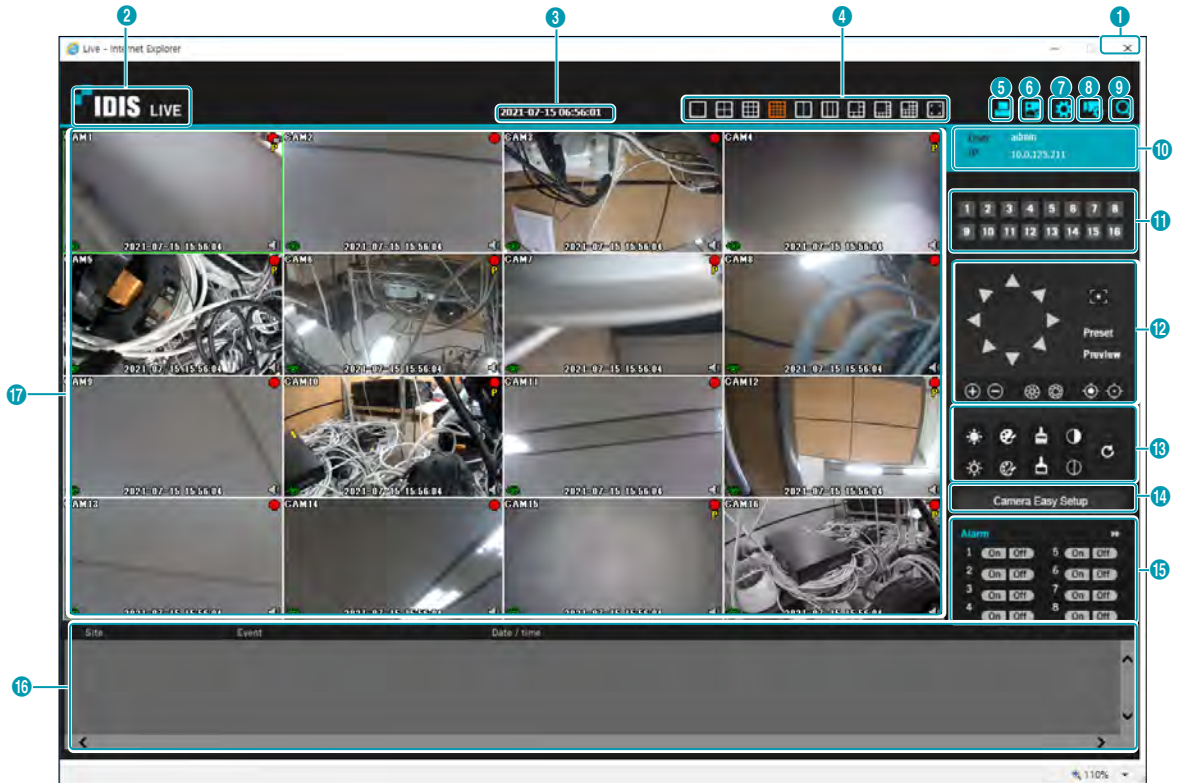


http://web.idisglobal.comを入力してアクセスする場合、DEVICE ADDRESSの項目にNVRのIPアドレスを入力します。ログインウィンドウでUse FENサービスオプションを選択すると、IPアドレスの代わりにFENサーバーに登録されているNVRの名前を入力することができます。なお、SETUP設定でFENサーバーのアドレスおよびポート番号の入力が要求されます。

- IDIS WebはMicrosoft® Windows® 8のメトロ(Metro) UIでは動作しません。
- IDIS Webプログラムの運用中にはログインウィンドウを閉じないでください。ウェブ監視モードまたはウェブ検索モードに切り替わるときスクリプトエラーが発生します。この場合はIDIS Webプログラムを再起動する必要があります。
- IDIS Webを実行するとき、アドレスバーまたはステータスバーが表示される場合、画面の下部が切れて表示されることがあります。この場合インターネット設定を変更し、アドレスバーまたはステータスバーを非表示にして実行することをお勧めします。(ツール→インターネットオプション→セキュリティ→レベルのカスタマイズ→ウェブサイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くの許可するオプションを有効にするに設定)
- Microsoft Windows Vista、またはその上位バージョンのOSでIDIS Webプログラムを起動する場合、IEを起動するときにIEアイコンをマウスの右クリックすると表示されるメニューから**管理者の権限で実行**オプションを選択してください。そうしなければ、IDIS Webプログラムの一部機能が制限されることがあります。
- 新規バージョンのIDIS Webを最初に行う場合、以前バージョンの情報を読み込むことがあります。この場合、**ツール→インターネットオプション→一般**タブに移動し、テンポラリインターネットファイルを削除してからもう一度IDIS Webを起動してください。
- Microsoft Windows Vista、またはその上位バージョンのOSで映像伝送速度低下によって画面が映らなったり、更新されなかったりすることがあります。この場合、ご使用中のPCのオートチューニング機能の解除をお勧めします。管理者の権限でコマンドプロンプトを実行します。(スタート→アクセサリ→コマンドプロンプト→マウスの右ボタンをクリックし、**管理者の権限で実行**選択)`netsh int tcp set global autotuninglevel=disable`を入力したあとエンターキーを押します。PCを再起動し変更された設定を適用します。オートチューニング機能を復元するには、管理者の権限でコマンドプロンプトを実行したあと`netsh int tcp set global autotuninglevel=normal`を入力します。PCを再起動し変更された設定を適用します。

ウェブ監視モード

遠隔地の映像をリアルタイムで監視できる遠隔地ウェブ監視プログラムです。



①	を押すとIDIS Webプログラムを終了します。
②	マウスポインタを IDISログの部分に当てると、IDIS Webのバージョンを確認することができます。
③	現在の時間情報を表示します。
④	画面モードを選択します。画面モードを変更する場合、現在のスクリーンで選択したカメラが変更されるレイアウトの1番目のセルに位置します。
⑤	を押すと現在見ている映像をPCに接続されているプリンターで印刷します。
⑥	を押すと現在みている映像を画像ファイルで保存します。
⑦	を押すとDrawing Mode、OSD Setup、AlarmOUT Beepを設定することができます。Drawing Modeでは映像を出力する速度の調節、OSD Setupでは画面に表示するOSD情報の選択、AlarmOUT Beepではビーブ音のOn/Offの選択ができます。
⑧	を押すと遠隔地のNVRイベント、カメラ、ストリーム設定などの設定ができます。
⑨	を押すとウェブ検索モードに切り替えます。
⑩	ログイン情報を表示します。
⑪	監視したいカメラを選択します。矢印ボタンを利用して以前のカメラグループまたは次のカメラグループに移動します。

12	遠隔地のPTZカメラを制御します。
13	監視映像の画質を調節します。
14	カメラの簡単設定を行うことができます。映像モードをデイ/ナイト別にプリセットまたはユーザー設定 できます。 ● プリセット : Natural(自然)、Vivid(鮮明)、De Noise(ノイズ除去)の中から選択できます。 ● カスタム : 手動に各々の値を設定できます。Sharpness(鮮明度)、Contrast(対照)、Colors(カラー)、 Brightness(明るさ)を設定できます。
15	遠隔地のアラーム出力装備を制御します。矢印ボタンを利用して以前のアラームグループまたは次のアラ ームグループに移動します。
16	下段部のイベントステータスウィンドウは、遠隔地で感知されたイベントリストを表示します。

スクリーンからカメラを選択しマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューが表示されます。



● **Fisheye Dewarping**

- **Mount Type:** カメラの設置位置を設定します。Auto、Wall、Ceiling、Desktopのいずれかを選択することができます。この設定により設定可能な画面形態が変わります。
- **View:** 元の魚眼映像を表示します。Single、Quad、パノラマのいずれかを選択することができます。ePTZ機能がオンになっている場合、マウスの右・左ボタンをクリックし、Pan、Tilt、Zoomを制御することができます。メインPIPが基本的に選択されます。
- **Filter:** 画質改善のためのフィルタを設定します。Nearest、Linear、CubicそしてLinear、NN OnPTZのいずれかを選択することができます。
- **ePTZ:** Pan、Tilt、Zoom動作を実行します。マウスをドラッグする際、マウスカーソルのドラッグ量が動作速度を決定します。マウスの右ボタンドラッグは左右（Pan制御）、上下（Tilt制御）を制御し、マウスの右ボタンドラッグはZoomを制御します。
- **Main PIP:** メインビュー映像内部の領域指定を容易にするPIP (Picture in Picture)ビューを実行します。
- **Display Source Image:** 変更事項を全てキャンセルして、元のイメージに復元します。

● **カメラタイトル変更:** カメラ名を変更することができます。

- ウェブ監視モードで変更されたカメラ名は遠隔地システムには影響を与えず、カメラ名を入力しなければ遠隔地で設定したカメラ名が画面上に表示されます。

17

● **オーディオオン:** 遠隔地とのオーディオ送受信機能を提供します。項目を選択すると、オーディオ ボタンが表示されます。

	マイクで遠隔地へオーディオを伝送することができます。
	スピーカーで遠隔地のオーディオを再生することができます。
	遠隔地との双方向オーディオ送受信が可能です。
	オーディオ送受信が無効化されます。

- 接続した遠隔地がオーディオ送受信に対応する場合、カメラスクリーンに アイコンが表示されます。

● **画面レートを:** 画面上に表示される映像のアスペクト比を変更することができます。

- 画面に合わせる: カメラスクリーンのエリアに合わせて映像を出力します。
- アスペクト比に合わせる: オリジナル映像の縦横比でカメラスクリーンのエリアに合わせて映像を出力します。
- 1/2倍サイズ(x0.5)~4倍サイズ(x4): オリジナル映像の大きさを基準にメニューで指定した大きさをカメラスクリーンに映像を出力します。例えば1倍サイズ(x1)を選択すると、オリジナル映像の実際の大きさを出力します。1/2倍サイズ(x0.5)~4倍サイズ(x4)メニューはカメラスクリーンに選択した大きさを映像を出力できるだけのエリアが確保された場合のみに活性化します。

● **ブロック現象改善:** 拡大映像で発生する階段化(ブロック)現象を除去し、画面上に表示される映像の出力品質を高めることができます。

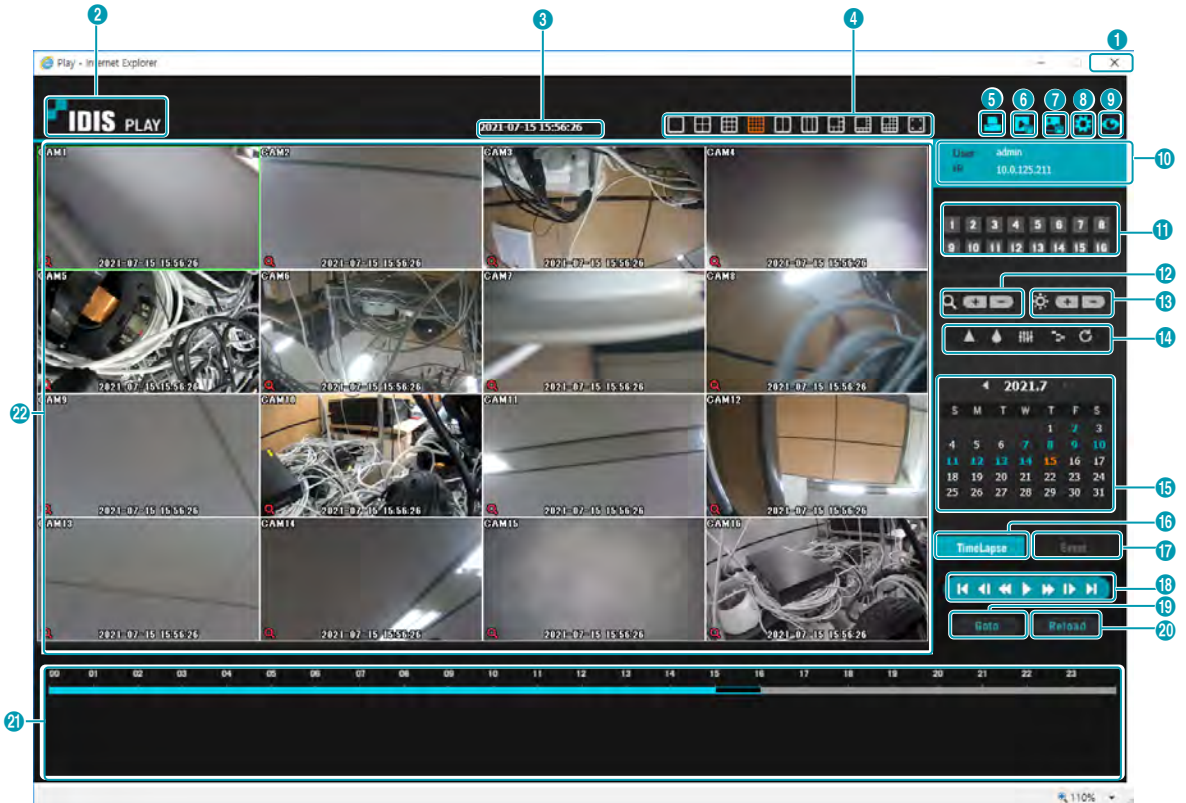
● **マウスPTZコントロール:** マウスのスクロールを使用して、ズームを調整することができます。

ウェブ検索モード




























遠隔地の録画映像を検索できる遠隔地ウェブ検索プログラムです。



ウェブ検索スクリーンでの遠隔地へのアクセスは30分以上操作がなければ自動的に解除されます。



①	を押すとIDIS Webプログラムを終了します。
②	マウスポインタを IDISログの部分に当てると、IDIS Webのバージョンを確認することができます。
③	遠隔地NVRの録画映像の時間情報を表示します。
④	画面モードを選択します。
⑤	を押すと現在見ている映像をPCに接続されているプリンターで印刷します。
⑥	を押すと録画映像を実行ファイルとして保存します。
⑦	を押すと現在みている映像を画像ファイルで保存します。

8	<p> を押すと Drawing Mode、OSD Setup、Other Setup、Dual-Stream Playback Priority を設定することができます。Drawing Mode では映像を出力する速度を調節できます。OSD Setup では画面に表示する OSD 情報の選択ができます。Other Setup では、Long-GOP 映像で Goto 機能を実行する場合、時間精度よりも応答性を優先するように設定できます。Dual-Stream Playback Priority では Dynamic Control (動的制御)、Main Stream Priority (メインストリーム優先)、SubStream Priority (サブストリーム優先) から選択し、再生優先順位を設定できます。</p>																
9	<p> を押すとウェブ監視モードに切り替えます。</p>																
10	<p>ログイン情報を表示します。</p>																
11	<p>検索したいカメラを選択します。矢印ボタンを利用して以前のカメラグループまたは次のカメラグループに移動します。</p>																
12	<p>映像を縮小・拡大します。</p>																
13	<p>映像の明るさを調節します。</p>																
14	<p>映像に様々なイメージフィルターを適用します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 映像調整は一時停止の状態のみで適用されます。</p>																
15	<p>特定の日付の映像をカレンダー検索で探すことができます。</p> <p>録画された映像がある日付は水色で表示されます。日付を選択すると、その日付のもっとも早い時間に録画された映像が静止画の状態が表示されます。選択された日付はオレンジ色で表示されます。</p>																
16	<p> を選択するとタイムラプス検索モードを利用し、録画映像を時間順に従って検索・再生します。タイムラプス検索モードでの検索は日付の単位で行われ、カレンダーで検索する日付を選択することができます。画面下のタイムテーブルではカレンダーで選択した日付の録画映像の時間情報を表示します。時間を選択すると、その時間帯の映像を画面に表示します。選択した時間帯に1つ以上の映像がある場合、セグメントを選択することができます。</p>																
17	<p> を選択するとイベント検索モードになり、ユーザーが指定する特定の条件に満足するイベントを検索することができます。</p>																
18	<p>再生ボタンを押すと指定した状態で映像を再生することができます。</p> <table border="1" data-bbox="209 1360 1163 1522"> <tr> <td></td> <td>映像の先頭に移動</td> <td></td> <td>1コマずつ再生</td> </tr> <tr> <td></td> <td>映像を高速逆再生</td> <td></td> <td>高速再生</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1コマずつ逆再生</td> <td></td> <td>映像の最後に移動</td> </tr> <tr> <td></td> <td>通常再生・一時停止</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		映像の先頭に移動		1コマずつ再生		映像を高速逆再生		高速再生		1コマずつ逆再生		映像の最後に移動		通常再生・一時停止		
	映像の先頭に移動		1コマずつ再生														
	映像を高速逆再生		高速再生														
	1コマずつ逆再生		映像の最後に移動														
	通常再生・一時停止																
19	<p> を押すと検索する、特定の時間帯の映像にすぐ移動することができます。</p>																
20	<p> を押すと遠隔地の最新録画映像を再び読み込みます。</p>																
21	<p>選択したカメラの録画情報を時間単位で表示します。カメラのシステム時間が過去に変更され同一の時間帯に1つ以上の映像が存在する場合、タイムテーブルの右上のセグメントメニューでどのビデオセグメントを検索するか指定することができます。</p>																

スクリーンからカメラを選択しマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューが表示されます。



• Fisheye Dewarping

- **Mount Type:** カメラの設置位置を設定します。Auto、Wall、Ceiling、Desktopのいずれかを選択することができます。この設定により設定可能な画面形態が変わります。
- **View:** 元の魚眼映像を表示します。Single、Quad、パノラマのいずれかを選択することができます。ePTZ機能がオンになっている場合、マウスの右・左ボタンをクリックし、Pan、Tilt、Zoomを制御することができます。メインPIPが基本的に選択されます。
- **Filter:** 画質改善のためのフィルタを設定します。Nearest、Linear、CubicそしてLinear、NN OnPTZのいずれかを選択することができます。
- **ePTZ:** Pan、Tilt、Zoom 動作を実行します。マウスをドラッグする際、マウスカーソルのドラッグ量が動作速度を決定します。マウスの右ボタンドラッグは左右 (Pan制御)、上下 (Tilt制御) を制御し、マウスの右ボタンドラッグはZoomを制御します。
- **Main PIP:** メインビュー映像内部の領域指定を容易にする PIP (Picture in Picture)ビューを実行します。
- **Display Source Image:** 変更事項を全てキャンセルして、元のイメージに復元します。

• カメラタイトル変更 : カメラ名を変更することができます。

- ウェブ検索モードで変更されたカメラ名は遠隔地システムには影響を与えず、カメラ名を入力しなければ遠隔地で設定したカメラ名が画面上の表示されます。

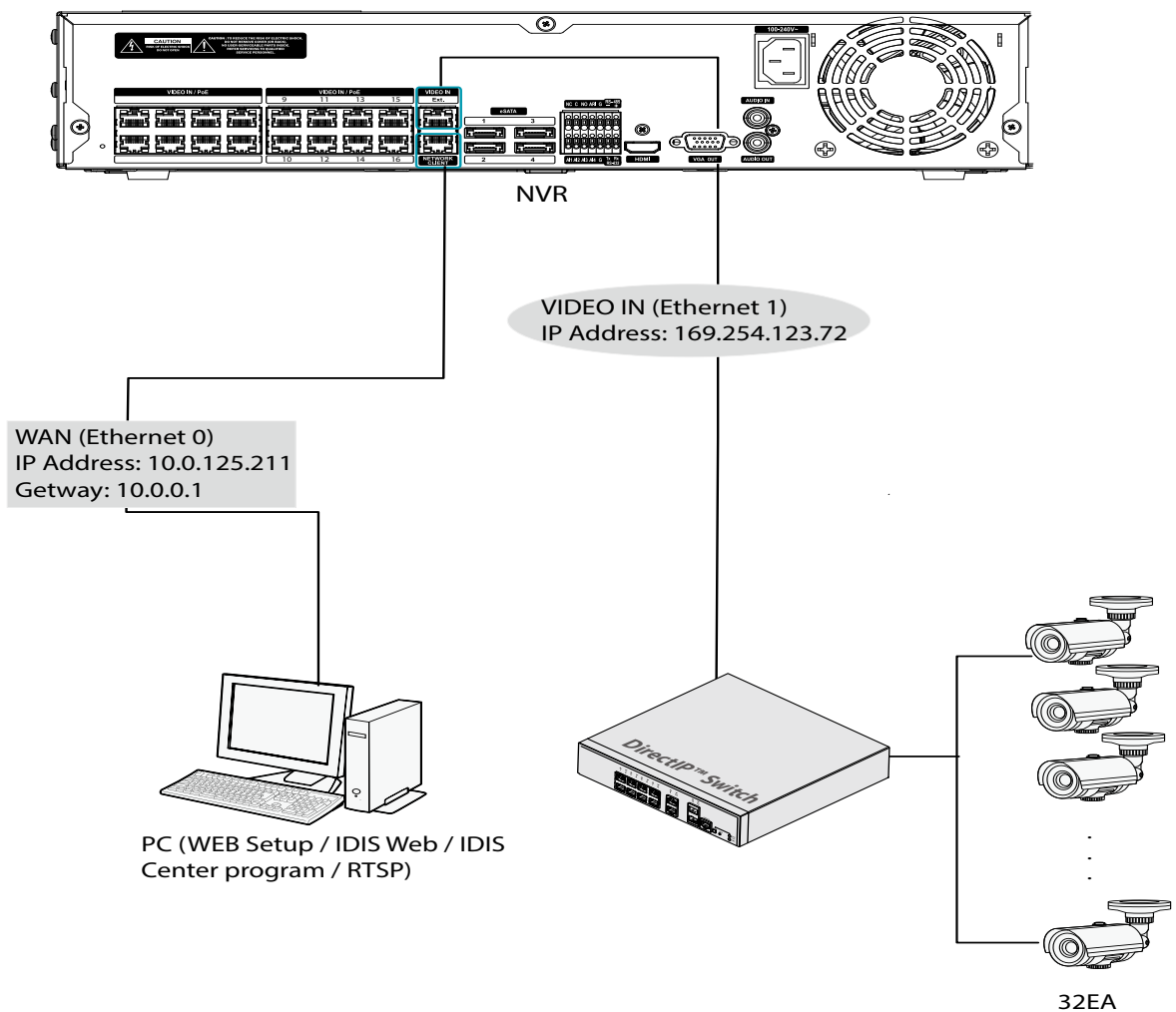
- **オーディオオン :** 映像が録画される時オーディオも一緒に録音されている場合、再生するときオーディオと一緒に出力されます (単一画面再生時に限る)。
- **画面レート :** 画面上に表示される映像のアスペクト比を変更することができます。
- **ブロック現象改善 :** 拡大映像で発生する階段化(ブロック)現象を除去し、画面上に表示される映像の出力品質を高めることができます。

第5章 – 付録

NAT機能の使用例

NAT機能は物理的に分かれているWAN網PC(WebSetup/IDIS Web/IDIS Center Program/RTSP)から内部VIN網であるカメラに接続するための機能です。カメラのWebSetup/IDIS Web/IDIS Center Program/RTSPに接続するためには、NVRポートの番号がカメラのポート番号にポートフォワーディングするNAT規則を構成しなければなりません。

NATの構成図

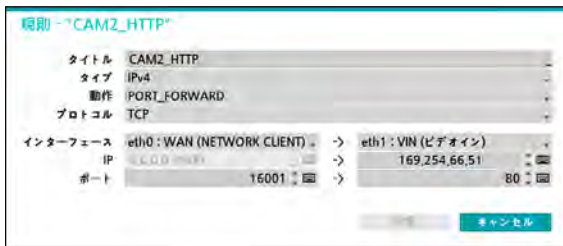


- NAT機能を利用するためには、当該カメラのゲートウェイアドレスがNVRのVIN網のIPアドレスに設定されていなければなりません。
- カメラのIPアドレスおよびポート番号はカメラのWebSetupを参考にしてください。またはNVRでカメラのIPアドレスを確認するか、カメラマニュアルの基本ポート番号を使用してください。

Web Setup 接続の方法

カメラWebSetup接続: PCにおける内部VIN網のカメラのWebSetupに接続します。

設定方法: NVRの設定ポート番号とカメラのHTTPポート番号のポートフォワーディング



- Eth 0: WANポート : 16001
- Eth 1: VINのIP : カメラのIPアドレス
- Eth 1: VINポート : カメラのHTTPポート番号

アクセス方法

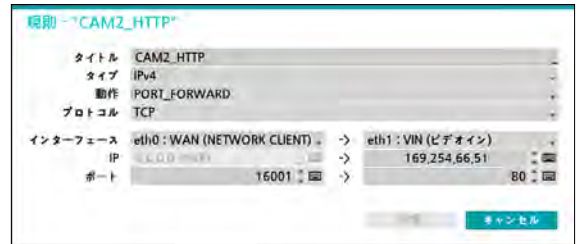
http://NVR IPアドレス:設定したカメラのHTTPポート番号/setup/setup.htmlを通じてWebSetupページに接続することができます。WebSetupで接続する場合はカメラのHTTPポート番号とポートフォワーディングした16001です。



アイディスカメラのIDIS Web接続

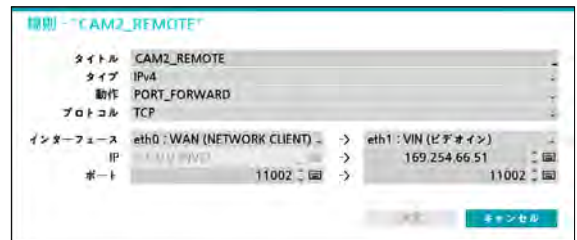
PCにおけるVIN網のカメラのIDIS Webに接続します。

設定方法 1 : NVRの設定ポート番号とカメラのHTTPポート番号のポートフォワーディング



- Eth 0: WANポート : 16001
- Eth 1: VINのIP : カメラのIPアドレス
- Eth 1: VINポート : カメラのHTTPポート番号

設定方法 2 : NVRの設定ポート番号と遠隔ポート番号のポートフォワーディング

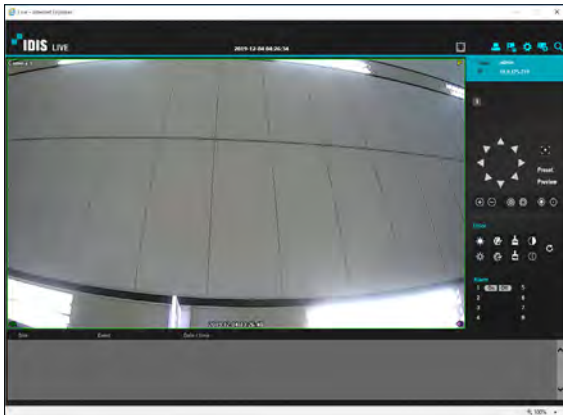


- Eth 0: WANポート : 11002
- Eth 1: VINのIP : カメラのIPアドレス
- Eth 1: VINポート : カメラの遠隔ポート番号

eth0ポート番号とカメラの遠隔ポート番号が同じでなければなりません。

アクセス方法

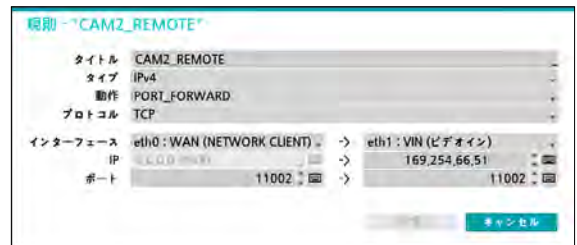
http://NVR IPアドレス:設定したカメラのHTTPポート番号を通じてウェブガードの映像を確認することができます。IDIS Webで接続する場合はカメラのHTTPポート番号とポートフォワーディングした16001です。



アイディスカメラのIDIS Center接続

PCのIDIS Center ProgramでVIN網のカメラ映像が見られるように接続します。

設定方法: NVRの設定ポート番号とカメラの遠隔ポート番号のポートフォワーディング

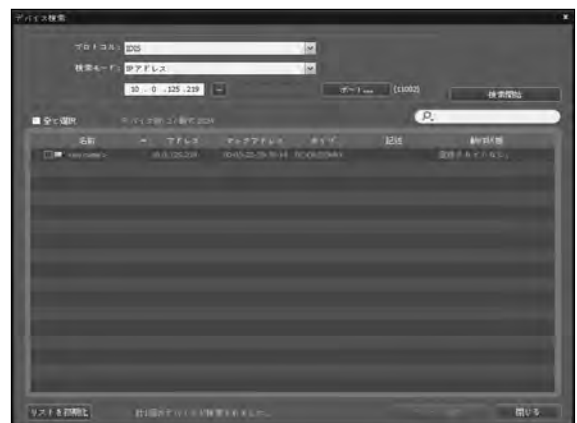


- Eth 0: WANポート : 16001
- Eth 1: VINのIP : カメラのIPアドレス
- Eth 1: VINポート : カメラの遠隔ポート番号

eth0ポート番号とカメラの遠隔ポート番号が同じでなければなりません。

アクセス方法

IDIS Centerプログラムを利用してカメラ映像を確認することができます。

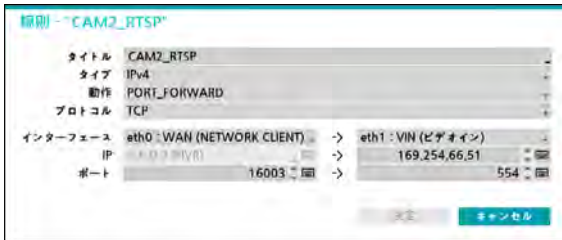


IDIS Center プログラムで接続した場合にはカメラの遠隔ポート番号とポートフォワーディングした11002です。

アイディスカメラのRTSP接続

PCのRTSPプレーヤーでVIN網のカメラ映像に接続します。

設定方法: NVRの設定ポート番号とカメラのRTSPポート番号のポートフォワーディング



- Eth 0: WANポート : 16003
- Eth 1: VINのIP : カメラのIPアドレス
- Eth 1: VINポート : カメラの遠隔ポート番号

アクセス方法

VLCメディア再生機を利用してRTSPに接続します。rtsp://NVR IPアドレス:設定したカメラのRSTPポート/trackID=stream番号を通じてRTSP映像を確認することができます。

カメラのRTSPポート番号とポートフォワーディングした16001です。



- RTSPで接続する時には、カメラRTSPとポートフォワーディングした11006です。RTSPアドレスの設定方法は **RTSP (89ページ)** を参照ください。

